

ボスニア・ヘルツェゴビナ
エコツーリズムを中心とする
持続可能な地域振興プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成22年3月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
経済基盤開発部

基盤
JR
10-214

ボスニア・ヘルツェゴビナ
エコツーリズムを中心とする
持続可能な地域振興プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成22年3月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
経済基盤開発部

序 文

独立行政法人国際協力機構は、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府からの技術協力の要請に基づき、2007年1月から約3年間、技術協力プロジェクト「エコツーリズムを中心とする持続可能な地域振興プロジェクト」を実施してきました。

当機構は、本プロジェクトの終了にあたり、プロジェクト活動の進捗状況、実績を整理・確認するとともに、プロジェクトについて評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から評価を行うことを目的として、2009年6月19日から同年7月11日まで、当機構経済基盤開発部参事役平井敏雄を団長とする終了時評価調査団をボスニア・ヘルツェゴビナに派遣しました。

本報告書は、同調査結果を取りまとめたものです。この報告書が、本プロジェクトの成果を今後のボスニア・ヘルツェゴビナの地域開発の更なる発展を進めるうえでの指針となるとともに、今後の類似分野での技術協力プロジェクトの案件形成・実施にあたっての参考となることを祈念します。

終わりに、本調査に対しご協力とご支援をいただいた両国の関係者の皆様に、心から感謝の意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です。

平成22年3月

独立行政法人国際協力機構
経済基盤開発部長 小西 淳文

目 次

序 文

目 次

プロジェクト位置図

略語表

評価調査結果要約表（和文・英文）

第1章 評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査行程	1
1-4 主要面談者	1
第2章 プロジェクトの概要	4
2-1 プロジェクトの背景	4
2-2 プロジェクトの基本設計	4
2-3 PDM	4
2-4 活動計画	4
2-5 実施体制	5
第3章 評価の方法	6
3-1 評価の方法	6
3-2 主な調査項目	6
3-3 情報・データ収集方法	7
第4章 プロジェクトの実績	8
4-1 投入実績	8
4-1-1 日本側の投入	8
4-1-2 ボスニア・ヘルツェゴビナ側の投入	8
4-2 成果の実績	9
4-2-1 成果1	9
4-2-2 成果2	9
4-2-3 成果3	12
4-2-4 成果4	14
4-2-5 成果5	15
4-3 プロジェクト目標の達成度	15
4-4 実施プロセスにおける特記事項	17

第5章 評価結果	19
5-1 5項目ごとの評価	19
5-1-1 妥当性	19
5-1-2 有効性	19
5-1-3 効率性	20
5-1-4 インパクト	20
5-1-5 持続性	21
5-2 結論	23
第6章 提言と教訓	24
6-1 提言	24
6-1-1 プロジェクトの残りの期間における、モデルプロジェクト実施団体、 アンブレラ組織及びJICA 専門家に対する提言	24
6-1-2 本プロジェクト終了後における関係行政機関に対する提言	24
6-2 教訓	25
6-3 平和構築の視点からの考察	25
6-4 団長所感	26
6-4-1 終了時評価結果	26
6-4-2 今後の課題	26
6-4-3 民族間の融和の促進	27
6-4-4 観光分野における今後の方向性	27
付属資料	
1. 署名済み M/M	31
2. PDM	86
3. 評価グリッド・結果概要表	90
4. モデルプロジェクト実施団体に対する質問票回答集計（英語）	104
5. 関係機関の合同調整委員会（JCC）及び技術委員会への出席状況	112
6. 日程表	114

プロジェクト位置図



略 語 表

略 語	欧 文	和 文
BiH	Bosnia and Herzegovina	ボスニア・ヘルツェゴビナ
C/P	Counterpart	カウンターパート
EUFOR	European Union Force	欧州連合部隊
FBiH	Federation of Bosnia and Herzegovina	ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
MM	Man Month	人月
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ（協議議事録）
MOFTER	Ministry of Foreign Trade and Economic Relations	対外経済貿易関係省
OHR	Office of the High Representative	上級代表事務所
OJT	On-the-Job Training	オンザジョブ・トレーニング
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operations	活動計画
R/D	Record of Discussions	討議議事録
RS	Republic of Srpska	スルプスカ共和国
TOR	Terms of Reference	タームズ・オブ・レファランス
UNDP	UN Development Programme	国連開発計画

評価調査結果要約表（和文）

1. 案件の概要	
国名：ボスニア・ヘルツェゴビナ	案件名：エコツーリズムを中心とする持続可能な地域振興プロジェクト
分野：都市開発・地域開発-地域開発	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：経済基盤開発部都市地域開発第一課	協力金額（2009年3月末時点）：3億500万円
協力期間	2007年1月20日～ 2009年12月31日
	先方関係機関：対外経済貿易関係省（MOFTER）（中央政府）、環境観光省（ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦、以下FBiH）、国土計画建設省（スルプスカ共和国、以下RS）、貿易観光省（RS）、プロジェクト対象地域の市役所（FBiH；ヤイツェ市、モスタル市、RS；イエゼロ市、シボボ市、ネベシニエ市）
	日本側協力機関：特になし
	他の関連協力：特になし
1-1 協力の背景と概要	
<p>ボスニア・ヘルツェゴビナ（BiH）では、1992年に勃発した内戦後、95年の国際社会調停による Dayton 和平合意が成立し、国際社会監視の下に被災したインフラ復興・難民帰還促進事業が進められ、2000年には内戦被害の復興がほぼ達成された。一方、2000年以降、同国の重点整備課題とされてきた計画経済からの脱却、資本主義経済への移行等の構造変革は予定どおりには進まなかった。すなわち、大部分の市民を雇用してきた国策会社の民営化・再建が進まず、帰還難民の生活再建のめども立たず、国内の都市部へ職を求めて再流出するだけでなく、戦争難民として受け入れてくれた国々へ再度、経済難民として流出する状況が続いた。ボスニア・ヘルツェゴビナの経済復興・生活再建への社会的ニーズを受け、JICAは2003年から「エコツーリズムと持続可能な地域づくりのための開発計画調査」を実施し、内戦で争った民族同士が協力して地域の再生に臨むべく選定された2つのエンティティ〔準国家的な統治機構：ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦（FBiH）とスルプスカ共和国（RS）〕にまたがる北部（3市）と南部（2市3地区）地域で計6つのパイロットプロジェクトを実施し、その教訓を踏まえた地域開発マスタープランを作成するとともに、パイロットプロジェクトの継続を含む短期アクションプランを作成した。開発調査終了後、一部のアクションプランが国連開発計画（UNDP）の支援によって実行に移された。しかし、アクションプラン全体の実現に向けては、ボスニア・ヘルツェゴビナ側の官民双方の組織体制が整備されておらず、人材も不足しているため、大きな進展がみられない。このような背景の下、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府及び民間関係者のエコツーリズム開発への強い関心と意欲を発展させ、持続的開発につなげることを目的として技術協力プロジェクトの要請がなされた。</p>	
1-2 協力内容	
<p>本プロジェクトは、先行する開発調査「エコツーリズムと持続可能な地域づくりのための開発計画調査」により提案されたパイロットプロジェクトの取り組みに向け、持続可能な地域振興につなげるための人材育成、組織能力強化を目標として実施するものである。</p>	

(1) 上位目標

プロジェクトで形成された組織体制が行政、住民により持続的に運営される体制が構築される。

(2) プロジェクト目標

対象地域において行政と住民のエコツーリズムを中心とした地域振興を進めるための人材育成・組織能力強化がなされる。

(3) 成果

- 1) 地域振興方策としてのエコツーリズムの目的ならびにエコツーリズムに関する知識・技術が、関係者によって理解される。
- 2) 協働でエコツーリズムを振興するための官民間の協力体制が構築される。
- 3) エコツーリズム振興のための戦略開発およびプロジェクトの実施支援ができる組織・人材が育成される。
- 4) エコツーリズムの主要分野（地方の農産品開発、民宿、歴史的・文化的遺産の保全と利用、スポーツ活動）への参画が可能な人材が育成される。
- 5) エコツーリズムを中心とする地域振興モデルが、ガイドラインとして取りまとめられる。

(4) 投入（評価時点）

日本側：総投入額 3億500万円

JICA 専門家派遣：およそ 54 MM

機材供与：194,616 KM（約 1,340 万円）（2008 年 10 月時点までの供与実績）

ローカルコスト負担：1 億 2,300 万円（プロジェクト終了時までの予定額を含む）

本邦研修受入：計 8 名（ただし、本件の枠組み外の研修に参加）

相手国側

カウンターパート（C/P）配置：公式な配置実績はない。ただし、各種会議出席や研修等への参加といった形での関係行政機関並びにコミュニティ組織関係者の参加があった。

ローカルコスト：関係市役所が、アンブレラ組織の事務局職員の給料や事務所の光熱費を負担した。

土地・施設提供：アンブレラ組織¹用の事務スペース

2. 評価調査団の概要

調査者	総括：平井 敏雄 JICA 経済基盤開発部 参事役 計画管理：川本 寛之 JICA 公共政策部ジェンダー・平和構築グループ平和構築・貧困削減課兼ガバナンスグループ行政機能課 調査役 評価分析：道順 勲 中央開発（株）海外事業部 課長	
調査期間	2009 年 6 月 19 日～7 月 11 日	評価種類：終了時評価

¹ 各分野のモデル事業実施の中心となり、地域全体での地域振興を実施する役割をもつ官民協働のための組織。

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 成果1「地域振興方策としてのエコツーリズムの目的ならびにエコツーリズムに関する知識・技術が、関係者によって理解される。」

2009年6月末までに、研修、ワークショップ、セミナー、オンザジョブ・トレーニング(OJT)、会議等といった形で計131回の能力強化活動が実施され、延べ1,214人がこれらの研修等に参加した。行政機関、関連コミュニティ団体、住民などかなり多くの人々が、エコツーリズムを通じた地域開発に関する知識・技能を身に付ける機会が得られたと思われる。(指標1) 成果1の達成度はおおむね良好なものであろうと考えられる。

(2) 成果2「協働でエコツーリズムを振興するための官民間の協力体制が構築される。」

官民間の協働によるエコツーリズム振興の役割を担う組織としてアンブレラ組織がプリバ地域とベレズ地域につくられ、事務局を設けている。(指標2-1) 両地域のアンブレラ組織の定期的ミーティングは年間約4回開催されているものの、活動に対する満足度は低く、運営能力を向上させる必要があるとする意見が多い。また、中央、エンティティ、地方の関係行政機関による合同調整委員会(JCC)の定期的ミーティングが2009年6月末までに5回開催されているが、RSの国土計画建設省と貿易観光省の出席率が低く、関係者の期待どおりの機能を果たすにはまだ十分でなく、協働でエコツーリズムを振興するための官民間の協力体制が十分構築されているとはいえない。(指標2-2、2-3、2-4)

(3) 成果3「エコツーリズム振興のための戦略開発およびプロジェクトの実施支援ができる組織・人材が育成される。」

アンブレラ組織並びにモデルプロジェクト実施団体関係者は、エコツーリズムを中心とする地域開発に関する戦略や活動計画の議論・検討・調整を行ってきており、個別プロジェクト実施に必要な資金要請書を作成する能力は、資金要請書を作成した案件が13案件、またそのうち6案件については既に資金提供を受けているなど、実績からみて身に付けていると判断される。(指標3-1) アンブレラ組織によるエコツーリズムの統合的プロモーション関連活動も一定程度成果を上げていると判断される。ウェブサイトの内容を改善する必要があるものの、全般的にはおおむねエコツーリズム振興策や個別プロジェクトに対する実施支援が行えるアンブレラ組織と人材が育成されつつあると判断する。(指標3-2) したがって、成果3はおおむね達成されていると判断する。

(4) 成果4「エコツーリズムの主要分野(地方の農産品開発、民宿、歴史的・文化的遺産の保全と利用、スポーツ活動)への参画が可能な人材が育成される。」

2009年6月までに、131回の各種研修が実施された。うち、37回の研修等では、参加が期待される人々の人数が設定され、参加率が70%以下であったのは、37回中、8回だけであり、19回は100%の出席率となっている。平均すると、93.9%の出席率であり、参加率は非常に高い。(指標4-1) また、上記の131回の研修のうち、12回の研修においてアンケート調査を実施し、研修の満足度や学んだことの活用意志を確認したところ、12回中11回の研修で、

十分な満足度がある、並びに学んだことに対して高い活用意志があるとの結果が出ている。
(指標 4-2、4-3) これらのことから、モデルプロジェクト実施団体関係者の能力強化が十分行われ、エコツーリズムに関するプロジェクトに参画可能な人材が育成されていると判断される。したがって、成果 4 は、達成されていると判断する。

(5) 成果 5 「エコツーリズムを中心とする地域振興モデルが、ガイドラインとして取りまとめられる。」

ガイドラインの目次案は作成されており、それに従いガイドラインの内容作成を進めている。(指標 5) この指標は 2009 年 9 月までに達成される見込みである。

(6) プロジェクト目標「対象地域において行政と住民のエコツーリズムを中心とした地域振興を進めるための人材育成・組織能力強化がなされる。」

プロジェクト目標に関する指標の達成度を考慮すると、本プロジェクトに関連する人材並びに組織は着実に強化されていると考えられる。更なる能力強化の余地はあるものの、全般的にいて、プロジェクト目標はプロジェクト期間内に達成される見込みであると判断できる。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：中程度

ボスニア・ヘルツェゴビナの新しい開発戦略 (2008-2013) は、作成中である。エンティティ政府レベルでは、最近、FBiH が観光開発戦略 2008-2018 を公表している。なお、両エンティティ政府の関連省庁は、観光開発関連プロジェクトに対する資金支援を行っており、本プロジェクトの複数のモデルプロジェクトが資金支援を受けている。観光開発を通じた地域開発はより重要視されつつあり、本プロジェクトは、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府の開発政策におおむね合致している。わが国のボスニア・ヘルツェゴビナに対する援助では、地域経済振興、エコツーリズム振興、経済行政機関のキャパシティ・ビルディングが重要視されているので、わが国の援助政策と整合性がある。本プロジェクトの対象地域では、失業率が高いため、関係市役所は、観光開発を重点分野のひとつと考えている。エコツーリズムのポテンシャルが適切に開発されれば、地域住民に雇用機会創出や追加の収入源となり得る。したがって、対象地域や地域住民のニーズに合致している。

プロジェクトアプローチのうち、アンブレラ組織構築については、市役所からの資金支援等の影響を受けやすい体制になっており、持続性ある官民協働体制であるかどうかについては疑問が生じる。

(2) 有効性：中程度

本プロジェクトにかかわった人材と組織の強化が着実に進められたといえる。官民双方とも、人的能力並びに組織能力の面で更に強化を図る余地があるものの、プロジェクト目標はおおむね満足できる水準に達したといっても差し支えないかと思われる。また、5 つの成果は、地域振興に対する関係者の理解促進、官民協力体制の構築、組織・人材の育成、モデル

を普及させるためのガイドラインの準備と、各ステップを段階的に達成することにより、プロジェクト目標が達成される構造となっており、ロジックとしてはおおむね無理のない形で設定がなされているといえる。

(3) 効率性：中程度

モデルプロジェクト実施に必要な投入に対して、JICA 側が提供できる資金が限られているため、モデルプロジェクトの円滑な実施においては、一定の制約があった。技術協力スキームの性質上、民間団体が実施するモデルプロジェクトに投入可能な資金額が限定的なものにならざるを得ないことは致し方ないことであった。

(4) インパクト：低い

上位目標達成の指標はプロジェクト終了後も協働体制が持続し、活動が行われることであるが、既述のとおり、協働でエコツーリズムを振興するための官民間の協力体制がいまだ十分に構築されている状況ではなく、上位目標達成の見通しは困難である。他方、モデルプロジェクト以外にも資金支援を得たプロジェクトがあったり、独自に民宿経営を開始した事例があったりするなど、本プロジェクトの活動から派生した取り組みの実績がみられるようになっており、こういった動きがアンブレラ組織の運営・活動の成果としても位置づけられ、アンブレラ組織持続のための資金的支援が継続することにつながれば、上位目標達成により近づくことができるものと考えられる。

(5) 持続性：低い

1) 政策面

「妥当性」の項目に記載のとおり、エコツーリズムを通じた地域開発は、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府（エンティティ政府及び市役所レベルの行政を含む）によって更に重要視されつつあると判断される。したがって、開発政策の観点からは、本プロジェクトの成果の政策面での持続性はあると見通される。

2) 制度・組織面

エコツーリズム開発にかかわる官民セクター間の調整や協働を促進・振興する機関としてプリバ地域とベレス地域にアンブレラ組織が設けられ、その組織内に、総会、役員会、事務局並びにプロモーション作業グループがある。官民間の協働・調整を継続性あるものにするためには、アンブレラ組織にかかわる人材の継続的能力強化が重要点のひとつである。もうひとつ重要な点は、アンブレラ組織の組織構造をより適切なものにするのである。プロジェクト関係者は、プロモーション作業グループのツアーオペレーション、統合的観光商品の販売、公報宣伝等の機能を強化するには、組織の種類をより適切なものに変える方がよく、アンブレラ組織とは切り離す案をもっている。すなわち、ツアーオペレーション等の活動は、利益追求型の民業であり、非営利団体として登録されているアンブレラ組織で活動するには不都合が生じかねないためである。この点については、関係者間で議論していく必要がある。

3) 財務面

アンブレラ組織の事務局運営は、プリバ地域及びベレズ地域の関係市役所との合意に基づいて、市役所から資金支援を得つつ行われている。関係市役所は、プロジェクト終了後も継続的に支援提供することを表明しつつも、財政状況が厳しい点も表明している。アンブレラ組織の財務面での持続性が確保されるかどうか見通しは明るくない。モデルプロジェクトの財務面での持続性については、モデルプロジェクトの活動進捗状況や観光商品開発状況がプロジェクトによって異なるため、財務面での持続性も異なっている。

4) 技術面

本プロジェクトで実施された各種の研修、ワークショップ、OJT等を通じて関係者の能力強化がおおむね良好に図られていると考えられる。アンブレラ組織が良好な調整・協働機能を果たすためには、アンブレラ組織関係者の更なる能力強化が重要である。モデルプロジェクト実施団体の関係者の知識や技能については、いくつかのモデルプロジェクト実施団体は事業を持続的に継続するのに必要な知識・技能を十分身に付けていると思われる一方で、まだ持続的に事業を実施する能力が十分ではない団体もある。

政策面、技術面では一定程度の持続性があることを確認できるものの、制度・組織面及び財務面での持続性については疑問が残る状況であり、特にプロジェクト終了後の活動を継続するには弱い。特にアンブレラ組織はその運営資金を市役所といういわば外部組織に依存しており、自ら活動を発展させていく力は低いと考えられる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

特になし。

(2) 実施プロセスに関すること

特になし。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

特になし。

(2) 実施プロセスに関すること

- 1) ボスニア・ヘルツェゴビナ側関係行政機関の限定的関与
- 2) ボスニア・ヘルツェゴビナ側のオーナーシップの不足

3-5 結論

各種研修、ワークショップ、ミーティング、OJT等の能力開発を通じて、またモデルプロジェクトの計画や実施を通じて、そして官民協働の下で、各種のプロジェクト活動がプリバ地域及びベレズ地域で実施されてきており、「妥当性」「有効性」「効率性」は中程度であるといえる。他

方、「インパクト」「持続性」は低い。プロジェクト目標はプロジェクト期間内に達成される見込みであると判断されるが、特に持続性が低いとする評価基準はアンブレラ組織の特に人材面並びに財務面での強化が必要であるとの認識に基づいており、この点はプロジェクト期間を延長することによって改善される性格のものではないため、プロジェクトは予定とおりの時期に終了させるものとする。

3-6 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

3-6-1 プロジェクトの残りの期間における、モデルプロジェクト実施団体、アンブレラ組織及び JICA 専門家に対する提言

- (1) 一部のモデルプロジェクト実施団体の更なる能力強化が必要
- (2) アンブレラ組織の能力向上、組織改善、プロモーション活動の強化が必要
- (3) アンブレラ組織のウェブサイトの内容改善や更新が必要

3-6-2 本プロジェクト終了後における関係行政機関に対する提言

アンブレラ組織の特に、財務面並びに人的な持続性を確保するためには、関係市役所並びにエンティティ政府の関係省庁はアンブレラ組織に対する資金的、物理的、人的支援を提供すべきである。

3-7 教訓（当該プロジェクトから導き出された他の類似プロジェクトの発掘・形成、実施、運営管理に参考となる事柄）

- (1) 相手国側関係者がオーナーシップをもってプロジェクトに参画することが、本プロジェクトのような技術協力プロジェクト実施における基本であり、高い主体性やコミットメントがあれば、より高い成果が得られたであろう。
- (2) 複雑な行政組織を有する国の場合、それぞれの関連行政機関が果たすべき役割をプロジェクト開始前に決めておき、プロジェクト実施において着実にその役割を遂行することが必要である。
- (3) PDM については、プロジェクト実施段階、活動内容に応じて必要な修正を施すことが必要であるとともに、日本側及び相手国側双方が PDM の内容を共有し理解しておく必要がある。

評価調査結果要約表（英文）

1. Outline of the Project	
Country: Bosnia and Herzegovina	Project title: Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism
Issue/Sector: Regional Development	Cooperation scheme: Technical Cooperation Project
Division in charge: Urban and Regional Development Division 1, Economic Infrastructure Department	Total cost (estimated at the end of March 2009) : 305million yen
Period of Cooperation	(R/D): From January 2007 to December 2009
	(Extension) :- (F/U) :-
Implementing Organization: Ministry of Foreign Trade and Economic Relations (BiH), Ministry of Environment and Tourism(FBiH), Ministry of Physical Planning, Civil Engineering and Ecology(RS), Ministry of Trade and Tourism(RS), Municipalities(Jaice, Sipovo, and Jezero, Mostar and Nevesinje)	
Supporting Organization in Japan: N/A	
<p>1 - 1 Background of the Project</p> <p>On receiving a request from the Bosnia and Herzegovina(BiH) government on regional economic development, JICA conducted a “Study on Sustainable Development through Eco-Tourism” from 2003 to 2005. As part of this study, six pilot projects were implemented in the Pliva are and Velez area. Both of these areas encompassed parts of Federation of Bosnia and Herzegovina(FBiH) and the Republic of Srpska(RS). Based on the lessons learned from these pilot projects, the JICA study team formulated a master plan regional development for the study areas including proposal of short-term action plans for sustainable eco-tourism. Afterwards, some of the action plans have been implemented with donor assistances. However, execution of the entire proposed action plans will prove to be a difficult task due to the lack of appropriate organizational framework available in both the public and private sectors, and also lack of human resources. Therefore, the government of BiH has requested a technical cooperation project to Japanese government in order to enhance the momentum of eco-tourism development, and to connect it to sustainable regional development.</p> <p>JICA, BiH, and Entity Governments, signed to the Record of Discussion for the Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism in Bosnia and Herzegovina(the Project) in May 2006 and this project started from February 2007 for around three years.</p> <p>1 - 2 Project Overview</p> <p>(1) Overall Goal</p> <p>The institutional systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.</p> <p>(2) Project Purpose</p> <p>Human resource is developed and institutions/organizations are strengthened in order to promote regional development through eco-tourism both at administrative and private levels in the model areas.</p>	

(3) Outputs

【Output1】 The purpose of eco-tourism as a measure for regional development, and knowledge and skills on eco-tourism are understood by relevant personnel.

【Output2】 Cooperation system is established between administrative agencies and private sector to jointly promote eco-tourism.

【Output3】 Organization and personnel capable of formulation development strategies and supporting implementation of projects for eco-tourism promotion are developed.

【Output4】 Personnel capable of engaging in the main fields of eco-tourism, which include developments of local agricultural products, country lodging, preservation and utilization of historical / cultural heritage, sports activities are developed.

【Output5】 Regional development models through promotion of eco-tourism are compiled as a guideline.

(4) Inputs(as of the end of May 2009)

Japanese side :

Short-term Expert: 9 persons(9 fields)

Provision of equipment: 194,616KM(13.4million JPY)(as of October 2008)

Local cost expenditure:123,439,000 JPY (expected amount up to the end of the Project)

Trainees received in Japan: 8 persons (they joined the courses held out of the Project framework)

BiH side:

C/P: Due to the limited number of staff in the counterpart organizations, BiH side could not assign Project Directors and Project Managers for the Projects.

Provision of land and facilities: Office spaces for the umbrella associations for Pliva area and Velea area are provided by the municipal governments of these areas.

Local Cost: Personnel expenses for the staff of the Secretary's office and expenses for utilities of offices of the Eco Pliva and the Eco Velez were allocated by the BiH side. BiH side also provided financial supports to the several model projects.

2. Evaluation Team

Members of Evaluation Team	Mr. Toshio HIRAI Leader,JICA	
	Mr. Hiroyuki KAWAMOTO Evaluation Planning ,JICA	
	Mr. Isao DOJUN Project Evaluation, Intenational Project Department, Chuo Kaihatsu Corporation	
	Ms. Reiko FUNABA Cooperation Planning JICA	
Period of Evaluation	From 19 June 2009 to 11 July 2009	Type of Evaluation : Terminal

3. Results of Evaluation

3 - 1 Achievement

(1) Achievement of Outputs

【Output1】

Output1 is expected to be achieved. Capacity building activities have been conducted 131 times in the forms of trainings, workshops, seminars, OJT(on the job training), and meetings under the Project. Total number of participants to those trainings in 1,214 as of end of June 2009. It seems that quite many persons

among administrative agencies, relevant organizations and residents have had opportunity for acquiring knowledge and skills on the regional development through eco-tourism promotion.

【Output2】

Output2 has been yet to be achieved. The umbrella associations for Pliva area and Velez area. It is difficult to operate these umbrella associations appropriately without continuous financial supports by the municipal administrations concerned. There is room to still improve the activities by the umbrella associations and the operational capacity of the umbrella associations are not matured enough.

【Output3】

Output3 is almost achieved. The umbrella associations have certain capacity to carry out development of eco-tourism promotion strategy and supports to each project, especially preparation of project documents for financial request under the cooperation with the model project implementing organizations. In addition to the promotion by web site and the promotion materials, various kinds of promotion activities have been conducted under the Project to produce a certain degree of results.

【Output4】

Output4 has been achieved. Capacity development has been conducted enough for the persons concerned of the governmental institutions, model projects and local residents etc.

【Output5】

This indicator will be achieved by the end of September 2009.

(2) Prospect of achieving Project Purpose

Considering the degrees of achievement of the following indicators, it seems that the human resources are developed and organizations concerned with the Project are strengthened steady. Although there is room for further development and enhancement, it can be said that the Project Purpose is achieved at a satisfactory level in general.

3 - 2 Summary of Evaluation Results

(1) Relevance : Satisfactory

Regional development through tourism development is regarded as important furthermore. Therefore, the aim of the Project is generally relevant to the developemnt policies of BiH.

Regional economic development, eco-tourism development, capacity development of economy related administrative institutions are regarded as important among Japan's assistance policy and JICA's cooperation plan for BiH. Therefore, this project is well relevant with the Japan's assistance policy.

The municipal administrations in the target areas consider the tourism development as one of the important sectors because the unemployment rate is high in the project target areas. There are abundant resources and potential for developing eco-tourism in these areas. When the potential of eco-tourism is developed appropriately, it will provide employment opportunity and additional income sources for the local communities. Therefore this project is relevant with the needs of the target areas and communities.

One of the important approaches of the Project is to establish a framework for collaborative activities among administrative agencies and private community organizations and make it functional. Thus umbrella associations are established, however, this framework has room to be affected negatively depending on the human and financial situations of administrative agencies. This is a risk factor of this framework.

(2) Effectiveness : Satisfactory

It seems that the human resources are developed and organizations concerned with the Project are strengthened steady. Although there is room for further development and enhancement in terms of human resources and organizations concerned (both governmental and private sector), it can be said that the Project Purpose is achieved at a satisfactory level in general.

(3) Efficiency : Satisfactory

It seems that there was certain limitation for smooth implementation of the model projects due to the JICA's limited budget for inputs for the model projects. Therefore, the persons concerned with the Project have made a lot of efforts to seek other financial resources from other organizations such as entity ministries concerned, UNDP, and Embassy of Japan in BiH, etc.

One of the facilitating factors for efficiency is good cooperation and collaboration among the municipal administrations in the project target areas and also among the model project implementing organizations.

(4) Impact

1) Prospect of achieving the Overall Goal

Overall Goal: The institutional Systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.

For further promotion of eco-tourism after the completion of JICA cooperation, it is necessary for the umbrella associations to continue collaborative activities among administrative agencies and private community organizations and also to take leading roles in promoting eco-tourism. Further capacity enhancement of the persons concerned with the umbrella associations is necessary in order to provide supports which the community organizations expect. However, there are risks such as human and financial influences from the administrative agencies.

2) Other impacts

- ① As a result of capacity development on the financial support requesting proposal, several financial supports have been obtained from the entity-level ministries, UNDP and Embassy of Japan not for the model projects but also other projects.
- ② It is reported that there are new country lodgings that started independently.
- ③ The persons concerned with the Project in the administrative agencies and community organizations recognized well about necessity and usefulness on collaborative activities among public and private sectors and also inter- municipal cooperation in order to promote regional development through eco-tourism.

(5) Sustainability

1) Political aspect

It seems that regional development through tourism development is regarded as important furthermore by the government of BiH including entity level and also municipal level. Therefore, it seems that there is certain good prospect that the results of this project sustained from the view point of development policy.

2) Organizational and financial aspect

As an organization to promote collaborative activities and coordination among public and private sector related with eco-tourism development, both umbrella associations in the Pliva and Velez areas have the assembly, the board of director, the secretary's office and the promotion working group within the

organization. Continuous enhancement of capacity of persons involved in the umbrella associations is one of the important aspects for continuing good coordination for collaborative activities in sustainable way. Another aspect is to seek more appropriate structure of the umbrella associations. There is an idea among the persons concerned with the Project that it is better to separate the promotion working group having appropriate organizational status in order to strengthening its functions such as tour operation, promotion of integrated tourist products, and advertisement etc. Therefore, it is necessary to discuss this issue among persons concerned.

As for financial sustainability of the umbrella associations, there are agreements on support to the umbrella associations by the municipal administration in the Pliva and Velez areas. Although the municipal administrations expressed continuous support to the umbrella associations, it seems that the financial sustainability of the umbrella association is not secured enough.

As for financial sustainability of the model projects, there are differences in the progress of the project activities and development of tourism products. Therefore, some organizations that implementing the model project might have enough financial resources to continue their activities and other organizations might not.

3) Technical aspect

As a result of the trainings, workshops and OJT, capacity of the persons concerned have been enhanced well in general. Continuous enhancement of capacity of persons involved in the umbrella associations is one of the important aspects for continuing good coordination for collaborative activities in sustainable way.

As for knowledge and skills of the persons involved in the model projects, some organizations have good knowledge and skills for implementing the model projects in sustainable way, but also there are some organizations that have not yet sufficient capacity to implement the model projects in sustainable way.

3 - 3 Contributing factors

None

3 - 4 Impeding factors

<Implementing process>

1) Intervention by the concerned administrative organizations of BiH was rather limited to a certain areas.

2) Insufficient ownership of BiH side.

4 - 1 Conclusion

Various kinds of project activities including capacity development through trainings, workshops, meetings, and OJT, and also through planning and implementation of the model projects have been carried out in the various places in the Pliva and Velez areas in collaboration among public sector and private sector, and it can be said that the Project Purpose is achieved at a satisfactory level in general. Persons involved in the Project have further recognized the necessity and effectiveness of the collaboration not only among public and private sector but also inter-municipal or regional cooperation. Seventeen model projects have been carried out under the Project and it seems that around half of those projects can be carried out in sustainable way. As for the umbrella associations, further enhancement

especially in terms of human capacity and financial sustainability is necessary.

4 - 2 Recommendations

4-2-1 Recommendation to the model projects implementing organizations, the umbrella associations in the Pliva and Velez areas and JICA experts in the remaining period of the Project

(1) Further capacity development

There are several model projects that further capacity development and effective remedies are necessary in order to secure sustainability. Therefore, it is recommended the model projects implementing organizations concerned, the umbrella associations in the Pliva and Velez areas and JICA experts to take necessary measures for improvement as much as possible.

(2) Umbrella associations

In order to strengthen capacity of the umbrella associations and make necessary organizational improvement, the persons concerned with the umbrella associations should discuss from the viewpoints of continuation of good coordination for collaborative activities among the public and private sectors and enhancement of promotion activities.

(3) Website of the umbrella associations

It is necessary to improve and update the contents of websites of both umbrella associations for more attractive ones.

4-2-2 Recommendations to the governmental administrations concerned with the Project after the termination of the Project

In order to ensure financial and human sustainability of the umbrella associations, the administrative agencies especially, the municipal administration concerned and also the ministries concerned of the entity governments should provide necessary financial, physical and human supports to the umbrella associations.

4 - 3 Lessons Learned

(1) Involvement of counterpart organizations concerned with a project is a basis for implementing this kind of JICA's technical cooperation. Higher results of the project would be obtained when the counterpart organizations concerned had involved with their higher initiative and commitment.

(2) When there is a complicated governmental system like BiH, it is necessary to be decided the roles of respective governmental organizations for a project before the start of the project based on the results of stakeholders analysis and their mandates. After the start of the project, it is necessary for the governmental organizations concerned to take their roles securely.

(3) It is necessary to modify PDM in the course of project implementation in accordance with the project activities and also to share and understand contents of PDM by both sides (Japanese side and counterpart side).

第1章 評価調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

本プロジェクトは、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府〔中央政府とエンティティ（準国家的な統治機構）政府など〕内での調整・合意を経て、2006年5月に討議議事録（R/D）への署名が行われ、2007年1月から約3年間の協力が開始された。2009年12月にプロジェクトが終了することから、今般、終了時評価調査を実施することになった。調査の目的は以下の4点である。

- (1) これまで実施した協力活動について当初計画に照らし、計画達成度（投入実績、活動実績、プロジェクトの成果の達成状況）を把握する。
- (2) 計画達成度を踏まえ、JICA 事業評価ガイドラインに沿って評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点からプロジェクトの評価を行う。
- (3) 評価結果から他のプロジェクトの形成、運営、評価などに参考となる教訓を導き出すとともに、日本側及びボスニア・ヘルツェゴビナ側の今後の対応などについて提言を行う。
- (4) 上位目標の達成に向けた、ボスニア・ヘルツェゴビナ側の今後の計画及び取り組みについて確認し、プロジェクト終了後のわが方の協力方針について、ボスニア・ヘルツェゴビナ側と協議する

1-2 調査団の構成

担当業務	氏名	所属
総括	平井 敏雄	JICA 経済基盤開発部 参事役
計画管理	川本 寛之	JICA 公共政策部 ジェンダー・平和構築グループ 調査役
評価分析	道順 勲	中央開発（株）海外事業部 課長

1-3 調査行程

2009年7月2日から同年7月11日までの9日間（付属資料6を参照）

※評価分析員（コンサルタント）は、6月19日出発で先行。日本人専門家打合せ。カウンターパート（C/P）への聞き取り調査を経て、7月2日に調査団と合流。

1-4 主要面談者

1. Ministry of Foreign Affairs : 外務省（中央省庁）

Mr. Sefik Fadzan, Minister- Counselor, Head, Department for Multilateral Economic Relation and Reconstruction, Ministry of Foreign Affairs

Ms. Alma Vrazalica, First Secretary

2. Ministry of Foreign Trade and Economic Relations (MOFTER) : 対外経済貿易関係省（中央省庁）

Mr. Reuf Hadzibegic, Assistant Minister, Sector for Natural Resources, Energy and Environmental

Protection

Ms. Brankica Pandurebic, Head of Department for Water Resources and Tourism, Sector for Natural Resources, Energy and Environmental Protection

3. Federal Ministry of Environment and Tourism : 環境観光省 (FBiH)

Mr. Nedeljko Babic, Assistant Minister for Tourism

4. RS Ministry of Physical Planning, Civil Engineering and Ecology : 国土計画建設省 (RS)

Mr. Ozren Laganin, Senior Associate, for Environment Protection

5. Ministry of Trade and Tourism : 貿易観光省 (RS)

Ms. Jadranka Stojanovic, Assistant Minister for Tourism, Ministry of Trade and Tourism

6. Eco Pliva : プリバ地区アンブレラ組織

Mr. Dule Piljić, President of Board of Director, President of Pliva Country Lodging

Ms. Snežana Ružičić, Member of Assembly

Ms. Mira JOVIC, Administrator of Secretary's office of Eco Pliva

7. Pliva Sport Association

Mr. Aleksandar Djukic, President of PSA (Pliva Sport Association)

8. Pliva Country Lodging

Mr. Dule Piljić, President of Pliva Country Lodging

9. Jaice 市役所

Mr. Emir Zjajo 市議会議長及び経済開発部長

10. Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce

Ms. SOFTIC Aida, Director, "Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce"

Ms. Jasmina, Volunteer

11. Sipovo 市役所

Mr. Dusan Malinovic 市長

12. Jezero 市役所

Mr. Slobodan Laketic 市長

13. KDUG Blagai

Mr. Mustafa Golos, 代表

Ms. Muamesa Obradovic

14. STK Blagaj

Mr. Emir Askraba, president of STK (Sports Tourist Club)

15. Nevesinje 市役所

Mr. Siljegovic Momcilo, 市議会議長

16. Fishing Association Nevesinje

Mr. Slavisa Glogovac

17. Eco Farm (モデル観光(教育)牧場)

Mr. Esad Kolicic/Ismet (Eco Farm の代表, Director)

18. Mostar 市役所

Ms. Ivana Maric, Head of Economic Department, Municipality of Mostar

- Ms. Divna Premilovac, Senior Associate Tourism, Municipality of Mostar
Ms. Asmira Custovic, Tourism Advisor, Municipality of Mostar
19. Eco Velez : ベレズ地区アンブレラ組織
Mr. Ramiz Basic, President of Board of Director
Mr. Jovan Kostic, Executive Director
20. 在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館
疊 二夫 特命全権大使
荒牧 拓 一等書記官
21. エコ・ベレズ関係者インタビュー
Mr. Jovan Kostic, Executive Director, Eco Velez
Mr. Ramiz Basic, President, Board of Director of Eco Velez
22. STK Blagaj の代表インタビュー
Mr. Emir Askriba, president of STK (Sports Tourist Club)
23. エコ・プリバ関係者インタビュー
Mr. Dule Piljić, President of Board of Director, President of Pliva Country Lodging
Ms. Snežana Ružičić, Member of Assembly
Ms. Mira JOVIC, Administrator of Secretary's office of Eco Pliva
24. PSA (Priva Sport Association) 代表インタビュー
Mr. Aleksandar Djukic, President of PSA (Pliva Sport Association)
25. Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce
Ms. SOFTIC Aida, Director, "Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce"

第2章 プロジェクトの概要

2-1 プロジェクトの背景

ボスニア・ヘルツェゴビナ（BiH）では、1992年に勃発した内戦後、95年の国際社会調停による Dayton 和平合意が成立し、国際社会監視の下に被災したインフラ復興・難民帰還促進事業が進められ、2000年には内戦被害の復興がほぼ達成された。一方、2000年以降、同国の重点整備課題とされてきた計画経済からの脱却、資本主義経済への移行等の構造変革は予定どおりには進まなかった。すなわち、大部分の市民を雇用してきた国策会社の民営化・再建が進まず、帰還難民の生活再建のめども立たず、国内の都市部へ職を求めて再流出するだけでなく、戦争難民として受け入れてくれた国々へ再度、経済難民として流出する状況が続いた。ボスニア・ヘルツェゴビナの経済復興・生活再建への社会的ニーズを受け、JICAは2003年から「エコツーリズムと持続可能な地域づくりのための開発計画調査」を実施し、内戦で争った民族同士が協力して地域の再生に臨むべく選定された2つのエンティティ〔準国家的な統治機構：ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦（FBiH）とスルプスカ共和国（RS）〕にまたがる北部（3市）と南部（2市3地区）地域で計6つのパイロットプロジェクトを実施し、その教訓を踏まえた地域開発マスタープランを作成するとともに、パイロットプロジェクトの継続を含む短期アクションプランを作成した。開発調査終了後、一部のアクションプランが国連開発計画（UNDP）の支援によって実行に移された。しかし、アクションプラン全体の実現に向けては、ボスニア・ヘルツェゴビナ側の官民双方の組織体制が整備されておらず、人材も不足しているため、大きな進展がみられない。このような背景の下、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府及び民間関係者のエコツーリズム開発への強い関心と意欲を進展させ、持続的開発につなげることを目的として技術協力プロジェクトの要請がなされた。

2-2 プロジェクトの基本設計

本プロジェクトの基本設計は以下のとおりである。

- ・プロジェクト期間：2007年1月20日～2009年12月31日
- ・協力金額：約4億円
- ・先方関係機関：MOFTER（中央政府）、環境観光省（FBiH）、国土計画建設省（RS）、貿易観光省（RS）、プロジェクト対象地域の市役所（FBiH；ヤイツェ市、モスタル市、RS；イエゼロ市、シポボ市、ネベシニエ市）
- ・投入
日本側：JICA 専門家派遣；9分野9名、本邦研修受入；計8名（ただし本件の枠組み外での投入）、機材供与
ボスニア・ヘルツェゴビナ側：C/P 配置、ローカルコスト

2-3 PDM

本プロジェクトのプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）は、2007年5月の事前調査にて策定された（付属資料2を参照）。その後、本終了時評価まで、変更はされていない。

2-4 活動計画

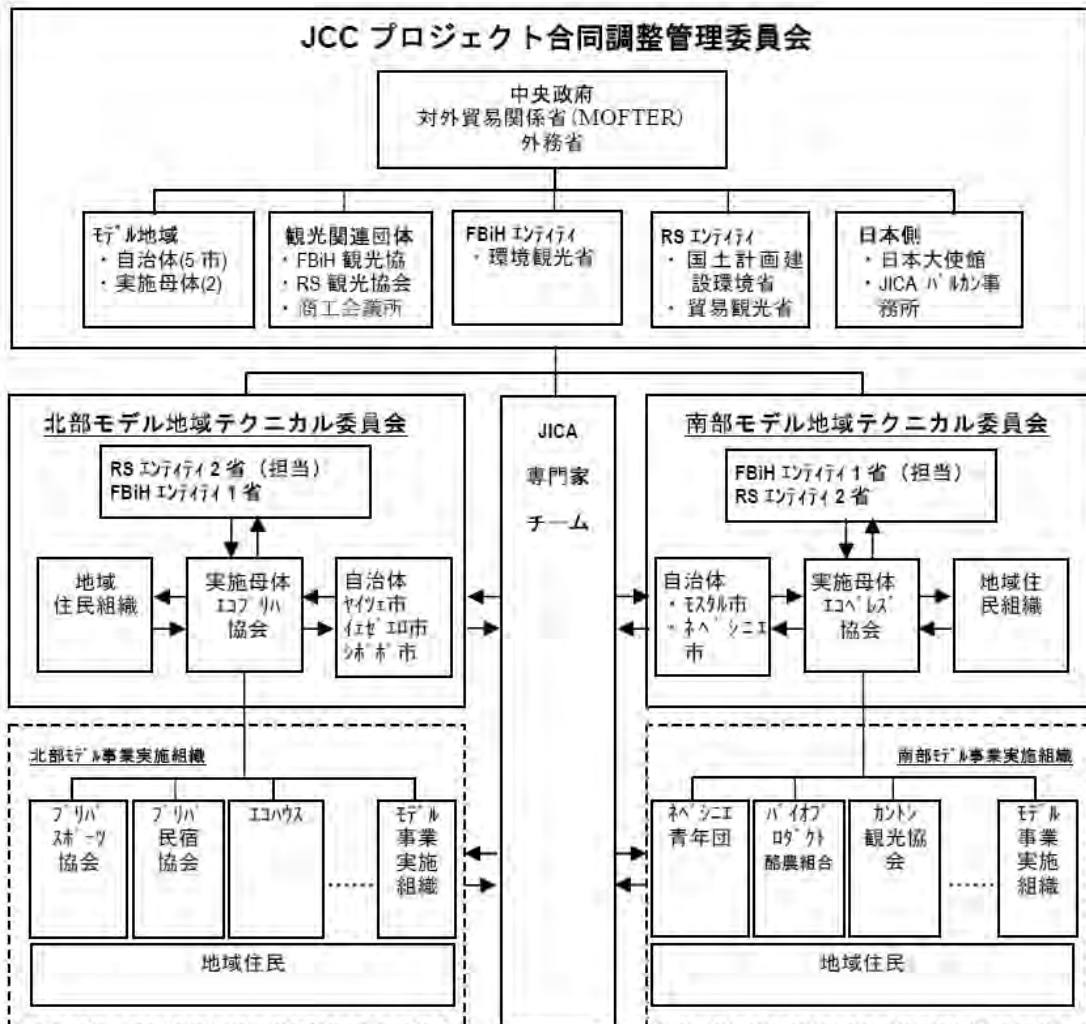
本プロジェクトの活動計画（PO）は、2007年5月の事前調査の実施協議にて策定された。プ

プロジェクトの活動はプロジェクトの目標・成果の達成のために、投入物を活用して実施されるものである。本プロジェクトのPOに大きな変更はない。

2-5 実施体制

本プロジェクトは、開発調査において調査対象とした両エンティティにまたがる以下の2つの地域を引き続きモデル地域とした。

地 域		地方自治体
1	北部モデル地域： プリバ川流域3市	FBiH エンティティ：ヤイツェ市 RS エンティティ：シポボ市、イエゼロ市
2	南部モデル地域： ベレズ山系2市(3地区)	FBiH エンティティ：モスタル市(ブラガイ地区、ポドベレズ地区) RS エンティティ：ネベシニエ市



第3章 評価の方法

3-1 評価の方法

事前評価調査報告書（2006年11月）、JICA 専門家作成の報告書（各年次の業務計画書や各年次の業務完了報告書）、JICA 専門家作成のその他の実績関連資料等に基づいて、終了時評価用 PDM 案を作成するとともに、評価グリッド案を作成し、JICA 専門家チームへの質問事項並びにモデルプロジェクト実施団体への質問票を作成し、回答作成を依頼した。JICA 専門家チームに対する質問事項については、現地調査開始初期までに回答を受領し、モデルプロジェクト団体への質問票への回答は、現地調査時後半に受領した。現地調査においては、まず、JICA 専門家チームにプロジェクト活動進捗状況の概況を確認したうえで、評価用 PDM の確定を行った。その後、本プロジェクトの政府 C/P 機関である MOFTER（中央政府）、環境観光省（FBiH）、国土計画建設省（RS）、貿易観光省（RS）と外務省（中央政府）への表敬と聞き取り調査、プロジェクト対象地域の5市役所（ヤイツェ市、イエゼロ市、シポボ市、モスタル市、ネベシニエ市）の関係者聞き取り、アンブレラ組織関係者への聞き取り、モデルプロジェクト実施団体代表者への聞き取りを行うとともに、一部モデルプロジェクトの現場を視察した。

なお通常の評価調査では、相手国関係機関の関係者と日本側評価チームで構成される合同評価チームをつくって、一緒に現地調査や協議を行うことを通じて、最終的な評価報告書を作成する手順を取るが、ボスニア・ヘルツェゴビナの複雑な政府体制の影響を受けて、本件終了時評価では、現地調査に同行したのは、中央政府である MOFTER の職員1名だけであった。報告書内容については、日本側評価チームがドラフトを提示し、その概要についてエンティティ政府の環境観光省（FBiH）、国土計画建設省（RS）、貿易観光省（RS）並びに中央政府の MOFTER に説明する機会を設け、内容について了解を得るという手順となった。

3-2 主な調査項目

終了時評価は、終了時評価用 PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス、評価5項目に関する評価を行うもので、主な調査項目は以下で構成される。

- (1) PDM の指標に基づく、成果の達成度、プロジェクト目標の達成度並びに上位目標の達成見込み
- (2) 実施プロセスの状況
- (3) 評価5項目に関する評価
 - 1) 妥当性：ボスニア・ヘルツェゴビナの対象地域・社会のニーズとの整合性、ボスニア・ヘルツェゴビナの開発計画との整合性、日本の援助政策と整合性、プロジェクトアプローチの適切性
 - 2) 有効性：プロジェクト目標の達成度、成果のプロジェクト目標達成への貢献度、プロジェクト目標達成に対する貢献・阻害要因
 - 3) 効率性：達成された成果からみた投入の質・量・タイミングの適切性、効率性を促進・阻害した要因

- 4) インパクト：上位目標達成の見通し、その他、プロジェクト実施によりもたらされた正負の効果・影響
- 5) 持続性：開発政策との整合性、実施機関の運営管理能力、財務面の持続性、技術面における持続性

3-3 情報・データ収集方法

上記のとおり、既存文献収集、質問票調査、インタビュー調査、現地視察を通じて情報・データ収集を実施した。

第4章 プロジェクトの実績

4-1 投入実績

4-1-1 日本側の投入

(1) JICA 専門家の派遣¹

9 分野の JICA 専門家と業務調整員が派遣されている。分野は、①総括／観光開発計画、②副総括／組織分析・強化、③観光プロモーション、④観光マーケット戦略、⑤資金計画、⑥歴史文化遺産保全、⑦自然環境保全及びエコツーリズム活動、⑧人材育成、⑨モデルプロジェクト管理、である。プロジェクト終了時までの予定 MM は、計 72.33 である。詳細は、付属資料 1. 署名済み M/M の Annex 3 を参照のこと。

(2) 機材供与

プリバ地域とベレズ地域のアンブレラ組織用並びにプロジェクト事務所にコンピュータ等の事務機器が調達され、また、モデルプロジェクト向けの機材が調達された。機材リストは、付属資料 1. 署名済み M/M の Annex 4 を参照のこと。

(3) 本邦研修

プロジェクト関係者 8 名が、「エコツーリズムと地域開発戦略」と題する本邦研修に参加する機会を得た。詳細は、付属資料 1. 署名済み M/M の Annex 5 を参照のこと。

(4) 日本側ローカルコスト負担

プロジェクト活動実施のために日本側が支出したローカルコストは、プロジェクト終了時までの予定額を含めて 1 億 2,343 万 9,000 円である。詳細は、付属資料 1. 署名済み M/M の Annex 6 を参照のこと。

4-1-2 ボスニア・ヘルツェゴビナ側の投入

(1) C/P の配置

R/D では、実施機関側からプロジェクト・ダイレクター（複数）とプロジェクト・マネジャー（複数）を C/P として配置する計画であったが、実施機関の陣容が限られているため（主として職員数が少ないため）、C/P の配置が行われなかった。

(2) 事務所スペースの提供など

プリバ地域とベレズ地域のアンブレラ組織用の事務所スペースが、関係市町村から提供された。具体的には、プリバ地域の場合は、開発調査時にヤイツェ市が所有する土地に建設した建物内にアンブレラ組織の事務所を設けた。ベレズ地域の場合は、モスタル市役所のブラガイ支所の事務所内のスペースの提供を受けた。

¹ 本技術協力プロジェクトは、コンサルタント等契約に基づいて実施されている。

(3) ボスニア・ヘルツェゴビナ側の予算支出

プリバ地域とベレズ地域のアンブレラ組織の事務局職員の給料や事務所の光熱費をボスニア・ヘルツェゴビナ側が負担した（具体的には、関連市町村）²。このほか、ボスニア・ヘルツェゴビナ側（エンティティ政府）は、いくつかのモデルプロジェクトに対する資金的支援を提供した。

4-2 成果の実績

4-2-1 成果1：地域振興方策としてのエコツーリズムの目的ならびにエコツーリズムに関する知識・技術が、関係者によって理解される。

以下に述べるように、成果1の達成度はおおむね良好なものであろうと考えられる。

指標1：行政、関連団体、住民でエコツーリズムを中心とした地域振興に関する知識・技術を理解した人数

2009年6月末までに、研修、ワークショップ、セミナー、OJT、会議等といった形で計131回の能力強化活動が実施され、延べ1,214人がこれらの研修等に参加した。（詳細は、付属資料1．署名済みM/MのAnnex 7を参照のこと）。行政機関、関連コミュニティ団体、地域住民などかなり多くの人々が、エコツーリズムを通じた地域開発に関する知識・技能を身に付ける機会が得られたと思われる。

4-2-2 成果2：協働でエコツーリズムを振興するための官民間の協力体制が構築される。

以下に述べるように、官民間の協働によるエコツーリズム振興の役割を担う組織として、アンブレラ組織が、プリバ地域とベレズ地域の両地域に構築され、官民間の協力体制の構築はなされ、本指標は達成された。

指標2-1：官民参加のアンブレラ組織がプリバ地域とベレズ地域に作られる。

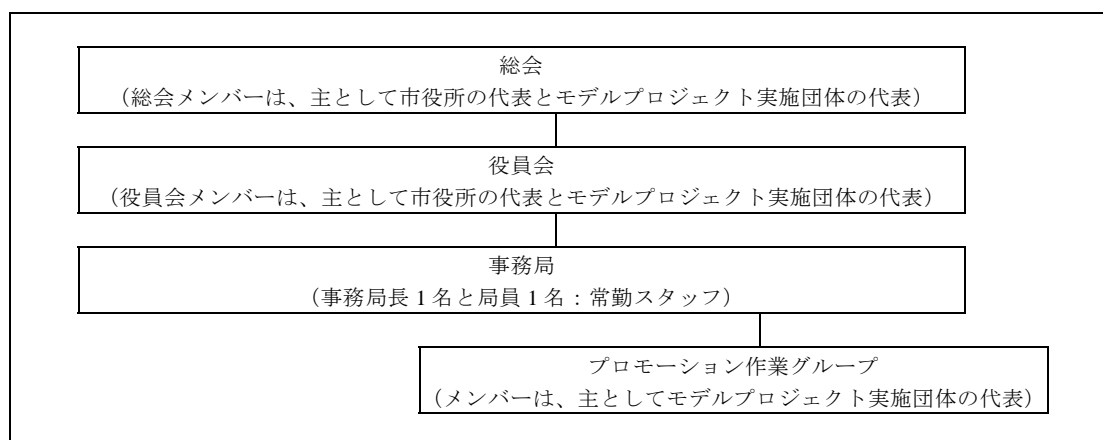
プリバ地域のアンブレラ組織は、JICAが2003年から2005年にかけて実施した開発調査におけるパイロット事業の一環として設けられた。そのときは、官民双方のメンバーで構成される総会と役員会だけで構成される組織であって、日常的に業務を行う事務局がなかった。開発調査終了後には、このアンブレラ組織が休眠化したことから、本プロジェクトでは、このアンブレラ組織の再活性化を図るために、事務局を設けることにした。そして、事務局運営に必要な費用（事務局職員の給料と事務所の光熱費等）については、関連する市役所の支援を求めることとなった。また、事務局の下には、主としてモデルプロジェクト実施団体関係者で構成されるプロモーション作業グループが設けられた。

ベレズ地域のアンブレラ組織については、新規に設立することから開始し、2008年5月に組織形成された（ただし、非営利団体としての登録を通じての正式な組織化は2008年10月）。

² なお、実情としては、一部の市役所からの資金提供は遅れがちであり、1つの市役所（モスタル市）の場合は、2008年10月の市長選挙の結果が確定せず、市長不在がつづき、資金提供は実施されていない。

組織構成はプリバ地域のアンブレラ組織と同様に、総会、役員会、事務局、プロモーション作業グループで構成される。

アンブレラ組織の概要を以下に示す。



なお、このアンブレラ組織の活動を適切に進めるうえでは、関係する市役所の資金的支援が不可欠な状況にある。

現在の各アンブレラ組織の総会、役員会、事務局、プロモーション作業グループのメンバー構成概要を下表に示す。

(1) エコ・プリバの場合

組 織	構 成 員	人	備 考
総 会	市役所代表	6	各市役所代表 2 名 x 3 市
	モデルプロジェクト実施団体の代表	5	
	その他団体の代表	1	事務局 Administrator
	小 計	12	
役員会	市役所代表	1	ヤイツェ市役所
	モデルプロジェクト実施団体の代表	6	
	その他団体の代表	0	
	小 計	7	
事務局	Executive Director (事務局長)	空席	
	Administrator	1	
	小 計	1	
プロモーション 作業グループ	事務局職員	0	
	モデルプロジェクト実施団体の代表	7	
	その他団体の代表	2	
	小 計	9	

(2) エコ・ベレズの場合

組 織	構成員	人	備 考
総 会	市役所代表	0	ネベシニエ市内の NGO が 5 団体、ブラガイ地区の NGO が 5 団体、ポドベレズ地区の NGO が 2 団体
	モデルプロジェクト実施団体の代表	8	
	その他団体の代表	4	
	小 計	12	
役員会	市役所代表	2	ネベシニエ市内の NGO が 2 団体、ブラガイ地区の NGO が 2 団体、両市役所代表が 1 名ずつの計 2 名
	モデルプロジェクト実施団体の代表	3	
	その他団体の代表	1	
	小 計	6	
事務局	Executive Director (事務局長)	1	ネベシニエ市役所指名
	Administrator	1	モスタル市役所職員派遣
	小 計	2	
プロモーション 作業グループ	事務局職員	1	事務局長
	モデルプロジェクト実施団体の代表	5	
	その他団体の代表	0	
	小 計	6	

指標 2-2 : アンブレラ組織の定期的ミーティングが開催される (年 4 回以上)。

プリバ地域のアンブレラ組織であるエコ・プリバの役員会は 2007 年 10 月から 2009 年 6 月末までの期間に計 15 回実施されている。会議の開催頻度としては年間約 8 回である。一方、ベレズ地域のアンブレラ組織であるエコ・ベレズについては、組織化に時間を要したことから、最初の役員会が実施されたのは 2008 年 5 月であった。それ以降 2009 年 6 月までに 4 回の役員会が開催された。開催頻度は年間約 4 回である (下表参照のこと)。

したがって、本指標は達成されたと判断できる。

表 4-1 年ごとの役員会開催回数

アンブレラ組織	2007 年	2008 年	2009 年 (6 月末まで)	年間開催頻度
エコ・プリバ	6 回 (10 月から)	5 回	4 回	約 8 回
エコ・ベレズ	なし	3 回 (5 月から)	1 回	約 4 回

指標 2-3 : モデルプロジェクトに参加した組織がアンブレラ組織の活動に満足する。

複数のモデルプロジェクト実施団体の代表者への聞き取り結果では、まだアンブレラ組織の活動を改善する余地があり、また、その運営能力を向上させる必要性があるとする意見が多か

った。モデルプロジェクト実施団体へのアンケート調査結果からも、アンブレラ組織の活動にはまだ十分満足していないことがうかがわれる。まだアンブレラ組織の活動に対する満足度は低いと判断される。したがって、この指標の達成度は十分ではないと思われる。

指標 2-4：中央、エンティティ、地方の関係行政機関による定期的ミーティングが開催される。

合同調整委員会（JCC）は 2009 年 6 月末までに計 5 回開催されている。出席者は、中央政府関連省庁代表、両エンティティ政府（FBiH と RS）代表、関連市役所代表、両アンブレラ組織代表、コミュニティ団体代表、日本大使館代表、JICA バルカン事務所代表、JICA プロジェクトチームメンバーである。JCC の主たる機能は、①プロジェクトの進捗状況や達成状況を定期的にレビューすること、②プロジェクト実施に関して生じている課題について意見交換すること、③必要に応じてプロジェクト活動の修正について承認することである。

本プロジェクトでは、プリバ地域、ベレズ地域それぞれに、技術委員会も設けられ、2009 年 6 月までに、両地域で 7 回ずつの会議が開催された。出席者は、エンティティ政府の関連省庁の代表、アンブレラ組織の代表、コミュニティ団体代表、JICA プロジェクトチームメンバーである。技術委員会の主たる役割は、モデルプロジェクト間の協力や統合を念頭に入れつつ、モデルプロジェクト等の効果的運営のために必要な方策について意見交換することである。

これらの会議に加えて、JICA プロジェクトチームは、中央政府とエンティティ政府の関連政府機関で構成されるワーキンググループを設け、2007 年 10 月から数回の会議を開催した（具体的には、2007 年 10 月 17 日、10 月 22 日、2008 年 1 月 28 日、6 月 5 日）。会議の主たるテーマは以下のとおりであった。

- ・ 国家観光開発方針の策定
- ・ 観光関連法制度の統一と EU 基準の導入
- ・ 施行体制と透明性の確保
- ・ 観光産業の育成と助成
- ・ 小規模観光インフラの整備
- ・ 観光税の徴収と活用

JCC と技術委員会への出席については、RS の国土計画建設省と貿易観光省の出席率が低かった。参考として、関係機関の JCC 及び技術委員会への出席状況を付属資料 5 に示す。

したがって、本指標は達成されたと判断できる。

4-2-3 成果 3：エコツーリズム振興のための戦略開発およびプロジェクトの実施支援ができる組織・人材が育成される。

アンブレラ組織並びにモデルプロジェクト実施団体関係者が、個別プロジェクト実施に必要な資金要請書を作成する能力は、その実績からみて身に付けていると判断される。アンブレラ組織によるエコツーリズムの統合的プロモーション関連活動も一定程度成果を上げていると判断される。ウェブサイトの内容を改善する必要があるものの、全般的にはおおむねエコツーリズム振興策や個別プロジェクトに対する実施支援が行えるアンブレラ組織と人材が育成されつつあると判断する。ただし、エコ・ベレズの事務局の能力については、かなり限定的であり、人材が育成されたとはいいい難い状況である。モデルプロジェクト実施団体の関係者を含

めた総体としてのアンブレラ組織としては、ある程度人材が育成されていると思われる。したがって、成果3はおおむね達成されていると判断する。

指標 3-1：アンブレラ組織によるエコツーリズム振興計画の協議と個別プロジェクト案へのドナー、エンティティ政府への資金要請に係る支援の実績

(1) 地域開発に関する協議

エコ・プリバ、エコ・ベレズ並びにモデルプロジェクト実施関係者はエコツーリズムを中心とする地域開発に関する戦略や PO の議論・検討・調整を行ってきており（協議実績の事例を、付属資料1．署名済み M/M の Annex 8 に示す）、その成果のひとつがモデルプロジェクト等への資金要請書作成支援であり、いくつかの案件については、実際に資金支援を受けている。

(2) 資金要請支援と現状

エコ・プリバ、エコ・ベレズ並びにモデルプロジェクト実施関係者がかかわって、資金要請書を作成した案件が 13 案件ある。要請先は、エンティティ政府の関連省庁、UNDP、日本大使館である。このうち、6 案件については既に資金提供を受けている。資金支援は決まっているが、支援金額が未定のものが 3 件、審査段階にあるものが 4 件ある。現在更に、2 案件の要請書作成を進めている。詳細は、付属資料1．署名済み M/M の Annex 9 を参照のこと。

以上の実績から判断して、アンブレラ組織は、モデルプロジェクト実施団体と協働して、エコツーリズム振興のための戦略開発並びに個別プロジェクトの実施支援、特に資金支援要請支援ができる能力がある程度身に付いていると判断される。

指標 3-2：アンブレラ組織による対象地域のエコツーリズム振興のための総合的プロモーションの実施実績

(1) ウェブサイトを通じたプロモーション

プリバ地域及びベレズ地域のエコツーリズム振興のため、エコ・プリバとエコ・ベレズそれぞれのウェブサイトがつくられ、観光案内、宿泊施設の情報と宿泊予約受付、観光キャンペーン情報、などが掲載されている。また、ベレズ地域については、観光マップやパンフレット類をダウンロードすることが可能である。なお、モデルプロジェクト実施団体関係者からは、ウェブサイトの内容更新があまり行われていないこと、内容自体にもっと工夫する余地があることなどの指摘があった。

(2) プロモーション活動（観光商品販売促進活動）

本プロジェクトでは、上記のウェブサイトを通じたプロモーションやパンフレット類を使ったプロモーションのほかに、プリバ地域及びベレズ地域の観光プロモーションに関するアクションプランの作成、モデルプロジェクトを組み合わせた観光商品の開発とその販

売のためのプロモーション・キャンペーン、国際観光フェア出展や観光関連団体への説明、小中学校への販売促進（遠足）、近隣国のジャーナリストを招いてのプリバ地域及びベレズ地域のエコツーリズム紹介など多様な形態での市場開発を進めている。プロモーション活動関連の実績を、付属資料1．署名済み M/M の Annex 10 に示す。

なお、パンフレット類としては、それぞれの地域で以下のものが作成されている。

地 域	種 類	内 容
プリバ	小冊子	プリバ地域概要紹介
	折り込みチラシ	①一般概要、②文化と歴史、③地図、④つりとラフティング、⑤民宿
ベレズ	小冊子	ベレズ地域概要紹介
	折り込みチラシ	①つり、②ラフティング及びボート、③エコファーム
	小型のチラシ	①お土産品、②伝統的舞踊

これらのパンフレットは、両アンブレラ組織の事務所で入手可能なほか、ベレズ地域に関するパンフレットは、エコ・ベレズのウェブサイトダウンロード可能となっている。したがって、本指標は達成されたと判断できる。

4-2-4 成果4：エコツーリズムの主要分野（地方の農産品開発、民宿、歴史的・文化的遺産の保全と利用、スポーツ活動）への参画が可能な人材が育成される。

以下に述べるように、各指標の達成度は満足できるものであり、モデルプロジェクト実施団体関係者の能力強化が十分行われ、エコツーリズムに関するプロジェクトに参画可能な人材が育成されていると判断される。したがって、成果4は達成されていると判断する。

指標 4-1：研修プログラムへの参加が期待された人々の内の70%以上が研修に参加する。

既述のとおり、2009年6月までに、131回の各種研修（セミナー、ワークショップ、OJTを含む）がモデルプロジェクト実施関係者等を対象に実施された。そのうちの37回の研修等では、参加が期待される人々の人数が設定され、また実際の参加人数の記録されている。参加率が70%以下であったのは、47回中8回だけであり、19回は100%の出席率となっている。一部の研修では、想定人数以上の参加者があったときもある。平均すると、93.9%の出席率であり、参加率は非常に高い。したがって、この指標は十分達成されているといえる。詳細は、付属資料1．署名済み M/M の Annex 11 を参照のこと。

指標 4-2：研修プログラム参加者の70%以上が研修内容に満足する。

上記の131回の各種研修のうちの12回の研修では、研修時にアンケート調査を実施し、研修の満足度や学んだことを活用する意志があるかどうかを聞いている。12回中11回の研修で、十分な満足度があるとの結果が出ている。全体の研修回数に比較して、アンケート調査が実施されている回数が少ないものの、一般的傾向は把握できると思われる。したがって、指標 4-2

は達成されているものとする。詳細は、付属資料 1. 署名済み M/M の Annex 12 を参照のこと。

指標 4-3：研修プログラム参加者の 50%以上が参加者のビジネスや活動に知識を用いる。

上記のとおり 12 回の研修では、研修時にアンケート調査を実施し、学んだことを活用する意図があるかどうかを聞いている。12 回中 11 回の研修では、高い活用意図があるとの結果があった。全体の研修回数に比較して、アンケートを取っている研修の回数が少ないものの、一般的傾向は把握できると思われる。したがって、指標 4-3 は達成されているものと判断できる。詳細は、付属資料 1. 署名済み M/M の Annex 12 を参照のこと。

4-2-5 成果 5：エコツーリズムを中心とする地域振興モデルが、ガイドラインとして取りまとめられる。

以下に述べるように、この指標は 2009 年 9 月までに達成される見込みである。

指標 5：エコツーリズムを中心とする地域振興ガイドラインの完成

ガイドラインの目次案は既に作成されており、現在ガイドラインの作成を進めている最中である。ガイドラインの利用者として想定しているのは、エコツーリズムを中心とする地域振興に取り組んでいる、あるいはこれから取り組もうとしている自治体、NGO（コミュニティ団体）、住民である。ガイドラインは、大きく、①エコツーリズムを通じた地域振興の方策、②エコツーリズム振興の事例（プリバ地域及びベレズ地域のモデル事例）、③持続可能なエコツーリズム振興に向けた今後の課題と今後、である。

ガイドライン作成後、ガイドラインを普及させるためのセミナーを 2008 年 9 月までに開催する予定になっている。プリバとベレズの両地域あるいはサラエボでの開催を予定している。セミナーには、プリバとベレズの両地域の関係者、普及先として想定している地域の人々、関係省庁、ドナー機関の人々を招く予定にしている。

4-3 プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：対象地域において行政と住民のエコツーリズムを中心とした地域振興を進めるための人材育成・組織能力強化がなされる。

以下の指標の達成度を考慮すると、本プロジェクトに関連する人材並びに組織は着実に強化されていると考えられる。更なる能力強化の余地はあるものの、プロジェクト目標はプロジェクト期間内に達成される見込みであると判断できる。

指標 1：行政機関、アンブレラ組織、モデルプロジェクト実施団体間で、協働してエコツーリズムを中心とした地域振興に係る様々な事業に取り組む。

本プロジェクトにおける官民連携には、エンティティレベルの省庁から観光フェアへの参加・出展に対する支援、機材や施設整備面でのモデルプロジェクト等への支援があった。関係市役所

からは、アンブレラ組織の運営にかかわる費用に対する支援がある。また、モデルプロジェクト実施団体間の連携も進んでいる。例えば、つりやラフティングを観光商品として提供する団体が、顧客に対して民宿の紹介や予約を斡旋すること、あるいは、伝統的料理を昼食として提供するサービスも開始した団体と連携して、ラフティング客に昼食を提供すること、お土産品を他の団体でも販売してもらうなどがある。

官民双方の関係者間では、官民間での連携や民間団体間での連携、また、複数の行政地域（市レベル）での連携が有効かつ重要なことであるとの認識が高まっている。今後更に、具体的連携が広がることが期待される。

以上から判断して、「協働してエコツーリズムを中心とした地域振興に係る様々な事業に取り組む」が徐々に進展している段階であると評価できる。

指標 2：モデルプロジェクト実施団体（17 案件）の半数以上が、事業の持続的運営管理ができる能力を身につけている。

モデルプロジェクトとして計画されたのは、17 案件であるが、いくつかのプロジェクトについては、2 案件を合わせて 1 つの案件として位置づけているので、モデルプロジェクト数は計 14 件となる。JICA プロジェクトチームからの情報、モデルプロジェクト実施団体代表者等からの聞き取り及び質問票に対する回答から判断して、良好な運営管理能力を身に付け、高い持続性を有すると判断されるモデルプロジェクト数は、14 プロジェクト中、6 つのプロジェクトである。5 つのモデルプロジェクトについては、プロジェクトの残りの期間での更なる能力強化とその後のプロジェクト関係者の努力が継続すれば、事業を持続させる可能性が一定程度あると推測される。3 つのモデルプロジェクトについては、抜本的な改善策あるいは持続可能な事業形態を更に模索するか見切りを付ける必要があると判断され、現時点では事業の持続性に疑問が生じている。

個別のモデルプロジェクトについての判断を下表に示す。

(評価基準)

A：モデルプロジェクトを運営管理するに十分な能力を有し高い持続性がある。

B：一定の能力を有するものの、持続性を確保するためにプロジェクトに参画している人々の更なる能力強化と継続的努力が必要。

C：能力は十分でなく、プロジェクトの持続性を確保するためには、効果的対策を講じる必要がある。

	番号	モデルプロジェクト名	実施団体名	場所	評価
1	PLI-1	自然系観光商品開発・多様化	Pliva Sports Association (PSA)	Sipovo	A
2	PLI-2	ヤイツェ城址の保護・利用計画	Jajce Municipality (Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce)	Jajce	A
3	PLI-3	農家民宿商品開発	Country Lodging Association	Jajce,	A

4	PLI-4	アンブレラ組織を中心としたエコツーリズムによる地域振興推進	Eco-Pliva (with other associations)	Jajce, Jezero, Sipovo	B
5	PLI-5	イエゼロ地場産品開発	Jezero Municipality	Jezero	C
6	PLI-6	エコハウス委託販売事業再生	Eco-House	Jajce, Jezero, Sipovo	C
7	VEL-1 及び VEL-5	レクリエーション観光活動多様化	Fishing Association Nevesinje/ Blagaj, and Nevesinje Youth Initiative	Blagaj, Nevesinje, Podvelez	A
8	VEL-2	自然観察観光（野生動物／野鳥）	Nature Observation Group (Nevesinje, Blagaj, Podvelez)	Blagaj, Nevesinje, Podvelez	B
9	VEL-3	ブナ川水源鍾乳洞探勝	STK Blagaj City (STK: Sport Tourist Club)	Blagaj	A
10	VEL-4	国際伝統芸能フェスティバル	KPD Blagaj	Blagaj	B
11	VEL-6	歴史／エコ回廊	Blagaj Round Table	Blagaj	B
12	VEL-7	モデル観光（教育）牧場	Bioprodukt Podvelez 及び KRUG Blagaj	Podvelez	A
13	VEL-8 及び VEL-9	農家民宿商品開発（伝統料理）	Velez Country Lodging	Blagaj, Nevesinje	B
14	VEL-10 及び EL-11	ベレズ地場産品開発	Blagaj Round Table (with Nevesinje Beekeepers association)	Blagaj, Nevesinje	C

4-4 実施プロセスにおける特記事項

(1) ボスニア・ヘルツェゴビナ側関係行政機関の限定的関与

各種の研修、ワークショップ、セミナー、OJT やミーティング開催を通じて、相手国側行政機関関係者、アンブレラ組織関係者、モデルプロジェクト実施団体等のコミュニティ組織関係者への知識及び技術の移転が実施されてきた。

本プロジェクトの技術移転において通常の技術協力プロジェクトと異なる点は、同一の事務所内に机をもって、日常的に C/P と協力しつつプロジェクト活動を実施する体制でなかったことである。本プロジェクトの場合、主としてモデルプロジェクト実施団体向けの研修を通じた能力強化が主体であった。行政機関側は限られた陣容の職員しか有しないため、行政機関側からの C/P 配置が行われず、結果的に、関連の中央政府機関、エンティティ政府機関、市役所等の行政機関に対する技術移転関連活動は、技術委員会、JCC といった会議での報告・ミーティングが主体となり、技術移転は限定的なものとならざるを得なかった。

(2) ボスニア・ヘルツェゴビナ側のオーナーシップ

上記のとおり、関連行政機関は、JCC と技術委員会の会議への参加、市役所の場合は、これらの会議への参加に加えて、アンブレラ組織の総会や役員会への代表派遣といった形での参加があったが、プロジェクト・ダイレクターやプロジェクト・マネジャーの配置はなかった。

会議等の参加や、JICA 専門家からの報告、関係者からの報告取り付けを通じて、中央政府やエンティティ政府は、プロジェクト活動の状況について一定の認識を有しているが、今回の終了時評価での表敬やミーティングを通じて、プロジェクトの実施機関のひとつであり、プロジェクト実施の当事者であることの意識に欠けていることが鮮明になった。また、JICA の技術協力プロジェクトの特徴と制約を十分に理解しているとは思えなかった。

JICA 専門家チームというよりは、JICA 全体として、JICA の技術協力プロジェクトの特徴と制約を相手国側実施機関に十分理解してもらうような努力をすることが必要と考えられる。相手国のオーナーシップを高めるためには、C/P 配置についてプロジェクト実施直後にきちんと確認すること（当該国の政府機関の状況ではかなり困難なことは承知するが）、並びに、プロジェクト実施期間中は、プロジェクト現場を実際に視察してもらい、プロジェクト活動の公正かつ包括的な理解を促進させることが重要かと思われる。

第5章 評価結果

5-1 5項目ごとの評価

5-1-1 妥当性

本プロジェクトの妥当性は、中程度である。

ボスニア・ヘルツェゴビナの新しい開発戦略（2008-2013）は、作成中である。エンティティ政府レベルでは、最近、FBiH が観光開発戦略 2008-2018 を公表している。なお、両エンティティ政府の関連省庁は、観光開発関連プロジェクトに対する資金支援を行っており、本プロジェクトの複数のモデルプロジェクトが資金支援を受けている。これらの事実や状況を考えると、観光開発を通じた地域開発はより重要視されつつあるとみられる。したがって、本プロジェクトは、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府の開発政策におおむね合致しているといえる。

わが国のボスニア・ヘルツェゴビナに対する援助重点分野は、①市場経済化支援、②環境分野支援、③平和定着支援である。これらの重点分野のなかでは、地域経済振興、エコツーリズム振興、経済行政機関のキャパシティ・ビルディングが重要視されている。したがって、本プロジェクトは、わが国の援助政策と整合性がある。

本プロジェクトの対象地域（プリバ地域とベレズ地域）では、失業率が高いため、関係市役所は、観光開発を重点分野のひとつと考えている。プロジェクト対象地域には、エコツーリズム開発において豊富な資源がある、その開発ポテンシャルは高い。そのエコツーリズムのポテンシャルが適切に開発されれば、地域住民に雇用機会創出や追加の収入源となり得る。したがって、本プロジェクトは、対象地域や地域住民のニーズに合致しているといえる。

本プロジェクトの重要なアプローチのひとつは、行政機関と民間の住民組織が協働で活動する枠組み（組織）を設け、その組織が機能するようにすることである。官民双方のメンバーで構成されるアンブレラ組織がプリバ地域（エコ・プリバ）とベレズ地域（エコ・ベレズ）それぞれに設立された（実際には、エコ・プリバは、JICA の開発調査時につくられ、一時休眠化していたものの活性化が図られ、エコ・ベレズは新規の組織化から開始された）。アンブレラ組織の総会や役員会のメンバーは、プロジェクト対象地域の市役所の代表とモデルプロジェクト実施団体の代表等で構成されている。総会と役員会に加えて、2名の常勤職員から成る事務局がある。これらアンブレラ組織による協働体制は、プロジェクト対象地域の市役所間の協力促進や地域住民団体間の連携促進を図るうえで一定の機能を果たしている。ただし一方で、市役所側の人的状況あるいは財源状況によって、ネガティブな影響を被っており、この協働体制の枠組みを改善する余地があり、協働体制のリスク要因である。

5-1-2 有効性

本プロジェクトの有効性は、中程度である。

本プロジェクトにかかわった人材と組織の強化が着実に進められたといえる。官民双方とも、人的能力並びに組織能力の面で更に強化を図る余地があるものの、プロジェクト目標はおおむね満足できる水準に達したと判断できる。また、5つの成果は、地域振興に対する関係者の理解促進、官民協力体制の構築、組織・人材の育成、モデルを普及させるためのガイドラインの準備と、各ステップを段階的に達成することにより、プロジェクト目標が達成される構造となっており、ロジックとしてはおおむね無理のない形で設定がなされているといえる。

5-1-3 効率性

本プロジェクトの効率性は、中程度である。

ボスニア・ヘルツェゴビナ側並びに JICA 側は、プロジェクトに対する投入（人的投入、資金投入、機材・機具、アンブレラ組織の事務スペース等）で意義ある努力を傾注した。しかしながら、モデルプロジェクト実施に必要な投入に対して、JICA 側が提供できる資金が限られているため、モデルプロジェクトの円滑な実施においては、一定の制約があった。技術協力スキームの性質上、民間団体が実施するモデルプロジェクトに投入可能な資金額が限定的なものにならざるを得ないことは致し方ないことであった。そのため、プロジェクト関係者は、エンティティ政府の関連省庁、UNDP、在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館などの機関から資金的支援を得るための努力を行い、その結果として、複数のモデルプロジェクトに対する資金支援を得られ、モデルプロジェクト実施を進めることができていた。この点は、効率性を確保するうえでの貢献要因であったといえる。効率性を確保したもうひとつの要因（プロジェクト活動の円滑な進捗の確保に役立ったこと）は、プロジェクト対象地域の市役所間並びにモデルプロジェクト実施団体間の良好な協力や協働である。

本プロジェクトでは、ワークショップ、セミナー、OJT 等の研修が数多く実施され、行政機関、モデルプロジェクト実施団体を含む地域住民団体、地域住民の多くの人々がエコツーリズム振興に関する知識や技能を学ぶ機会が得られた。これも効率性を確保した要因のひとつである。

5-1-4 インパクト

本プロジェクトのインパクトは、低い。

上位目標達成の指標はプロジェクト終了後も協働体制が持続し、活動が行われることであるが、既述のとおり、協働でエコツーリズムを振興するための官民間の協力体制がまだまだ十分に構築されている状況ではなく、上位目標達成の見通しは困難である。他方、モデルプロジェクト以外にも資金支援を得たプロジェクトがあったり、独自に民宿経営を開始した事例があったりするなど、本プロジェクトの活動から派生した取り組みの実績がみられるようになっており、こういった動きがアンブレラ組織の運営・活動の成果としても位置づけられ、アンブレラ組織持続のための資金的支援が継続することにつながれば、上位目標達成により近づくことができるものと考えられる。

(1) 上位目標の達成見通し

上位目標：プロジェクトで形成された組織体制が、行政及び住民による合同で持続的に運営される。

指標：プロジェクト終了後もエコツーリズム地域振興のための行政・関連団体・住民による協働体制が継続的に機能し、実際の活動が行われる。

JICA 協力終了後も更にエコツーリズム振興を継続していくためには、アンブレラ組織が官民間の協働活動を継続させること並びにエコツーリズム振興における主導的役割を担うことが必要である。住民組織が期待するような支援をアンブレラ組織が提供するためには、アンブレラ組織の関係者の更なる能力強化が必要である。ただし、アンブレラ組織の

活動の中心は、事務局スタッフが担う組織体制になっており、事務局の運営においては、関係市役所の人的・資金的支援が不可欠な状況にあるため、特に資金的支援が継続するかどうかの面でリスクが存在する。具体的には、事務局スタッフの給料は、関係市役所からの資金支援に大きく依存しているのが現状であり、また、市役所によっては、その資金支援が滞っていたり、遅れていたりする。市役所からの資金支援については、本プロジェクトと市役所との間で合意文書を取り交わしているが、年度ごとの合意であり、年度が変われば再度合意を締結する必要がある。

別のリスクには、2008年後半に始まった世界的金融危機の影響がある。モデルプロジェクトの実施団体関係者の話では、2008年に比較して訪れる観光客の人数が2009年はかなり減少しているようである。主たる観光シーズンは夏期であり、中間評価時は、まだ夏期が始まったばかりであり、本格的な夏休みシーズンにどのくらい観光客が訪れるかまだ見通せないものの、観光客数の減少が顕著となれば、モデルプロジェクトを円滑に進めるうえで資金的にマイナス要因となり得るし（収入の減少）、ひいては、プロジェクト対象地域において更にエコツーリズムを振興するうえでもマイナスの影響を与えかねない。

(2) その他のインパクト

以下のポジティブなインパクトがみられた。

1) モデルプロジェクト以外にも資金支援を得たプロジェクトがある。

資金要請書作成に関する能力向上活動を実施した結果として、モデルプロジェクトがエンティティ政府、UNDP や在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館から資金支援を得られただけでなく、次のプロジェクトも資金支援を得ることができた。

① “Herzegovina” エコキャンプ開発および南東 “Herzegovina/ Herceg Blagaj” 観光振興 (UNDP 資金、承認済み)

② Motel Sunce の宿泊施設拡張 (UNDP 資金、承認済み)

2) 独自に民宿経営開始

プロジェクト関係者の話によると、独自に民宿経営を開始した家がある（プリバ地域）。これは、本プロジェクトで支援している民宿事業が順調に進展している状況を近隣の人々がみて発現したインパクトである。

3) 官民間の協働活動の必要性理解

本プロジェクトにかかわっている行政機関並びに住民団体の関係者は、エコツーリズムを通じた地域振興のためには、官民両セクター間の協働並びに市役所間の協力が必要であり、また有効でもあるとの認識をもつようになっている。わが国が、両エンティティの境界を挟んだ複数の市を含む地域をプロジェクト対象地域として選定し、官民間の協働活動体制を構築してきた目的のひとつには、異なる宗教・民族間の融和を図ろうとすることが含まれており、本プロジェクトは、この目的に沿った一定の効果を発現しているといえる。

5-1-5 持続性

(1) 政策面

既述のとおり、エコツーリズムを通じた地域開発は、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府（エ

ンティティ政府及び市役所レベルの行政を含む) によって更に重要視されつつあると判断される。したがって、開発政策の観点からは、本プロジェクトの成果の政策面での持続性はあると見通される。

(2) 制度・組織面

これも既に述べたように、エコツーリズム開発にかかわる官民セクター間の調整や協働を促進・振興する機関としてプリバ地域とベレズ地域にアンブレラ組織が設けられ、その組織内に、総会、役員会、事務局並びにプロモーション作業グループがある。官民間の協働・調整を継続性あるものにするためには、アンブレラ組織にかかわる人材の継続的能力強化が重要点のひとつである。もうひとつ重要な点は、アンブレラ組織の組織構造をより適切なものにするることである。プロジェクト関係者は、プロモーション作業グループのツアーオペレーション、統合的観光商品の販売、公報宣伝等の機能を強化するには、組織の種類をより適切なものに変える方がよく、アンブレラ組織とは切り離す案をもっている。すなわち、ツアーオペレーション等の活動は、利益追求型の民業であり、非営利団体として登録されているアンブレラ組織で活動するには不都合が生じかねないためである。この点については、関係者間で議論していく必要がある。

(3) 財務面

アンブレラ組織の事務局運営は、プリバ地域及びベレズ地域の関係市役所との合意に基づいて、市役所から資金支援を得つつ行われている(市役所側は、事務局職員の給料を負担している)。この資金協力合意は毎年締結する必要がある。これまで、プロジェクト実施関係者が頻繁に市役所側に合意した資金提供を定期的実施するようお願いするという努力を払ってようやく支援を得てきている。しかし現在、市役所の財政難の影響もあって、複数の市役所からの支援金が滞っているほか、ひとつの市役所(モスタル市)の場合は、市長が不在という一時的な特殊事情のために市役所自体の予算執行が停止されている影響を受けて、支援金が得られていない。本終了時評価時に関係市役所を訪問し、プロジェクト終了後の市役所側の資金支援の継続について話をしたが、市役所側は継続的支援を表明しつつも、財政状況が厳しい点も表明していることから、アンブレラ組織の財務面での持続性が確保されるかどうか見通しは明るくない。

モデルプロジェクトの財務面での持続性については、モデルプロジェクトの活動進捗状況や観光商品開発状況がプロジェクトによって異なるため、財務面での持続性も異なっている。徐々に多くの顧客を得るようになり、活動を継続するために必要な資金を得られているであろうと思われるモデルプロジェクトがある一方で、まだ十分な収入を得るには至っていないと思われるモデルプロジェクトもある。

(4) 技術面

本プロジェクトで実施された各種の研修、ワークショップ、OJT等を通じて関係者の能力強化がおおむね良好に図られていると考えられる。既に述べたように、アンブレラ組織が良好な調整・協働機能を果たすためには、アンブレラ組織関係者の更なる能力強化が重要である。

モデルプロジェクト実施団体の関係者の知識や技能については、いくつかのモデルプロジェクト実施団体には事業を持続的に継続するのに必要な知識・技能が十分身に付いていると思われる一方で、まだ持続的に事業を実施する能力が十分ではない団体もある。

5-2 結 論

各種研修、ワークショップ、ミーティング、OJT等の能力開発を通じて、またモデルプロジェクトの計画や実施を通じて、そして官民協働の下で、各種のプロジェクト活動がプリバ地域及びベレズ地域で実施されてきており、「妥当性」「有効性」「効率性」は中程度であるといえる。他方、「インパクト」「持続性」は低い。プロジェクト目標はプロジェクト期間内に達成される見込みであると判断されるが、特に持続性が低いとする評価基準はアンブレラ組織の特に人材面並びに財務面での強化が必要であるとの認識に基づいており、この点はプロジェクト期間を延長することによって改善される性格のものではないため、プロジェクトは予定どおりの時期に終了させるものとする。

第6章 提言と教訓

6-1 提言

6-1-1 プロジェクトの残りの期間における、モデルプロジェクト実施団体、アンブレラ組織及び JICA 専門家に対する提言

(1) 更なる能力強化

本プロジェクトのプロジェクト期間は 2009 年の末までであるが、現地における JICA 専門家による技術協力活動は同年の 9 月末までに終了する予定である。モデルプロジェクトのなかには、持続性を確保するために早急に更なる能力開発や対策を講じる必要のあるものがある。したがって、そのようなモデルプロジェクト実施団体、プリバ地域及びベレズ地域のアンブレラ組織並びに JICA 専門家は、できる限りの改善策を講じる必要がある。

特に以下の 2 つのモデルプロジェクトについて改善策を確実に講じる必要がある。

	No.	モデルプロジェクト名	実施団体名	概況
1	PLI-5	イエゼロ地場 産品開発	Jezero 市役所	ハーブ産品を生産する目的で、必要機材はほぼ整備されているものの、まだ生産が始まっていない。早急に生産体制を確立する必要がある。また、暫定的に Jezero 市役所が実施団体となっているものの、実際には、事業実施団体を別途作る必要がある。
2	PLI-6	エコハウス委 託販売事業再 生	Eco-House (エコ・プリバ傘 下の株式会社)	一時、運営されていたものの、各種の問題が生じたため、現在、委託販売事業は中止されている。抱えている各種問題をどのように解決するか、関係者間で十分な協議を行い、早急に対処策を講じる必要がある。

(2) アンブレラ組織

アンブレラ組織の能力を向上させるため、そして組織改善を図るため、アンブレラ組織の関係者は、官民セクター間のより良い調整や協働を継続するため、またエコツーリズムプロモーション活動を強化するためにどうすべきか、議論する必要がある。

(3) アンブレラ組織のウェブサイト

両アンブレラ組織のウェブサイトをより魅力的なものにするため、ウェブサイトの内容改善や更新を行う必要がある。

6-1-2 本プロジェクト終了後における関係行政機関に対する提言

(1) 行政機関のアンブレラ組織に対する継続支援について

アンブレラ組織の特に、財務面並びに人的な持続性を確保するためには、関係市役所並びにエンティティ政府の関係省庁はアンブレラ組織に対する資金的、物理的、人的支援を提供すべきである。

6-2 教訓

- (1) 相手国側関係者がオーナーシップをもってプロジェクトに参画することが、本プロジェクトのような技術協力プロジェクト実施における基本であり、高い主体性やコミットメントがあれば、より高い成果が得られたであろう。
- (2) 複雑な行政組織を有する国の場合、それぞれの関連行政機関が果たすべき役割をプロジェクト開始前に決めておき、プロジェクト実施において着実にその役割を遂行することが必要である。
- (3) PDM については、プロジェクト実施段階、活動内容に応じて必要な修正を施すことが必要であるとともに、日本側及び相手国側双方が PDM の内容を共有し理解しておく必要がある。

6-3 平和構築の視点からの考察

ボスニア・ヘルツェゴビナでは、1995年に締結された Dayton 和平合意の内容が憲法の骨格を成しており、主要3民族の同等の権利とそれを統治形態上も保障するエンティティ(ムスリム人、クロアチア人を中心とした FBiH、セルビア人を中心とした RS)に分かれ、広範な自治権を有している。この形は、紛争終結後14年が経過した今も残されており³、国レベルでの実質的な統一国家の形成は、容易ではない状況にある。事実、観光振興に関する計画も、両エンティティ独自に策定し、策定過程で共同歩調を取る動きは今回の調査を通じても、確認されなかった⁴。

本プロジェクトは、そうした全体状況のなかにあつて、エコツーリズムというツールを通じた地域振興という仕掛けを用い、両方のエンティティにまたがる地域を対象に行われてきた。今回の調査ミッションの面会のなかで、北部プリバ地区のアンブレラ組織関係者が口を揃えて言っていたことで、「このような機会を提供している支援は、ほかには例がない」と言っていたことは、おおむね事実を反映していると考えられる。

現行の憲法に基づいた国家運営がなされる以上、国レベルでの統一国家形成、という意味合いの「平和構築」に果たせる本プロジェクトの役割は、極めて限定的といわざるを得ないであろう。しかしながら、本調査を通じ、本技術協力プロジェクト開始に先立って行われた開発調査に着手した時点では同じ会議にすら出ようとしなかった異なる民族に属する人々が(関係者談)、少なくともモデル事業の実施主体レベルにおいて、普通に共同作業に取り組んでいることが確認できた。このことは、少なくとも、現場のミクロのレベルでは一定程度の民族融和に資する支援を展開できたことを物語っている。

今回の調査のなかでは、この共同作業の活動頻度の変遷、といったインパクトに迫るための調査は TOR 外であり、また、そのようなインパクトを測るための手法も確立されていないものの、開発調査で描いたマスタープランの各種計画を目に見える形で実践していった本技術協力プロジェクトの実施プロセスのなかで、民族の壁、ひいてはエンティティの境界線を越えた活動を促進したことだけは、定性的な評価にとどまるものの、事実と見なすことができると考える。

³ 本和平合意の履行状況を監視する目的で、当初1~2年の想定で立ち上げられた民政部門の機構(OHR)と軍事部門のプレゼンス(EUFOR)も、当初予定を大幅に超え、いまだに残されている。

⁴ 片方のエンティティが、もう一方のエンティティを対象とした財政支出を行う条件として、双方がちょうど同程度の予算措置を行う必要がある、という指摘もヒアリングのなかで聴取された。

6-4 団長所感

6-4-1 終了時評価結果

本技術協力プロジェクトは、2003年から2005年の間に紛争後の地域開発促進を目的として実施された「エコツーリズムと持続可能な地域づくりのための開発計画調査」により提言された短期的アクションプランを含むマスタープランを実現するために必要とされる官民双方の組織能力の強化及び人材育成のためのキャパシティ・ディベロップメントを目的として実施された。あわせて、2つのエンティティ（FBiH、RS）の協働によるエコツーリズムを通じた民族融和とプロジェクト対象エリアでの活動成果を他地域にも展開することをめざしている。

終了時評価の詳細は、評価レポートに記載しているが、評価結果として、プロジェクト終了までに残された課題があるものの当初のプロジェクト目標を達成する見通しであることを確認した。特に先行プロジェクトである開発調査による成果を確実に実施していくため、技術協力プロジェクトベースでわが国が継続的に支援を行ったことの妥当性と意義は十分に認められる

6-4-2 今後の課題

(1) 政府機関の積極的な関与

プロジェクトの成果を持続的に継続させるうえで、行政レベルの組織能力向上については更なる強化が必要である。地域振興の観点からは民間ベースによるエコツーリズムを通じた観光振興だけでなく行政レベルによる政策的な支援が不可欠である。中央政府、両エンティティ政府、地方自治体という複雑な行政システムではあるものの、観光振興を推進するためには行政機関による積極的なイニシアティブと関与が引き続き求められる。特に官民及び両エンティティ政府をつなぐ目的でプリバ及びベレズ地域に設立されたアンブレラ組織を維持・強化するためには、地方自治体による継続的な財政的支援や人的サポートが必須となる。

(2) モデルプロジェクトの他地域への展開

プリバ地域とベレズ地域の合計 17カ所で実施されたモデルプロジェクトに関しては、複数のモデルプロジェクトにおいて活動が停滞しているため協力期間の終了時まで自立的な活動ができるように支援する必要がある。一方、モデルプロジェクトを他地域に展開していくためには成功事例だけでなく、円滑に進捗していない事例に関しても背景・要因を整理したうえで「エコツーリズムを通じた地域振興モデルのガイドライン」を作成することが必要である。

(3) 継続的な人材育成

モデル事業を実施する際に研修やセミナーを通じてエコツーリズムの実施母体となる地元の住民組織や NGO などの人材育成、実施能力強化を図ってきたが、必ずしも十分な能力を有しているとはいえないことから、プロジェクト終了後もアンブレラ組織が主体的に地域の人材育成・能力強化に向けた取り組みを継続していくことが持続性の観点からも重要となる。

6-4-3 民族間の融和の促進

本プロジェクトにおいては、エコツーリズム振興のためのキャパシティ・ディベロップメントという直接的な目標とともに、エコツーリズムの振興を通じて内戦終了後の民族融和を図ることを間接的な目的として実施してきた。民族融和に関しては明確な指標の下で評価を行うことは難しいが、2つのエンティティをまたぐ地域で実施されたモデルプロジェクトを通じてエコツーリズムの振興という共通の目的の下で民族間の連携関係が構築され、地域レベルにおいては着実に民族間の融和が図られてきているものとみられる。例えば、対象地域のモデルプロジェクト関係者による研修の実施や観光客受け入れ促進のための情報交換を行うなど双方が利益を享受できるよう連携するなど、エコツーリズムが民族間をつなぐ役割を果たしてきているといえる。

さらに、政府レベルでの一体的な実施も着実に進展しているような様子が見えてくる。プロジェクト開始時には両エンティティ政府関係者が一同に集まることは困難であったが、今回の終了時評価においてはRS側からもサラエボで開催された協議、及びM/Mの合同署名式に参加するなど、政府レベルにおいても一定の進展がみられたことは大きな意義があると思われる。

6-4-4 観光分野における今後の方向性

ボスニア・ヘルツェゴビナは観光資源としてポテンシャルの高い豊かな自然資源と歴史的・文化的な観光資源に恵まれており、国内観光客はもとより世界遺産を含めた観光資源を目的に海外からの観光客も増加しており、観光収入による地域経済振興に与える影響は大きいことから、今後も観光産業を優先分野のひとつとして経済発展をめざす方向性は継続されるものと思われる。

したがって、同国の観光産業の重要性と技術協力プロジェクトの成果を更に発展させるうえでも、観光分野において引き続き協力を行っていくことの意義は大きいと考えられる。

今回は終了時評価に主眼を置いたため、具体的な次の協力分野について議論はできなかったが、モスタルとその周辺地域の海岸線などの主要観光地を含めた国際観光コリドー形成のポテンシャルは高いものがあると想定されることから、2009年度の要望調査に向けてプロジェクトの具体的な形成を進めることを検討したい。

付 属 資 料

1. 署名済み M/M
2. PDM
3. 評価グリッド・結果概要表
4. モデルプロジェクト実施団体に対する質問票回答集計（英語）
5. 関係機関の合同調整委員会（JCC）及び技術委員会への出席状況
6. 日程表

MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE TERMINAL EVALUATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
BOSNIA AND HERZEGOVINA
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR SUSTAINABLE REGIONAL DEVELOPMENT
THROUGH ECO-TOURISM
IN
BOSNIA AND HERZEGOVINA

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshio HIRAI, visited Bosnia and Herzegovina from June 19 to July 9, 2009 for the purpose of conducting the terminal evaluation for the Japanese Technical Cooperation on the Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism in Bosnia and Herzegovina (hereinafter referred to as "the Project").

After the review and the analysis on the activities and achievements of the Project, the Team prepared the Terminal Evaluation Report (hereinafter referred to as "the Report").

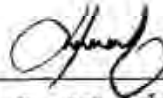
The Team had a series of discussions with the authorities of Bosnia and Herzegovina concerned with regard to the results of achievement. As a result of discussions, both sides mutually agreed to submit the document attached hereto to their respective Governments.

Sarajevo, July 8, 2009





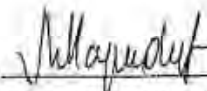
Mr. Toshio HIRAI,
Team Leader
Japanese Terminal Evaluation Team
Japan International Cooperation
Agency



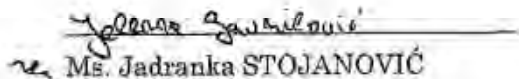
Mr. Reuf HADŽIBEGIĆ
Assistant Minister
Ministry of Foreign Trade and
Economic Relations
Bosnia and Herzegovina



Mr. Nedeljko BABIĆ
Assistant Minister
Ministry of Environment and Tourism
Federation of Bosnia and Herzegovina



Ms. Milena MARKOVIĆ
Assistant Minister
Ministry of Physical Planning Civil
Engineering and Ecology
Republic of Srpska



Ms. Jadranka STOJANOVIĆ
Assistant Minister
Ministry of Trade and Tourism
Republic of Srpska

Witnessed by



Mr. Šefik FABŽAN
Minister Counsellor
Head of Department for Multilateral
Economic Relations and
Reconstruction
Ministry of Foreign Affairs
Bosnia and Herzegovina

ATTACHED DOCUMENT

REPORT OF THE TERMINAL EVALUATION
ON
THE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR SUSTAINABLE REGIONAL DEVELOPMENT
THROUGH ECO-TOURISM
IN
BOSNIA AND HERZEGOVINA

July 8, 2009

JOINT EVALUATION TEAM



Table of Contents

1. Outline of the Project

- 1-1. Background and the Purpose of the Evaluation Study
- 1-2. Member of the Joint Evaluation Team
- 1-3. Schedule of the Japanese Evaluation Team
- 1-4. Summary of the Project
- 1-5. Methodology of Evaluation

2. Achievements of the Project

- 2-1. Inputs to the Project
- 2-2. Outputs of the Project
- 2-3. Achievement of the Project Purpose

3. Evaluation by Five Criteria

- 3-1. Relevance
- 3-2. Effectiveness
- 3-3. Efficiency
- 3-4. Impact
- 3-5. Sustainability

4. Conclusions and Recommendation

- 4-1. Conclusion
- 4-2. Recommendations
- 4-3. Lessons Learned

[ANNEX]

- ANNEX 1 Schedule of the Terminal Evaluation
- ANNEX 2 Project Design Matrix (PDM)
- ANNEX 3 Dispatch of JICA Experts
- ANNEX 4 Equipment Provided by JICA
- ANNEX 5 Persons Participated in the Trainings in Japan
- ANNEX 6 Local Cost Allocated by the Japanese Side
- ANNEX 7 List of Trainings, Workshops, and OJT etc. Conducted
- ANNEX 8 Discussions on the regional development held with participation by the umbrella associations and model project implementing organizations
- ANNEX 9 List of the projects that the umbrella associations provided support in preparing financial assistance requesting documents that to be submitted to donor agencies or entity level governments
- ANNEX 10 Activities Related to Promotion
- ANNEX 11 Data related with the Indicator 4-1 of the Output 4
- ANNEX 12 Data related with the Indicator 4-2 and 4-3 of the Output 4
- ANNEX 13 Evaluation Grid



1. Outline of the Project

1-1. Background and the Purpose of the Terminal Evaluation Study

1-1-1. Background of the Project

On receiving a request from the BiH government on regional economic development, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") conducted a "Study on Sustainable Development through Eco-Tourism" from 2003 to 2005. As part of this study, six pilot projects were implemented in the Pliva area and Velez area. Both of these areas encompassed parts of Federation of Bosnia and Herzegovina (hereinafter referred to as "FBiH") and the Republic of Srpska (hereinafter referred to as "RS"). Based on the lessons learned from these pilot projects, the JICA study team formulated a master plan regional development for the study areas including proposal of short-term action plans for sustainable eco-tourism. Afterwards, some of the action plans have been implemented with donor assistances. However, execution of the entire proposed action plans will prove to be a difficult task due to the lack of appropriate organizational framework available in both the public and private sectors, and also lack of human resources. Therefore, the government of BiH has requested a technical cooperation project to Japanese government in order to enhance the momentum of eco-tourism development, and to connect it to sustainable regional development.

JICA, BiH, and Entity Governments, signed to the Record of Discussion for the Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism in Bosnia and Herzegovina (hereinafter referred to as "the Project") in May 2006 and this project started from February 2007 for around three years.

1-1-2. Purpose of the Terminal Evaluation Study

The terminal evaluation study was conducted with the purpose of:

- (1) To verify the level of the achievement, performance and implementation process of the project activities based on the Record of Discussions (R/D) and the Project Design Matrix (PDM),
- (2) To evaluate the Project using the five evaluation criteria (relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability) and evaluation grid prepared for the Project,
- (3) To draw useful recommendations and lessons learned from the Project, and
- (4) To prepare the results of evaluation study as a minutes of meeting and to obtain common understanding on the evaluation.

1-2. Member of the Joint Evaluation Team

(1) Japanese members

	Field in Charge	Name	Position/ Organization
1)	Leader	Mr. Toshio HIRAI	Senior Assistant to the Director for Economic Infrastructure Department, Japan International Cooperation Agency (JICA)
2)	Evaluation Planning	Mr. Hiroyuki KAWAMOTO	Assistant Director, Peace Building and Poverty Reduction Division, Gender Equality and Peace Building Group/ Public Administration Division, Governance Group, Public Policy Department, JICA
3)	Project Evaluation	Mr. Isao DOJUN	International Project Department, Chuo Kaihatsu Corporation

(2) Bosnia and Herzegovina members

	Field in Charge	Name	Position/ Organization
1)	Leader	Ms. Brankica PANDUREVIC	Head of Department of Water Resources and Tourism, Sector for Natural Resources, Energy and Environmental Protection, Ministry of Foreign Trade and Economic Relations
2)	Member	Ms. Arna UGLJEN-KOPIC	Higher Expert Associate, Department for Tourism, Ministry of Foreign Trade and Economic Relations

1-3. Schedule of the Japanese Evaluation Team

The schedule of the evaluation is attached as Annex 1.

1-4. Summary of the Project

The framework of the Project is shown in the Project Design Matrix (PDM) revised version for the terminal evaluation, which was modified from the original PDM (See Annex 2).

There is no modification on the Project Purpose and the overall Goal, however, indicators for the Project Purpose are modified more appropriate ones. In regard to the Outputs, there were 7 kinds of Outputs in PDM original. Some similar outputs were integrated and important output was added. Then the Outputs become 5 kinds. The indicators for the Outputs are modified to more appropriate ones by considering the project activities and available information.

This terminal evaluation has been conducted based on the revised PDM.



(1) Overall Goal

The institutional Systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.

(2) Project Purpose

Human recourse is developed and institutions/ organizations are strengthened in order to promote regional development through eco-tourism both at administrative and private levels in the target areas.

(3) Outputs

- Output 1: The purpose of eco-tourism as a measure for regional development, and knowledge and skills on eco-tourism are understood by relevant personnel.
- Output 2: Cooperation system is established between administrative agencies and private sector to jointly promote eco-tourism.
- Output 3: Organization and personnel capable of formulating development strategies and supporting implementation of projects for eco-tourism promotion are developed.
- Output 4: Personnel capable of engaging in the main fields of eco-tourism, which include developments of local agricultural products, country lodging, preservation and utilization of historical/cultural heritage, sports activities are developed.
- Output 5: Regional development models through promotion of eco-tourism are compiled as a guideline.

1-5. Methodology of Evaluation

1-5-1 Evaluation Procedure (Joint evaluation)

The Project was evaluated by the Bosnia and Herzegovina and Japanese Evaluation Teams (hereinafter referred to as "the Joint Evaluation Team") in accordance with the R/D. The evaluation study included analysis of documents, field survey, and interview with stakeholders such as persons concerned of administrative agencies, persons concerned of the model project implementing organizations, and JICA experts, etc.

1-5-2 Evaluation Criteria (Five Evaluation Criteria)

The evaluation was conducted based on the following five Evaluation Criteria

(1) Relevance

Relevance refers to the validity of the Project Purpose and the Overall Goal in connection



with the development policy of the BiH Government as well as the needs of beneficiaries.

(2) Effectiveness

Effectiveness refers to the extent to which the expected benefits of the Project have been achieved as planned. It also examines whether these benefits have been brought about as a result of the Project.

(3) Efficiency

Efficiency refers to the productivity of the implementation process. It examines whether the inputs of the Project have been efficiently converted into outputs.

(4) Impact

Impact refers to direct and indirect, positive and negative impacts caused by implementation of the Project, including the extent to which the overall goal has been attained.

(5) Sustainability

Sustainability refers to the extent to which the Project can be further developed by the BiH Government and the extent to which the benefits generated by the Project can be sustained under national policies, technology, systems and financial state.



2. Achievements of the Project

2-1. Inputs to the Project

2-1-1 Inputs by Japanese side

(1) Dispatch of JICA Experts

JICA experts have been dispatched in the following fields: 1) Chief Advisor/ Tourism Development Planning, 2) Deputy Chief Advisor/ Institutional Analysis and Enhancement, 3) Tourism Promotion, 4) Marketing Strategy, 5) Financial Planning, 6) Cultural and Historical Heritage Preservation, 7) Natural Environment Preservation, 8) Human Resource Development, and 9) Implementation and Monitoring. For details see Annex 3.

(2) Provision of equipment

Office equipment such as photocopier machine, computers, software, printers, projectors, digital camera, and also equipment and tools for the model projects have been procured. Details see Annex 4.

(3) Training in Japan

Eight (8) persons who are involved in the project activities had opportunity to participate into the trainings related with environmental conservation and eco-tourism in Japan. For details see Annex 5.

(4) Local cost allocated by Japanese side

Local cost allocated by JICA for the implementation of the project activities is 123,439,000 Japanese Yen in total. For details see Annex 6.

2-1-2 Inputs by Bosnia and Herzegovina side

(1) Assignment of counterpart personnel

Due to the limited number of staff in the counterpart organizations, BiH side could not assign Project Directors and Project Managers for the Project.

(2) Provision of office spaces

Office spaces for the umbrella associations for Pliva area and Velez area are provided by the municipal governments of these areas.

(3) Budget allocation by Bosnia and Herzegovina side

Personnel expenses for the staff of the Secretary's Office and expenses for utilities of offices of the Eco Pliva and the Eco Velez were allocated by the BiH side. In addition, BiH side provided financial supports to the several model projects.



2-2. Outputs of the Project

2-2-1 Output 1: The purpose of eco-tourism as a measure for regional development, and knowledge and skills on eco-tourism are understood by relevant personnel.

Indicator 1: The number of personnel who understood knowledge and skills on regional development through eco-tourism promotion among administrative agencies, relevant organizations and residents.

Capacity building activities have been conducted 131 times in the forms of trainings, workshops, seminars, OJT (on-the-job training), and meetings under the Project. Total number of participants to those trainings is 1,214 as of end of June 2009. (Details see Annex 7) It seems that quite many persons among administrative agencies, relevant organizations and residents have had opportunity for acquiring knowledge and skills on the on regional development through eco-tourism promotion.

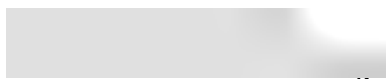
2-2-2 Output 2: Cooperation system is established between administrative agencies and private sector to jointly promote eco-tourism.

Indicator 2-1: Umbrella associations which are composed of administrative agencies and private sector are set up.

The umbrella association for Pliva area was organized at the time that JICA conducted a master plan study on eco-tourism development (from 2003 to 2005). The umbrella association was composed of the assembly and the board of director with members of public sector and private sector and secretary's office was not set up. In order to reactivate the umbrella association of Pliva, a secretary's office was added under the Project and financial support for operation of the secretary's office was asked to the municipal administrations concerned. Afterwards, a promotion working group was created under the secretary's office.

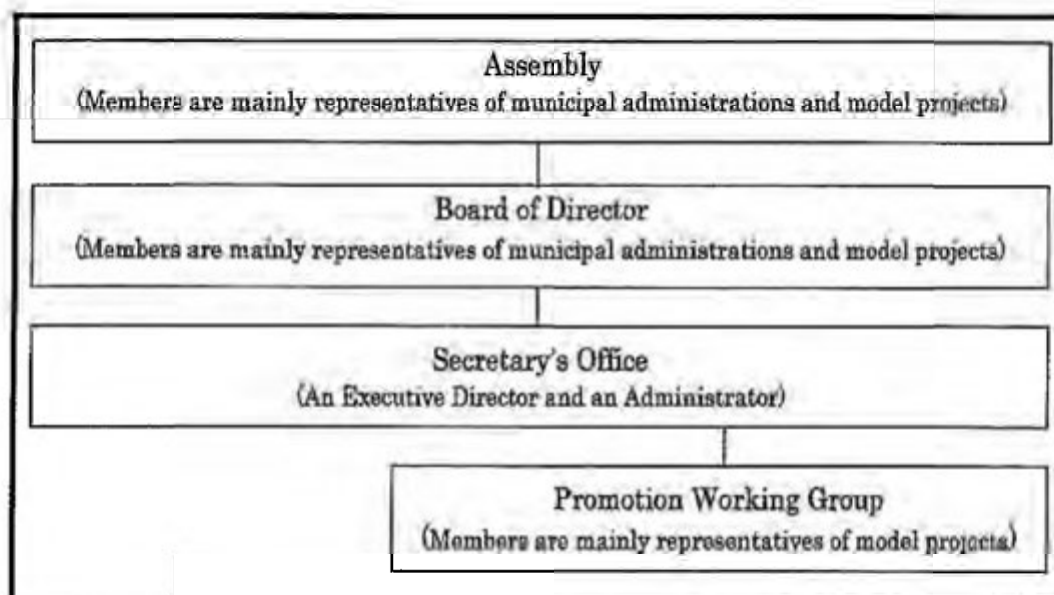
In the case of the Velez area, it was necessary to establish new umbrella association and it was established in May 2008. The structure of the umbrella association in Velez is same as umbrella association in Pliva.

The organization structure of umbrella association is as follow.



A handwritten signature in black ink, appearing to be 'A. Hayashi', is written in the bottom right corner of the page.

It is difficult to operate these umbrella associations appropriately without continuous financial supports by the municipal administrations concerned.



Indicator 2-2: Meetings of umbrella associations are held at least 4 times per year.

Board meeting of the Eco Pliva has been held from October 2007 and 15 times of meetings has been held as of end of June 2009. The frequency of meeting is more than 4 times per year.

In the case of the Eco Velez, it took time for organizing Eco Velez and the first board meeting was held May 2008. As of end of June 2009, 5 times of meetings has been held in total. The frequency of meeting is around 4 times per year.

Therefore, it seems that the frequency of the board meeting is appropriate in general.

Table Number of the board meetings held in each year

Umbrella Association	2007	2008	2009 (till end of June)	Frequency per year
Eco Pliva	6 (from October)	5	4	Approx. 8
Eco Velez	n.a.	3 (from May)	1	Approx. 4

Indicator 2-3: Private organizations involved in the model projects are satisfied with activities of umbrella associations.

According to the interview with the representatives of the model projects, they have opinions that there is room to still improve the activities by the umbrella associations and the operational capacity of the umbrella associations are not matured enough. Considering this facts, it may be judged that the satisfaction degree on the activities of the umbrella associations is not high enough. Therefore, it may be said that the degree of achievement of this indicator is not enough.

Indicator 2-4: Meetings of relevant administrative agencies such as central, entity and municipal administrations are held regularly.

The Joint Coordinating Committee meeting for the Project has been held 5 times as of end of June 2009. Participants are representatives of the ministries concerned of the state and both entities, representatives of the municipal administration concerned, the umbrella associations of Pliva and Velez areas, representatives of community based organizations, representatives of the Embassy of Japan and JICA, and JICA project team members. Main functions of the JCC are 1) to review regularly the progress and achievements of the Project, 2) to exchange views on major issues arising from or in connection with the Project, and 3) to approve the modification of activities depending on their necessity.

The Technical Committee meeting for the Project has been held 7 times as of end of June 2009. Participants are representatives of the ministries concerned of the entity, representatives of the municipal administration concerned, the umbrella associations of Pliva or Velez areas, representatives of community based organizations, and JICA project team members. Main function of the TC is to exchange views and take necessary measures for the effective operation of the model projects and other activities, with emphasis on collaboration and integration of these projects/activities.

In addition to the above mentioned meetings, JICA project team has organized several meetings from October 2007 for the working group which is composed of the ministries concerned of the tourism administration in state level and entity level. (October 17 and October 22 in 2007, January 28 and June 5 in 2008)

Main themes for the meetings were the followings.

- Formulation of a strategy plan (national tourism development strategies);
- Integration of tourism related laws and institutions, and introduction of EU standards;
- Securing the transparency in an enforcement system of regulations;
- Strengthening and supporting the tourism industry;



- Developing small-scale tourism related infrastructure;
- Collecting and utilizing of tourism tax.

2-2-3 Output 3: Organization and personnel capable of formulating development strategies and supporting implementation of projects for eco-tourism promotion are developed.

Indicator 3-1: Results of the discussions on the regional development by the umbrella associations and number of projects that the umbrella association provided support in preparing financial support requesting document for submitting to donor agencies and entity level governments

(1) Discussions on the regional development

Persons concerned with the Eco Pliva, Eco Velez and the model projects have discussed and coordinated on strategy of regional development and its action plans. (See Annex 8 for several cases of discussion) One of the results of discussions are support for the preparation of financial assistant requesting documents for the model projects and others. Some of requests have been approved and financial supports were carried out already.

(2) Requested financial supports and current situation

Preparation of the following 13 requests was supported by Eco Pliva, Eco Velez and persons concerned with the model projects. There requests were submitted to the Entities government, UNDP and Japanese government. Financial supports to 6 projects have been carried out already. Financial supports to 3 projects were approved but amount of support are not yet decided. Other 4 projects are waiting its approval. Currently, 2 more requests are under preparation. Details see Annex 9.

Considering above achievements, the umbrellas associations have certain capacity to carry out development of eco tourism promotion strategy and supports to each project, especially preparation of project documents for financial request under the cooperation with the model project implementing organizations.

Indicator 3-2: Results of integrated promotion activities for the eco-tourism promotion for the target areas by the umbrella associations

(1) Promotion by website

In order to promote eco tourism in the Pliva and Velez areas, websites of Eco Pliva and Eco Velez were created respectively. These website have contents on introduction of areas, information on accommodations, booking for accommodations, information on tourist campaigns, etc. Map and leaflets can be downloaded at the website of Eco Velez.

(2) Promotion activities

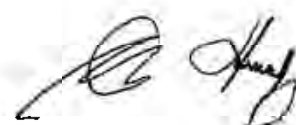
In addition to the promotion by web site and the promotion materials, various kinds of promotion activities have been conducted under the Project, such as preparation of action plans for eco tourism promotion in the Pliva and Velez areas, development of integrated eco tourism products connecting model projects, sales promotion campaign of the developed products, presentation to the tourist organizations concerned at the international fairs, sales of school excursion to primary and secondary schools , and market development by inviting journalist of neighboring countries to the Pliva and Velez areas presenting eco tourism of these areas. See Annex 10 for implemented promotion activities.

2-2-4 Output 4: Personnel capable of engaging in the main fields of eco-tourism, which include developments of local agricultural products, country lodging, preservation and utilization of historical/cultural heritage, sports activities are developed.

Indicator 4-1: Average participation rates are more than 70% to the persons expected in the training programs

The Training programs including workshops, seminars, OJT etc. have been conducted 131 times for the persons concerned of the governmental institutions, model projects and local residents etc. as of June 2009. Among these trainings, there are 37 trainings which have targeted number of participants and number of persons participated. Among 37 trainings, participation rates of 19 trainings recorded 100% and only 8 trainings recorded it rates less than 70%. Some other trainings recorded its rates more than 100%. Overall average of the participation rate is 93.9% and this is very high rate. Therefore, it is said that this indicator is achieved enough. See Annex 11 for detail.

Indicator 4-2: More than 70% of participants to the training programs are satisfied with the contents of training.



Among above mentioned trainings, questionnaire surveys at the course of the training (total 12 trainings) have been conducted about satisfaction on the training and willingness to utilize the matters learned at the training.

Sufficient satisfaction on the training has obtained at the 11 trainings among 12 trainings. Although the number of the surveyed trainings is not large compared with the total times of the trainings conducted, it seems that it is possible to grasp the general tendency of satisfaction on trainings. Therefore, it can be said that this indicator is achieved. See Annex 12 for detail.

Indicator 4-3: More than 50% of participants to the training programs use the knowledge for their businesses or activities.

As mentioned above, willingness to utilize the matters learned at the training was asked to the participants at the training. High willingness has been shown at 11 trainings among 12 trainings. Therefore, it can be said that this indicator is achieved. See Annex 12 for detail.

2-2-5 Output 5: Regional development models through promotion of eco-tourism are complied as a guideline.

Indicator 5: Guideline for regional development through promotion of eco-tourism

Based on the drafted contents of the guideline for regional development through promotion of eco-tourism, preparation of the guideline is underway. The target users of the guideline are mainly municipal administrations, NGOs, residents who are involved in the regional development through eco tourism promotion and who are going to take part in the eco tourism promotion from now. The guideline composed of chapters on 1) Measures for Regional Development through Eco Tourism, 2) Model Projects in BiH, and 3) Recommendation and Further Issues.

After the completion of the guideline making, seminar for presenting and disseminating the guideline will be held by the end of September this year in Pliva and Velez areas or in Sarajevo. Participants to the seminar will be the persons concerned to the Project in the Pliva and Velez areas, residents who are living in the dissemination targeted areas, administrative agencies concerned, and donor agencies. This indicator will be achieved by the end of September 2009.



2-3. Achievement of the Project Purpose

Project Purpose: Human recourse is developed and institutions/ organizations are strengthened in order to promote regional development through eco-tourism both at administrative and private levels in the target areas.

Considering the degrees of achievement of the following indicators, it seems that the human resources are developed and organizations concerned with the Project are strengthened steady. Although there is room for further development and enhancement, it can be said that the Project Purpose is achieved at a satisfactory level in general.

Indicator 1: Administrative agencies, umbrella associations and model project implementation organizations are able to take various measures for eco-tourism promotion under their collaboration.

As for collaboration among the administrative agencies, umbrella associations, and the model project implementing organizations, ministries concerned have provided support for participating in the international fairs and support for the several projects in term of procurement of equipment and facilities construction. The municipal administrations in the projects areas have provided support for operation of the umbrella associations.

Collaboration among the model project implementing agencies is also progressing. For example, 1) the fishing associations introduce the country lodgings for their clients and make booking, 2) the association related with rafting introduces other organization that provides lunch (traditional and homemade foods), and 3) selling the souvenirs which are produced by the other model project implementing organization.

The persons concerned with the Project in the administrative agencies and the model projects implementing agencies have raised recognition that collaboration is effective and necessary between public and private organizations, between the model project implementing agencies, and regional collaboration/ linkage (across the municipal areas). It is expected that this kinds of collaboration or collaborative activities will be increased in future.

Therefore, it can be said that the practices regional development through eco-tourism promotion under collaboration are progressing favorably.

Indicator 2: More than half of the model project implementation organizations (17) have acquired capacity to operate and manage model projects in sustainable way.



Seventeen (17) projects were planned as model project. Afterwards, several model projects were combined as one project and there are 14 model projects in total. Considering the information obtained from the JICA project team, results of interviews and questionnaire to the persons involved in the model projects, and field visits, 6 model projects out of 14 model projects have persons who acquired good capacity to operate and manage their model project with higher sustainability. 5 model projects are judged that there is certain capacity but further capacity development and continuous efforts of the persons involved in the project is necessary for ensuring sustainability. 3 model projects are judged that there is insufficient capacity and there is necessity to take effective remedy to secure sustainability of project or give it up.

The following table shows the evaluation results on the model projects.

- A: There is good capacity to operate and manage the model project with higher sustainability
- B: There is certain capacity but further capacity development and continuous efforts of the persons involved in the project is necessary for ensuring sustainability
- C: Insufficient capacity and there is necessity to take effective remedy to secure sustainability of project

	Code No.	Name of model project	Implementing organization	Location	Evaluation
1	PLI-1	Diversification of nature tourism products (water sports, mountain-related sports and nature observation)	Pliva Sports Association (PSA)	Sipovo	A
2	PLI-2	Protection and practical use of the Jajce fortress	Jajce Municipality (Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce)	Jajce	A
3	PLI-3	Country lodging and related tourism product development	Country Lodging Association (PCL)	Jajce, Jezero, Sipovo	A
4	PLI-4	Pliva Trail Master Plan and Action Program	Eco-Pliva (with other associations)	Jajce, Jezero, Sipovo	B
5	PLI-5	Development of local specialty products in Jezero	Jezero Municipality	Jezero	C
6	PLI-6	Eco-house management of consignment sale	Eco-House	Jajce, Jezero, Sipovo	C
7	VEL-1 and VEL-5	Diversification of nature tourism products (water sports, mountain-related sports)	Fishing Association Nevesinje/ Blagaj, and Nevesinje Youth Initiative	Blagaj, Nevesinje, Podvelez	A
8	VEL-2	Nature observation tourism (wild fauna and flora)	Nature Observation Group (Nevesinje, Blagaj, Podvelez)	Blagaj, Nevesinje, Podvelez	B

9	VEL-3	Exploring tour into the Buna river source grotto	STK Blagaj City (STK: Sport Tourist Club)	Blagaj	A
10	VEL-4	International folklore festival	KPD Blagaj	Blagaj	B
11	VEL-6	Eco and historical trail	Blagaj Round Table	Blagaj	B
12	VEL-7	Tourist farm	Bioprodukt Podvelez and KRUG Blagaj	Podvelez	A
13	VEL-8 and VEL-9	Country lodging and related tourism product development (promotion of local food)	Velez Country Lodging	Blagaj, Nevesinje	B
14	VEL-10 and VEL-11	Development of local specialty products (honey and pomegranate)	Blagaj Round Table (with Nevesinje Beekeepers association)	Blagaj, Nevesinje	C

3. Evaluation by Five Criteria

3-1. Relevance

Relevance of the Project is at a satisfactory level.

New development strategy of Bosnia and Herzegovina for the period 2008-2013 is under preparation. At entity level, the Tourism Development Strategy in the Federation of Bosnia and Herzegovina for the period from 2008 – 2018 is officially published recently. Ministries of entity level have been providing financial supports to tourism development related projects and some of the model projects were received financial support of them. Considering these facts and circumstances, it seems that regional development through tourism development is regarded as important furthermore. Therefore, the aim of this project is generally relevant to the development policies of BiH.

The priority issues if Japan's assistance policy and JICA's cooperation plan for BiH are 1) support for market economy, 2) support for environmental sector, and 3) support for peace stabilization. Within these priority issues, regional economic development, eco-tourism development, capacity development of economy related administrative institutions are regarded as important. Therefore, this project is well relevant with the Japan's assistance policy.

The municipal administrations in the target areas consider the tourism development as one of the important sectors because the unemployment rate is high in the project target areas (Pliva and Velez areas). There are abundant resources and potential for developing eco-tourism in these areas. When the potential of eco tourism is developed appropriately, it will provide employment opportunity and additional income sources for the local communities. Therefore this project is relevant with the needs of the target areas and communities.

One of the important approaches of the Project is to establish a framework for collaborative activities among administrative agencies and private community organizations and make it functional one. Umbrella associations are established in both target areas respectively, which are Eco Pliva and Eco Velez. Members of the assembly and the board of director are representatives of the municipal administrations of the target areas and representatives of the model projects, etc. In addition these, secretary offices with 2 staffs were set up respectively. This collaborative framework has been functioned to some extent in facilitating cooperation among municipal administrations in the target areas and also among local communities in different locations. On the other hand, this framework has room to be affected negatively depending on the human and financial situations of administrative agencies. This is a risk factor of this framework.

3-2. Effectiveness

Effectiveness of the Project is at a satisfactory level.

As mentioned in the previous chapter, it seems that the human resources are developed and organizations concerned with the Project are strengthened steady. Although there is room for further development and enhancement in terms of human resources and organizations concerned (both governmental sector and private sector), it can be said that the Project Purpose is achieved at a satisfactory level in general.

3-3. Efficiency

Efficiency of the Project is at a satisfactory level.

Both BiH and Japanese sides have made significant efforts in providing inputs to the Project in terms of human resources, financial resources, equipments and materials, and the office spaces for the umbrellas associations. However, it seems that there was certain limitation for smooth implementation of the model projects due to the JICA's limited budget for inputs for the model projects. This is due to the characteristics of the JICA's technical cooperation and it is difficult to increase these kinds of budget. Therefore, the persons concerned with the Project have made a lot of efforts to seek other financial resources from other organizations such as entity ministries concerned, UNDP, and Embassy of Japan in BiH, etc.

One of the facilitating factors for efficiency (smooth implementation of the project activities) is good cooperation and collaboration among the municipal administrations in the project target areas and also among the model project implementing organizations. Quite many workshops, seminar, and OJT etc. has been held under the Project and it seems that many persons of the administrative agencies, local community organizations including the model project implementing organizations, and local residents got opportunity to have knowledge and skills on eco tourism promotion. This is also a facilitating factor.

3-4. Impact

Several positive impacts were observed and it is still difficult to prospect whether the Overall Goal will be achieved in future because of some possible risks.

3-4-1 Prospect of achieving the Overall Goal

Overall Goal: The institutional Systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.

Indicator: The cooperation system among administrative agencies, relevant organizations and residents continues to function and some activities are actually carried out.

For further promotion of eco tourism after the completion of JICA cooperation, it is necessary for the umbrellas associations to continue collaborative activities among administrative agencies and private community organizations and also to take leading roles in promoting eco tourism. Further capacity enhancement of the persons concerned with the umbrella associations is necessary in order to provide supports which the community organizations expect. However, there are risks such as human and financial influences from the administrative agencies.

Another risk is influence by the global financial crisis which started end of 2008. According the information obtained from the persons concerned with the model projects, number of tourists is reducing this year compared with the number of tourists last year. Reduce of number of tourists will influence on the smooth operation of activities of the model projects financially and this might affect eco tourism promotion in the project target areas.

3-4-2 Other Impacts

Following positive impacts of the Project are observed.

(1) As a results of capacity development on the financial support requesting proposal, several financial supports have been obtained from the entity-level ministries, UNDP and Embassy of Japan not for the model projects but also other projects such as 1) Development of and ecological camp "Herzegovina" and promotion of tourism in South East Herzegovina/ Herceg Blagaj, and 2) Expansion of accommodation capacity of motel Sunce.

(2) It is reported that there are new country lodgings that started independently. This is an impact of good progress of the country lodgings of the Project.

(3) The persons concerned with the Project in the administrative agencies and community organizations recognized well about necessity and usefulness on collaborative activities among public and private sectors and also inter-municipal cooperation in order to promote regional development through eco-tourism.



3-5. Sustainability

3-5-1 Policy aspect

As mentioned already, it seems that regional development through tourism development is regarded as important furthermore by the government of BiH including entity level and also municipal level. Therefore, it seems that there is certain good prospect that the results of this project sustained from the view point of development policy.

3-5-2 Institutional and Organizational aspect

As mentioned already, as an organization to promoting collaborative activities and coordination among public and private sector related with eco-tourism development, both umbrella associations in the Pliva and Velez areas have the assembly, the board of director, the secretary's office and the promotion working group within the organization. Continuous enhancement of capacity of persons involved in the umbrellas associations is one of the important aspects for continuing good coordination for collaborative activities in sustainable way. Another aspect is to seek more appropriate structure of the umbrella association. There is an idea among the persons concerned with the Project that it is better to separate the promotion working group having appropriate organizational status in order to strengthening its functions such as tour operation, promotion of integrated tourist products, and advertisement etc. Therefore, it is necessary to discuss this issue among persons concerned.

3-5-3 Financial aspect

As for financial sustainability of the umbrella associations, there are agreements on support to the umbrellas association by the municipal administration in the Pliva and Velez areas. These agreements are necessary to be concluded every year. Financial supports by some municipal administration are delaying due to effects of their financial situations and other very specific reason (due to temporal vacancy of mayor). Although, the municipal administrations expressed continuous support to the umbrella associations, it seems that the financial sustainability of the umbrella association is not secured enough.

As for financial sustainability of the model projects, there are differences in the progress of the project activities and development of tourism products. Therefore, some organizations that implementing the model project might have enough financial resource to continue their activities and other organizations might not.

Two handwritten signatures in black ink, one on the left and one on the right, appearing to be initials or names.

3-5-4 Technical aspect

As a result of the trainings, workshops and OJT, capacity of the persons concerned have been enhanced well in general. As mentioned, continuous enhancement of capacity of persons involved in the umbrellas associations is one of the important aspects for continuing good coordination for collaborative activities in sustainable way.

As for knowledge and skills of the persons involved in the model projects, some organizations have good knowledge and skills for implementing the model projects in sustainable way, but also there are some organizations that have not yet sufficient capacity to implement the model projects in sustainable way.

4. Conclusions and Recommendation

4-1. Conclusion

In summary, various kinds of the project activities including capacity development through trainings, workshops, meetings and OJT, and also through planning and implementation of the model projects have been carried out in the various places in the Pliva and Velez areas in collaboration among public sector and private sector, and it can be said that the Project Purpose is achieved at a satisfactory level in general. Persons involved in the Project have further recognized the necessity and effectiveness of the collaboration not only among public and private sector but also inter-municipal or regional cooperation. Seventeen (17) model projects have been carried out under the Project and it seems that around half of those projects can be carried out in sustainable way. As for the umbrella associations, further enhancement especially in terms of human capacity and financial sustainability is necessary.

4-2. Recommendations

4-2-1 Recommendation to the model projects implementing organizations, the umbrella associations in the Pliva and Velez areas (Eco Pliva and Eco Velez) and JICA experts in the remaining period of the Project

(1) Further capacity development

Although, the project period is terminated at the end of this year, the major technical cooperation activities by the JICA experts is going to be terminated practically by the end of September this year. There are several model projects that further capacity development and effective remedies are necessary in order to secure sustainability of them. Therefore, it is recommended the model projects implementing organizations concerned, the umbrella associations in the Pliva and Velez areas (Eco Pliva and Eco Velez) and JICA experts to take necessary measures for improvement as much as possible.



(2) Umbrella associations

In order to strengthen capacity of the umbrellas associations and make necessary organizational improvement, the persons concerned with the umbrella associations should discuss from the view points of continuation of good coordination for collaborative activities among the public and private sectors and enhancement of promotion activities.

(3) Website of the umbrella associations

It is necessary to improve and update the contents of websites of both umbrella associations for more attractive ones.

4-2-2 Recommendations to the governmental administrations concerned with the Project after the termination of the Project

Continuation of support of the administrative agencies to the umbrella associations

In order to ensure financial and human sustainability of the umbrella associations, the administrative agencies especially, the municipal administration concerned and also the ministries concerned of the entity governments should provide necessary financial, physical and human supports to the umbrella associations.

4-3. Lessons Learned

(1) Involvement of counterpart organizations concerned with a project is a basis for implementing this kind of JICA's technical cooperation. Higher results of the project would be obtained when the counterpart organizations concerned had involved with their higher initiative and commitment.

(2) When there is a complicated governmental system like Bosnia and Herzegovina, it is necessary to be decided the roles of respective governmental organizations for a project before the start of the project based on the results of stakeholders analysis and their mandates. After the start of the project, it is necessary for the governmental organizations concerned to take their roles securely.

(3) As for Project Design Matrix (PDM), it is necessary to modify PDM in the course of project implementation in accordance with the project activities and also to share and understand contents of PDM by both side (Japanese side and counterpart side).



Annex 1 Schedule of the Terminal Evaluation

Date		Schedule
June 19	Fri	A Japanese evaluation team member arrive at Sarajevo
June 20	Sat	Meeting with JICA project team
June 21	Sun	Data analysis
June 22	Mon	Courtesy call to the Ministry of Foreign Affairs Courtesy call to the Ministry of Foreign Trade and Economic Relations Meeting at JICA contact point in Sarajevo Courtesy call to the Federal Ministry of Environment and Tourism
June 23	Tue	Move from Sarajevo to Banja Luka Courtesy call to RS Ministry of Physical Planning, Civil Engineering and Ecology Move from Banja Luka to Sipovo
June 24	Wed	Interview with the member of Eco Pliva Interview with the representative of PSA (Pliva Sports Association) Interview with the mayor of the Sipovo Municipality
June 25	Thu	Interview at Jajce Municipality (council chairman and head of economic dept.) Interview with Director of the Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce Interview with the mayor of the Sipovo Municipality
June 26	Fri	Interview with the Mayor of the Jezero Municipality Visit to the project site of "development of local specialty products in Jezero" Move from Jezero to Mostar
June 27	Sat	Preparing documents
June 28	Sun	Preparing documents
June 29	Mon	Interview with the representative of KRUG Blagaj Interview with the Representative of STK Blagaj
June 30	Tue	Interview with the council chairman of the Nevesinje Municipality Interview with the representative of the Fishing Association Nevesinje Interview with the representative of the Eco Farm (Bioproducts) Interview with the Executive Director of Eco Velez
July 1	Wed	Interview with the representatives of the Mostar Municipality Interview with the president of the Board of Director of Eco Velez Move from Mostar to Sarajevo
July 2	Thu	Preparing documents Two Japanese evaluation team members arrive at Sarajevo
July 3	Fri	Meeting at the JICA contact point in Sarajevo Courtesy call to the Embassy of Japan Courtesy call to the Ministry of Foreign Affairs Courtesy call to the Ministry of Foreign Trade and Economic Relations
July 4	Sat	Move from Sarajevo to Blagaj Interview with the members of Eco Velez Visit to the model projects (STK Blagaj and Eco Farm)
July 5	Sun	Move from Blagaj to Sipovo Interview with the members of Eco Pliva Visit to the model projects (Pliva Sports Association and Jajce Fortress)
July 6	Mon	Move from Pliva to Banja Luka Courtesy call to RS Ministry of Physical Planning, Civil Engineering and Ecology and RS Ministry of Trade and Tourism Move from Banja Luka to Sarajevo
July 7	Tue	Discussion on the minutes of meeting (including evaluation report)
July 8	Wed	Signing to the minutes of meeting Report to the Embassy of Japan
July 9	Thu	Move from Sarajevo to Belgrade (a Japanese team member leave to Japan)
July 10	Fri	Report to JICA office in Belgrade Leave to Japan

Annex 2 Project Design Matrix (PDM) revised version and original version

(1) PDM Revised version for the terminal evaluation

Project title: The Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism in Bosnia and Herzegovina
Project Term: from 20 January 2007 to 31 December 2009 (around 3 years)
Implementation Agency: Ministry of Foreign Trade and Economic Relations (BiH), Ministry of Environment and Tourism (FBiH), Ministry of Trade and Tourism (RS), Ministry of Physical Planning, Civil Engineering and Ecology (RS)
Target Area: Piva area (Jajce, Sipovo and Jezero municipality) and Velez area (Mostar and Nevesinje municipality)
Target Groups: Above mentioned administrative agencies, community based organizations and residents etc. in the target areas.

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Date of revision: 20 June 2009	
		Means of Verification	Important Assumption
<p>[Overall Goal] The Institutional Systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.</p> <p>[Project Purpose] Human recourse is developed and institutions/ organizations are strengthened in order to promote regional development through eco-tourism both at administrative and private levels in the target areas.</p> <p>[Outputs] 1. The purpose of eco-tourism as a measure for regional development, and knowledge and skills on eco-tourism are understood by relevant personnel. 2. Cooperation system is established between administrative agencies and private sector to jointly promote eco-tourism. 3. Organization and personnel capable of formulating development strategies and supporting implementation of projects for eco-tourism promotion are developed. 4. Personnel capable of engaging in the main fields of eco-tourism, which include developments of local agricultural products, country lodging, preservation and utilization of</p>	<p>The cooperation system among administrative agencies, relevant organizations and residents continues to function and some activities are actually carried out.</p> <p>1. Administrative agencies, umbrella associations and model project implementation organizations are able to take various measures for eco-tourism promotion under their collaboration. 2. More than half of the model project implementation organizations (17) have acquired capacity to operate and manage model projects in sustainable way.</p> <p>1. The number of personnel who understood knowledge and skills on regional development through eco-tourism promotion among administrative agencies, relevant organizations and residents. 2-1 Umbrella associations which are composed of administrative agencies and private sector are set up. 2-2 Meetings of umbrella associations are held at least 4 times per year. 2-3 Private organizations involved in the model projects are satisfied with activities of umbrella associations. 2-4 Meetings of relevant administrative agencies such as central, entity and municipal administrations are held regularly. 3-1 Results of the discussions on the regional development by the umbrella associations and number of projects that the umbrella association provided support in preparing financial support requesting document for submitting to donor agencies and entity level governments. 3-2 Results of integrated promotion activities for the eco-tourism promotion for the target areas by the umbrella associations 4-1 Average participation rates are more than 70% to the persons expected in the training programs 4-2 More than 70% of participants to the training programs are satisfied with the contents of training.</p>	<p>1. Activity record 2. Interview with relevant personnel</p> <p>1. Interview with administrative agencies, umbrella associations and model project implementation organizations 2. Interview with persons concerned</p> <p>1. Record of seminars and trainings 2-1 Record of project team 2-2 Records of meetings 2-3 Interview with model project implementation organizations 2-4 Records of meetings 3-1 Records of discussions and documents on project proposals for financial request 3-2 Achievements of promotion activities 4-1 Record of project team 4-2 Results of questionnaire at the training 4-3 Questionnaire and interview</p>	<p>- Negative factors to eco-tourism promotion, such as ethnic conflict and terrorism, do not happen. - Negative factors to eco-tourism promotion, such as economic crisis, do not get worse.</p> <p>- Systems/ structures of administrative agencies related to eco-tourism promotion do not greatly change. - Participants to seminars and workshops continue to promote eco-tourism. - Relevant institutions continue to promote eco-tourism. - Relevant institutions and residents maintain the cooperation system with administrative agencies. - Resources related to eco-tourism are not environmentally changed/damaged. - Counterpart personnel continue to engage in the Project activities.</p>

<p>historical/cultural heritage, sports activities are developed.</p> <p>5. Regional development models through promotion of eco-tourism are compiled as a guideline.</p>	<p>4-3 More than 50% of participants to five training programs use the knowledge for their businesses or activities.</p> <p>5. Guideline for regional development through promotion of eco-tourism</p>	<p>5. Guideline for regional development</p>
<p>[Activities]</p> <p>1-1 Hold seminars and workshops on eco-tourism</p> <p>1-2 Dispatch relevant personnel to training courses, conferences and seminars held both in Bosnia and Herzegovina and abroad.</p> <p>2-1 Analyze organizational structure, function, relations, problems and potentials of the organizations concerned (administrative agencies and private organizations) with the eco-tourism promotion</p> <p>2-2 Clarify various factors (law, regulations and institutions) on eco-tourism promotion</p> <p>2-3 Based on the above analysis on organization and institutional factors etc., clarify measures for creating appropriate relationship among organizations concerned for eco-tourism promotion</p> <p>2-4 Establish newly or reorganized umbrella associations which work as main body for eco-tourism promotion</p> <p>3-1 Hold seminars and workshops in order to disseminate knowledge on regional development through eco-tourism promotion</p> <p>3-2 With initiatives of personnel of the umbrella associations, which works as main body for eco-tourism promotion, hold discussions on regional development and provide support for the realization of planned projects.</p> <p>3-3 Support the umbrella associations' activities on planning, operation and sales of unified tourism products including information dissemination on activities of the models projects through monthly news letter and website</p> <p>4-1 Hold seminars or training programs for persons concerned with the model project implementing organizations</p> <p>4-2 Provide support to the model implementing organizations on project implementation and monitoring, and provide further support for capacity enhancement according to their necessity</p> <p>5-1 Create connections with other areas for eco-tourism promotion and conduct preparatory activities for creating international tourism corridor</p> <p>5-2 Prepare a guideline for regional development through eco-tourism promotion</p> <p>5-3 Hold seminars for disseminating the above guideline</p>	<p>[Input]</p> <p>Japanese side</p> <p>1. Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> - Tourism development planning - Tourism promotion and marketing - Strategic Tourism Marketing - Preservation of historical and cultural heritages - Preservation of natural environment and eco-tourism activities - Financial planning - Human resource development - Model project management <p>2. Acceptance of BiH counterpart personnel for training in Japan and other countries</p> <p>3. Equipment and other materials, if necessary</p> <p>4. Local cost</p>	<p>BiH side</p> <p>1. Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> - State and Entity governments - Tourism Communities/Organizations - Municipalities <p>2. Office and equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> - Office space - Office equipment (desks, chairs, telephones fax machines, etc.) <p>3. Local cost</p>
<p>- Systems of administrative agencies related to eco-tourism promotion do not greatly change</p> <ul style="list-style-type: none"> - Participants to seminars and workshops continue to promote eco-tourism. - Relevant institutions continue to promote eco-tourism. - Relevant institutions and residents maintain the cooperation system with administrative agencies. - Resources related to eco-tourism are not environmentally changed/damaged. - Counterpart personnel continue to engage in the Project activities. <p>[Pre-condition]</p> <p>1 relevant institutions/ organizations agree with their involvements in the Project activities</p>		

(2) PDM original version

Project Name: The Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism in Bosnia and Herzegovina

Duration: 3 years



Date: 25 April 2006

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>[Overall Goal] The institutional Systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.</p> <p>[Project Purpose] Human recourse is developed and institutions/ organizations are strengthened in order to promote regional development through eco-tourism both at administrative and private levels in the target areas.</p>	<p>1 The cooperation system among administrative agencies, relevant institutions and residents continues to function and some activities are actually carried out.</p> <p>1 The number of personnel who obtain proper knowledge and new skills in terms of eco-tourism promotion increases among administrative agencies, relevant institutions and residents.</p> <p>2 Administrative agencies are able to take various measures for eco-tourism promotion on their own initiative.</p> <p>3 The number of opportunities to involve in eco-tourism promotion activities jointly by administrative agencies, relevant institutions and residents increases.</p>	<p>1-1 Activity record</p> <p>1-2 Interview with relevant personnel</p> <p>1-1 Interview with relevant personnel</p> <p>1-2 Record of each workshop and seminar</p> <p>2 Interviews at administrative agencies</p> <p>3 Records of workshops and seminars</p>	<p>- Negative factors to eco-tourism promotion, such as ethnic conflict and terrorism, do not happen.</p> <p>- Negative factors to eco-tourism promotion, such as economic crisis, do not get worse.</p>
<p>[Outputs]</p> <p>1 The purpose of eco-tourism as well as knowledge and skills on regional development measures are understood by relevant personnel</p> <p>2 Functions/ relations of eco-tourism related institutions/ organizations as well as problems and potentials of each institution/ organization are clarified.</p> <p>3 Measures for institutional strengthening to promote eco-tourism are clarified.</p> <p>4 Cooperation system is established between administrative organizations and residents to jointly promote eco-tourism.</p>	<p>1-1 Seminars and workshops are held to spread eco-tourism.</p> <p>1-2 Participants to the above seminars and workshops understand the purpose of eco-tourism and regional development.</p> <p>1-3 Relevant personnel obtain proper knowledge regarding eco-tourism.</p> <p>2 Quality of institutional analysis is evaluated fair.</p> <p>3 Some specific activities for institutional strengthening are carried out by part of relevant institutions.</p> <p>4-1 At least 4 regular meetings are held per year between administrative institutions and residents.</p> <p>4-2 Personnel in charge of supporting private groups and residents are properly allocated at governmental agencies</p> <p>4-3 The number of co-operations between administrative agencies and the private sector, such as tourism fairs and web-site operations, reaches at least 3 times per year.</p>	<p>1-1 Records of workshops and seminars</p> <p>1-2 Interview with participants, questionnaire</p> <p>1-3 Interview with relevant personnel</p> <p>2 Evaluation report on the institutional analysis prepared by relevant personnel</p> <p>3-1 Activity record of relevant institutions</p> <p>3-2 Interview at relevant institutions</p> <p>4-1 Records of meetings</p> <p>4-2 Interview at relevant administrative and private institutions</p> <p>4-3 Records of tourism fairs, frequency in the use of website.</p>	<p>1 Systems/ structures of administrative agencies related to eco-tourism promotion do not greatly change.</p> <p>2 Participants to seminars and workshops continue to promote eco-tourism.</p> <p>3 Relevant institutions continue to promote eco-tourism.</p>

<p>5 Drafts of action plans are established to promote eco-tourism.</p> <p>6 Personnel capable of establishing strategies and specific plans of eco-tourism promotion are developed through output 5.</p> <p>7 Personnel capable of engaging in the main fields of eco-tourism, which are developments of local agricultural products, country lodging, preservation of historical/ cultural heritage, sports activities, are developed.</p>	<p>5 Action plans are evaluated fare by relevant personnel</p> <p>6-1 Counterparts personnel are able to moderate participatory workshops by themselves.</p> <p>6-2 Participants to seminars sufficiently understand the methodologies of economic/ social analysis to establish plans.</p> <p>7 Selected pilot projects are well managed.</p>	<p>5-1 Document on the action plans</p> <p>5-2 Evaluation by relevant personnel</p> <p>6-1 Records of workshops</p> <p>6-2 Records of seminars, questionnaire</p> <p>7-1 Interview with personnel related to pilot projects</p> <p>7-2 Activity record</p>	
<p>[Activities]</p> <p>1-1 Hold seminars and workshops on eco-tourism</p> <p>1-2 Dispatch relevant personnel to training courses, conferences and seminars held both in BiH and abroad.</p> <p>1-3 Issue pamphlets, prepare and manage the existing websites.</p> <p>2-1 Clarify various factors (law, regulations, institutions, etc) on eco-tourism promotion.</p> <p>2-2 Make analysis on institutions related to eco-tourism promotion.</p> <p>3-1 Establish plans for strengthening institutions related to eco-tourism promotion, based on the above institutional analysis.</p> <p>4-1 Clarify specific roles of administrative agencies, relevant institutions and residents, by holding workshops, based on plans for strengthening institutions.</p> <p>4-2 Hold seminars and workshops in order to explain the roles and to promote specific activities of each institution.</p> <p>4-3 Prepare a common venue to hold eco-tourism network meetings among administrative agencies, relevant institutions and residents.</p> <p>4-4 Hold tourism fairs and establish website jointly by administrative agencies, relevant institutions and residents.</p> <p>5-1 Review the results of the Development Plan Study and establish action plans to carry out specific projects.</p> <p>6-1 Hold participatory workshops to establish action plans.</p> <p>6-2 Hold seminars on the measures for economic/ social analysis to establish action plans.</p> <p>7-1 Monitor pilot projects implemented during the Development Study and analyze their problems and potentials.</p> <p>7-2 Transfer technologies for human resource development and institutional/ organizational strengthening, based on the above analysis.</p>	<p>[Inputs]</p> <p>Japanese side</p> <p>1. Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> - Tourism development planning - Tourism promotion - Marketing - Preservation of historical and cultural heritages - Preservation of natural environment and eco-tourism activities - Finance <p>2. Acceptance of BiH counterpart personnel for training in Japan and other countries</p> <p>3. Equipment and other materials if necessary</p> <p>4. Local cost</p>	<p>BiH side</p> <p>1. Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> - State and Entity governments - Tourism Communities/ Organizations - Municipalities <p>2. Office and equipment</p> <p>Office space</p> <p>Office equipment (desks, chairs, telephones, fax machines, etc.)</p> <p>3. Local cost</p>	<p>1 Systems of administrative agencies related to eco-tourism promotion do not greatly change</p> <p>2 participants to seminars and workshops continue to promote eco-tourism.</p> <p>3 Relevant institutions continue to promote eco-tourism.</p> <p>4 Relevant institutions and residents maintain the cooperation system with administrative agencies.</p> <p>5 Resources related to eco-tourism are not environmentally changed/ damaged.</p> <p>6 Counterpart personnel continue to engage in the Project activities.</p> <p>[Pre-condition]</p> <p>1 Relevant institutions/ organizations agree with their involvements in the Project activities.</p> <p>2 Sufficient budget and personnel are allocated for the Project implementation by administrative agencies.</p>

Annex 3 Dispatch of JICA Experts

No.	Field of Expert	Name of JICA Expert	Total MM (Man-Months)	Total Days	A.D. 2007												A.D. 2008											
					1st fiscal year			2nd fiscal year			3rd fiscal year			4th fiscal year			1st fiscal year			2nd fiscal year			3rd fiscal year			4th fiscal year		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	Chief Advisor/Tourism Development Planning	Mr. Kanso ITOH	16.07	482	3	59	30	30	64	65	31	31	31	40	46	46	40	46	46	40	46	46	40	46	46			
2	Deputy Chief Advisor/ Institutional Analysis and Enhancement	Mr. Hideo SAKAMOTO	8.75	262	3	38	65	30	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40			
3	Tourism Promotion	Ms. Shemie FUJINUMA	9.17	275	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45			
4	Marketing Strategy	Mr. Yoshiki HIRABAYASHI	2.00	60	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30			
5	Financial Planning	Ms. Kinuyo FUKUDA	0.47	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14			
6	Cultural and Historical Heritage Preservation	Mr. Ken KAWASAKI	8.10	243	15	19	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30			
7	Natural Environment Preservation	Mr. Takeshi OMURA	9.13	274	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49			
8	Human Resources Development	Mr. Akiko NISHIBUCHI	11.33	340	15	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25			
9	Model Project Management	Mr. Takeshi SHIMOMURA	7.33	220	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31			
Total			72.33	2,170																								

Legend
 Work in BiH (Bozina and Herzegovina)
 Work in Japan

Annex 4 Equipment provided by JICA

Below equipments were implemented for modal project activities during Feb 2007 to Dec 2008. Those equipments will be extended to MOFTER after the project completion and managed by same modal project organization under the supervision of MOFTER.

	Purchase Date	PV	Organization	Equipment	Quantity	Specification, name etc.	Provider
101	2007/2/15	JPT	Sarajevo office	Desktop PC with Monitor & Windows XP, MS office	1	HP dcz280, MT PD-925 160G, 512M 4 with Windows XP Pro	PC Kids
103	2007/2/21	JPT	Sarajevo office, Mostar office, Sipovo office	Ink-jet printer: A3, A4 Color inkjet	3	PIXMA Ix 4000, inkjet printers	Racional d.o.o.
104	2007/2/15	JPT	Sarajevo office	Photocopier with attachment (automatic sender, etc)	1	CANON IR-2016 Digital Laser Photocopier	Racional d.o.o.
107	2007/2/15	JPT	Sarajevo office	Laser FAX machine for local office	1	CANON L-100	Racional d.o.o.
108	2007/2/15	JPT	Mostar office, Sipovo office	Inkjet Tel/Fax machine for local office	2	CANON B-320	Racional d.o.o.
111	2007/2/20	JPT	Sarajevo office	Setting up LAN in Sarajevo Office, Switches and Lines	1	ADSL router, port switches, UTP cables	PC Kids
112	2007/3/13	JPT	Sarajevo office, Mostar office, Sipovo office	Scanner	3	Scanner CANON LI DE 25	Racional d.o.o.
113	2007/2/6	JPT	Sarajevo office	Portable Phone	3	Motrola C139	HT ERONET
114	2007/2/28	JPT	Mostar office, Sipovo office	Video Camera with stands for video camera	2	CANON Video camera MV 890	CENTRONIC d.o.o.
115	2007/7/26	JPT	Mostar office, Sipovo office	Monitors (LCD)	2	LG LCD TV 37" LE2R	CENTRONIC d.o.o.
116	2007/2/26	JPT	Mostar office, Sipovo office	Laptop PC with Windows XP	2	LENOVO C 100 laptop PC	CENTRONIC d.o.o.
118	2007/2/28	JPT	Mostar office, Sipovo office	Windows office (For laptop)	2	MS Office SB Eng 2003 (Word, Excel, Power P)	CENTRONIC d.o.o.
119	2007/2/28	JPT	Mostar office, Sipovo office	Projector, Portable	2	BEND MP 720p projector	CENTRONIC d.o.o.
120	2007/2/28	JPT	Mostar office, Sipovo office	Screen (for projector), Portable	2	Projector screen preview	CENTRONIC d.o.o.
121	2007/2/28	JPT	Mostar office, Sipovo office	Laser printer for local offices, A4 black & white	2	CANON Laser ahd LBP 2900	CENTRONIC d.o.o.
201	2007/10/9	Pliva	Eco-Pliva	Lap top PC	1	IBM THINKPAD T30 (P4 1.6, 512MB, 20GB)	Smart d.o.o.(Jajce)
202	2007/10/9	Pliva	Eco-Pliva	Desk top PC	2	ASUS P5VD2-X (Core 2 duo E2140 1.6G, HDD 250GB)	Smart d.o.o.(Jajce)
203	2007/10/8	Pliva	Eco-Pliva	Mobile Phone	1	NOK 3080	SEL (Jajce)
204	2007/10/9	Pliva	Eco-Pliva	Digital Camera	1	Canon a460	FIV (Jajce)
205	2007/10/9	Pliva	Eco-Pliva	Desk	2	Korn. Stal Stela	FIV (Jajce)
206	2007/10/9	Pliva	Eco-Pliva	Cabinet	1	Ormar 502L	FIV (Jajce)
207	2007/10/9	Pliva	Eco-Pliva	Chair	20	Stolica N1702D	FIV (Jajce)
209	2007/10/9	Pliva	Eco-Pliva	Scanner	1	MUSTEK BearPad 1200 CU PLUS	Smart d.o.o.(Jajce)
209	2008/3/13	Velez	Nवेशिगे Youth Initiative	Tent	4	"Pagoda" 100m2 (4x25m2)	Info Center (Trebinje)
210	2008/3/13	Velez	Nवेशिगे Youth Initiative	Equipment for tent (10 set)	10	Set of chairs and tables	Info Center (Trebinje)
211	2008/2/21	Velez	STK Blagaj City	Wooden Boat	1	Ormar Canvas (Tij Lađa)	Canoe M (Cepolina)

	Purchase Date	PIV	Organization	Equipment	Quantity	Specification, name etc.	Provider
212	2008/2/12	Velez	STK Blagaj City	Mountain Bike	10	MTB 26" FS Capriolo	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
213	2008/2/12	Velez	STK Blagaj City	Accessories for Mountain Bike	1	10 Helmet(L), 5 Helmet(M), 10 Hightrack V-Brake(Madguard)	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
214	2008/3/14	Velez	Podvezje Bio Product	Mountain Bike	5	MTB 26" FS Capriolo	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
215	2008/3/14	Velez	Podvezje Bio Product	Accessories for Mountain Bike	1	10 Helmet(L), 5 Helmet(M), 10 Hightrack V-Brake(Madguard)	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
216	2008/3/14	Velez	Co-operative Eco Farm	Mountain Bike	5	MTB 26" FS Capriolo	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
217	2008/3/14	Velez	Co-operative Eco Farm	Accessories for Mountain Bike	1	10 Helmet(L), 5 Helmet(M), 10 Hightrack V-Brake(Madguard)	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
218	2008/3/14	Pliva	Pliva Sports Activities	Mountain Bike	10	MTB 26" FS Capriolo	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
219	2008/3/14	Pliva	Pliva Sports Activities	Accessories for Mountain Bike	1	10 Helmet(L), 5 Helmet(M), 5 Hightrack V-Brake(Madguard)	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
220	2008/3/17	Pliva	Pliva Sports Activities	Rafting boats	2	Canoe 425 Rob fin	Guideline d.o.o. (Banja Luka)
221	2008/3/17	Pliva	Pliva Sports Activities	Canoe	2	R2 Rob fin	Guideline d.o.o. (Banja Luka)
222	2008/3/17	Pliva	Pliva Sports Activities	Rafting/ canoe equipments (20 set)	1	Helmet, wetsuit, reglar, lifebest, boat	Guideline d.o.o. (Banja Luka)
223	2008/3/17	Pliva	Pliva Sports Activities	Fly fishing equipments (set)	1	Sets of equipment, wear etc.	RACA Company d.o.o. (Sarajevo)
224	2008/3/14	Pliva	Sipovo Hunting Association	Mountain Bike	10	MTB 26" FS Capriolo	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
225	2008/3/14	Pliva	Sipovo Hunting Association	Accessories for Mountain Bike	1	10 Helmet(L), 5 Helmet(M), 10 Hightrack V-Brake(Madguard)	Wolf Bikes d.o.o. (Banja Luka)
226	2008/3/10	Velez	Fishing Association Blagaj	Fly fishing equipments (set)	8	MUSICARSKI COMBO SET 9" #5/6	RACA Company d.o.o. (Sarajevo)
227	2008/3/10	Velez	Fishing Association Nevesinje	Fly fishing equipments (set)	8	MUSICARSKI COMBO SET 9" #6/7	RACA Company d.o.o. (Sarajevo)
228	2008/3/14	Pliva	Sipovo Hunting Association	Binoocular	3	DVOGLED marke KONUS uvecanja 10x50	KM TRADE d.o.o (Visoko)
229	2008/3/14	Pliva	Pliva Sports Activities	Binoocular	3	DVOGLED marke KONUS uvecanja 10x50	KM TRADE d.o.o (Visoko)
230	2008/3/14	Velez	Hunting Association Blagaj	Binoocular	3	DVOGLED marke KONUS uvecanja 10x50	KM TRADE d.o.o (Visoko)
231	2008/3/14	Velez	Hunting Association Podvezje	Binoocular	3	DVOGLED marke KONUS uvecanja 10x50	KM TRADE d.o.o (Visoko)
232	2008/3/14	Velez	Hunting Association Nevesinje	Binoocular	3	DVOGLED marke KONUS uvecanja 10x50	KM TRADE d.o.o (Visoko)
233	2008/3/12	Velez	Hunting Association Blagaj	Telescope	1	Telescope 20-50 x 80	KIWI Sport d.o.o. (Mostar)
234	2008/3/12	Velez	Hunting Association Podvezje	Telescope	1	Telescope 20-60 x 80	KIWI Sport d.o.o. (Mostar)
235	2008/3/12	Velez	Hunting Association Nevesinje	Telescope	1	Teleskop 20-50 x 60	KIWI Sport d.o.o. (Mostar)
236	2008/2/12	Pliva	Jezero Municipality	Scales (L.)	1	Elektronika Vaga 60/150kg DS 532	PRECIZ (Banja Luka)
	2008/2/16	Pliva	Jezero Municipality	Scales (S)	1	Elektronika Vaga 60kg/20g JBJP	PRECIZ (Banja Luka)
	2008/3/15	Pliva	Jezero Municipality	Sawing machine for herb collection bag	1		Prisodno Blje d.o.o. (Banja Luka)
	2008/3/16	Pliva	Sipovo Office	Printer	1	Canon PIXMA MP460	CT Retail d.o.o.

Purchase Date	PVV	Organization	Equipment	Quantity	Specification, name etc.	Provider
301	Pliva	Jezero Municipality	Desk top PC Software (Windows XP, MS Office, etc.) mouse, etc.	1	Intel Pentium DualCore E2220 Display 19" Windows XP, MS Office Installed Mouse & keyboard	Ideal Promet d.o.o
302	Pliva	Jezero Municipality	Printer	1	Printer HP F2280	FAMIS d.o.o
303	Pliva	Sipovo Office	Desk top PC Software (Windows XP, MS Office, etc.) mouse, etc.	1	Intel Pentium DualCore E2220, Display 19", Windows XP, MS Office Installed, Mouse & keyboard	Ideal Promet d.o.o
304	Pliva	Jezero Municipality	Drying Chamber	1	Tunajska susara TIP MTS 800 (width:1200mm, height:1350*1000mm, length:3900mm) 600kg/24h	Ljekovića (Trebinje)
305	Pliva	Jezero Municipality	Separator	1	Vibracijski separator FS2000	Ljekovića (Trebinje)
306	Pliva	Jezero Municipality	Control Table	1	Kontrolni sto KOMTROL 308	Ljekovića (Trebinje)
307	Velez	STK Blagaj City	Weld Tool	2	Radio Stanice Cobra MT500	ROBOT General Trading Co d.o.o
308	Velez	Eco Velez	Desk top PC, Software (Windows XP, MS Office, etc.), mouse, etc.	1	LG Glatron 19" wide, Intel Pentium Dual core E2180 2.9 GHz, Mouse + keyboard	Alert Computers d.o.o
309	Velez	Eco Velez	Printer	1	Printer deskjet F2180	FAMIS d.o.o
310	Velez	Mostar Office	Desk top PC Software (Windows XP, MS Office, etc.) mouse, etc.	1	CPU Intel DualCore E2180 GHz 1MB, LCD 19", Windows XP, MS Office installed, mouse and keyboard	FAMIS d.o.o
311	Velez	KRUG Blagaj	Air blash	1		Michelangelo d.o.o.
312	Velez	KRUG Blagaj	Compressor	1	Compressor 240l/min 24l tank 8bar 1.5kw CP2525	OBI (A.d.o.o.)
313	Velez	Eco Velez	Digital Camera	1	Canon PowerShot A470 Silver	Alert Computers d.o.o
314	Pliva	Pliva Sports Activities	Rafting Skipper Paddle	4	Profplast veslo -Master	Guideline d.o.o.
315	Pliva	Pliva Sports Activities	GPS	3	GARMIN Colorado 300	HG Spot Banja Luka (Technom doo)
316	Velez	Fishing Association Nevesinje	Canoe	2	Traper	CANOE-M (Capljina)
317	Velez	Fishing Association Nevesinje	Car	4	Veslo 507	Malis d.o.o
318	Pliva	Eco Pliva	Promotion Rack (L)	3	larger style - Sc-0-4D-1	NOVOTEKS d.o.o.
319	Pliva	Eco Pliva	Promotion Rack (S)	8	small style - Sc-VB-2	NOVOTEKS d.o.o.
320	Velez	Eco Velez	Promotion Rack (L)	8	larger style - Sc-0-4D-1	NOVOTEKS d.o.o.
321	Velez	Eco Velez	Promotion Rack (S)	3	small style - Sc-VB-2	NOVOTEKS d.o.o.

Annex 5 Persons participated in the trainings in Japan

Following persons, who are related with the this project, have participated in the trainings in Japan organized by JICA but not under the framework of this project.

No.	Name	Participation to this project	Position and organization	Training in Japan	
				Name of Training Course	Period/ Duration
1	Ms. SOFTIC Aida	Model Project Organization	Director, "Agency for cultural-historical and nature heritage and development of tourism potentials in Jajce"	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2007	March 30 2008 - April 26 2008
2	Mr. KNEZIC Stevan	Model Project Organization	Member, PSA / Forest Company Sipovo	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2007	March 30 2008 - April 26 2008
3	Mr. KOSTIC Jovan	Model Project Organization	Executive Director, Eco Velez / NYI	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2007	March 30 2008 - April 26 2008
4	Mr. DONKO Ernest	Field Officer	Velez Field Officer, JICA Project Team	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2007	March 30 2008 - April 26 2008
5	Ms. JOVIC Mira	Umbrella Association	Administrator, Eco Pliva	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2008	March 29 2009 - April 25 2009
6	Mr. KULENOVIC Bojan	Field Officer	Pliva Field Officer, JICA Project Team	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2008	March 29 2009 - April 25 2009
7	Mr. ASKRABA Emir	Model Project Organization	Director, STK Blagaj / Blagaj Round Table	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2008	March 29 2009 - April 25 2009
8	Mr. KOLICIC Esad	Model Project Organization	Director, Bioprodukt (Eco Farm)	Eco-Tourism and Strategic Regional Development for Eastern Europe JFY2008	March 29 2009 - April 25 2009

Annex 6 Local Cost Allocated by Japanese Side

Unit: Japanese Yen

No.	Category	Term				Total
		From Jan. to Aug. 2007	From Oct. 2007 to Mar. 2008	From May to Dec. 2008	From Feb. to Dec. 2009 (planned)	
1	General local cost (trainings, transportations, and local personnel expenses, etc.)	15,668,000	37,800,000	26,261,000	24,664,000	104,393,000
2	Equipment cost	2,114,000	8,457,000	537,000	-	11,108,000
3	Local consultant cost	2,624,000	3,873,000	-	-	6,497,000
4	Meeting expenses	446,000	532,000	463,000	-	1,441,000
	Total	20,852,000	50,662,000	27,261,000	24,664,000	123,439,000

Annex 7 List of trainings, workshops, OJT etc. conducted

WS: Workshop, OJT: On the Job Training, N.A.: data not available

No. of model project	Training No.	Category	Title of training	Date	Target participants	Number of participants
1	2-1	Training/ WS	Working Group Meeting among tourism related administrative agencies	Oct 17 and Nov 22 in 2007, and Jan 28, 2008	Ministry of Foreign Trade and Economic Relations FBH Ministry for environment and tourism RS Ministry of trade and tourism Tourist Association in BiH Tourist Community of FBH Tourist Organization in RS etc	0
2	2-2	Seminar	2nd Joint Seminar on "Example of practices on eco-tourism" in Sarajevo	Mar 5, 2008	Persons concerned with the Project in Pliva and Velez areas, CP organizations and donors agencies	74
3	2-3	OJT	Eco Pliva & Eco Velez joint meeting	Mar 16-16, 2008	Persons concerned with the umbrella associations in both areas (Eco-Pliva and Eco-Velez)	16
4	PL1_UMB VEL_UMB	OJT	International fair in Trebinje visit	Oct 27-28, 2007	Candidates who engage in the tourism promotion in both areas (Pliva and Velez)	4
5	PL1_UMB	Training/ WS	Eco Pliva Board meeting for organizational strengthening and workshop on project planning	Oct 30, Nov 13, Nov 27, Dec 4, Dec 6, Dec 25 in 2007, Jan 31 and Feb 25 in 2008 (total 8 times)	Persons concerned with Eco-Pliva	7
6	PL1_UMB	Training/ WS	Eco Pliva Promotion WS and Compiling Necessary Information	Nov 22-23, 2007	Persons concerned with the model projects in Pliva area and candidates who engage in the tourism promotion	22
7	PL1_UMB	Training/ WS/ OJT	Eco Pliva WS for Promotion Activity Plan Preparation and preparation of promotion materials	Jan 17, Jan 22, Jan 25, Jan 30 in 2008 and other	Member of the promotion working group of Eco-Pliva	8
8	PL1_UMB	Training/ WS	Pliva Tourism English course for beginners	From December 2007 to February 2008	Persons engaged in or who want to engage in tourism related activities in Pliva area, municipalities of Jajce, Jezero, and Sipovo	30
9	PL1_UMB	Seminar participation	WS for EU grant, application and guideline	Feb 28, 2008	Persons concerned with Eco-Pliva	4
10	PL1_UMB	Training/ WS	WS for Pliva Regional Plan Development through Eco Tourism	Mar 15, 2008	Persons concerned with Eco-Pliva	8
11	PL1_UMB	OJT	Pliva Beautification Campaign	Apr 4-16, 2008	Persons concerned with youth associations, sport associations, schools in municipalities of Jajce, Jezero, Sipovo	-
12	PL1	OJT	International fair in Nevisad, Serbia Visit	Oct 12-13, 2007	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	2
13	PL1	Training/ WS	Rafting Guide training	Nov 14-17, 2007	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	20
14	PL1	Training/ WS	Flyfishing Guide training	From Nov 29 to Dec 2, 2007	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	20
15	PL1	Training/ WS	Fly making training	Dec 13-16, 2007	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	20
16	PL1	OJT	Pliva River Opening (start of fishing season)	Mar 1-2, 2008	Persons concerned with "Pliva Sports Activities", sport NGO in Pliva area, fishing associations in neighbouring countries, and media organizations	-
17	PL1	Training/ WS	Pliva Mountaineering Guide Training	Mar 7-8, 2008	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	19
18	PL1	OJT	WS for recreation equipment planning	From Jan to Mar, 2008	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	1
19	PL1	OJT	Visit to the International fair (fishing show) in Birmingham, UK	Mar 13-16, 2008	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	1
20	PL12	Seminar	Seminar for Jajce Archeological Survey preparation 1 (importance of historical and cultural heritage)	Feb 28, 2008 (preparatory meeting Jan 23 and Feb 6, 2008)	Students of senior school in Jajce, members of NGO, and persons who are interested in historical and cultural heritage	27
21	PL12	Seminar	Seminar for Jajce Archeological Survey preparation 2 (practice on archeological survey)	Mar 6, 2008	Students of senior school in Jajce, members of NGO, and persons who are interested in historical and cultural heritage	19
22	PL13	Training/ WS/ OJT	WS/Pliva Country Lodging Board meeting	Jan 25, Feb 11, Feb 13-14, Mar 10, 2008	Persons concerned with the Pliva Country Lodging association and persons who want to start country lodging newly	17

No. of model project	Training No.	Category	Title of training	Date	Target participants	Number of participants
23	2-28	Training/WS	Pliva Country Lodging Business Management Training	Mar 13, 2008	Persons concerned with the Pliva Country Lodging association	28
24	2-13	Training/WS	Jazero Herb & Mushroom buyoff station manager training	Feb 16-17 in Jazero, Feb 23 in Sipovo, (preparatory meeting Nov 27, 2007 and meeting with instructor Feb 4, 2008)	Persons who are interested in start herb and mushroom collection activity	48
25	2-24	Training/WS	Jazero Herb & Mushroom buyoff station manager training (practical training)	Mar 6-10, 2008	Candidates for manager for herb and mushroom buyoff station	1
26	2-26	OJT	Jazero Herb & Mushroom buyoff station planning WS for operation system and machinery	From Nov 2007 to Mar 2008	Persons concerned with the herb and mushroom buyoff station in Jazero	2
27	2-16	Training/WS	Eco House WS for Survivor Production Training and Marketing	Feb 12, Feb 22, and Feb 29, 2008	Persons who engage in the handicraft and survivor production	5
28	2-18	Training/WS	Reestablishment of Eco House Jajce and commissioned sale system	Feb 20, 2008	Local producers in Pliva (who want to ask commissioned sales at Eco House)	9
28	2-19	Training/WS	Quality Improvement WS: Pasta making	Feb 23, 2008	Workers of Eco House	4
30	2-27	Seminar participation	Traditional food promotion seminar in Doboj	Mar 13, 2008	Manager of Eco House in Jajce	1
31	2-29	Training/WS	Quality Improvement WS: Pruning of fruits tree	Mar 15, 2008	Fruit producers in Pliva (contracted farmers with Eco House)	11
32	2-31	OJT	Reestablishment of Eco House Jajce	From Dec 2007 to Mar 2008, (Reopening event at Mar 11, 2008)	Persons concerned with Jajce Eco House	1
33	2-20	Seminar participation	participatio to the seminar on Sustainable Agricultural Development Project	Feb 26, 2008	Persons concerned with the model project related with local product development in Pliva	2
34	PLI_UMB	Training/WS	Veles Promotion WS - Compiling Necessary Information	Nov 19-20, 2007 and Feb 20, 2008	Persons concerned with the model projects in Velez area and candidates who engage in the tourism promotion	12
35	PLI_UMB	OJT	Promotion WS - Velez Website maintenance	From Oct to Dec in 2007	Person in charge of website operation and maintenance in Velez	7
36	VEL1	Training/WS	Velez Reutilization campaign - Eco Workshop	Feb 19, 21 and 22 in 2008	School students in Velez area	175
37	VEL1	Training/WS	Computer training in Nevesinje	Feb 4-8 and Feb 11-15 in 2008	Persons concerned with the model project in Nevesinje	14
38	VEL1	Training/WS	Basic English course in Nevesinje	Feb 9-22, 2008	Persons engage in tourism activities and who want to engage in it in Nevesinje	12
39	VEL1	Training/WS	Basic English course in Blagaj	From Feb 23 to Mar 7, 2008	Persons engage in tourism activities and who want to engage in it in Podvelez	8
40	VEL1	Training/WS	Basic Italian course in Nevesinje	From Feb 23 to Mar 7, 2008	Persons engage in tourism activities and who want to engage in it in Nevesinje	13
41	VEL1	Training/WS	Nevesinje Country Lodging business management training	Feb 24-26, 2008	Persons who operating country lodging and who want to start country lodging in Nevesinje	13
42	VEL1	Seminar	Historical and Cultural heritage seminar in Nevesinje	Feb 25-29, 2008	Residents in Nevesinje	24
43	VEL1	Training/WS	Business management training in Nevesinje	Mar 1-3, 2008	Persons who operating country lodging and who want to start country lodging in Nevesinje	17
44	VEL2	OJT	Nature observation training, practice in Slovenia	Feb 15-17, 2008	Hunting associations in Velez area (Blagaj, Podvelez, and Nevesinje)	8
45	VEL3	Training/WS	Velez Computer training	From Jan 16 to Feb 1, 2008	Persons concerned with the model project in Blagaj in Velez area	12
46	VEL3	Training/WS	Blagaj Rafting Training	Feb 15-19, 2008	Persons engage in rafting and persons who want to engage in rafting in Blagaj	18
47	VEL3	OJT	Velez Beautification campaign - Buna river	From Feb 29 to Mar 2, 2008	Persons concerned with STK Blagaj	31
48	VEL4	OJT	Preparation for Folklore Dance training	March 2008	Persons engage in traditional dance and folklore	-
49	VEL6	Training/WS	Blagaj Round Table	Jan 17 and Mar 16, 2008	Persons concerned with the model projects in Velez area and NGOs concerned	16
50	VEL7	OJT	Eco Farm, preparation of Podvelez tourism (educational) farm	From Dec 2007 to Mar 2008	Persons concerned with Podvelez tourism (educational) farm	14

No. of modal project	Training No.	Category	Title of training	Date	Target participants	Number of participants
51	VEL8	Training/ WS	Quality Improvement WS: Traditional Food in Velez	Nov 17, Nov 30, Dec 15 in 2007, Jan 5, Jan 12 in 2008 (total 5 times)	Persons who operating country lodging and who want to start country lodging in Blagai in Velez area	5
52	VEL9	Training/ WS	WS for Velez Country Lodging (Blagai) (planning on county lodging development)	Nov 3, 2007	Persons who operating country lodging in Blagai in Velez area	8
53	VEL9	Training/ WS	Blagai County Lodging Business management training	Jan 18-20, 2008	Persons who operating country lodging in Blagai in Velez area	11
54	VEL9	Training/ WS OJT	WS for Velez Country Lodging (Navesinja) (development of new country lodging)	Jan 18, 2008 and other	Persons who operating country lodging and who want to start country lodging in Navesinja in Velez area	7
55	VEL9	Seminar participant	Seminar on Country Lodging operation in Vrgorac, Croatia	Feb 5, 2008	Persons who operating country lodging and who want to start country lodging in Velez area	6
56	VEL11	Training/ WS	Quality Improvement WS for beekeepers	Feb 16-17, 2008	Persons concerned of the beekeeping associations in Navesinja, Blagai, and Podvelez in Velez area	71
57	-	OJT	Eco FAM Tour in Velez	Nov 25, 2007	Persons concerned with the model project in Velez area	-
58	VEL7*	OJT	Velez Souvenir development WS	From Jan to Feb 2008	Souvenir producers in Blagai	5
59	-	Seminar	3rd Joint Seminar on Eco-tourism - Experience of Pilva Region's Progress -	Jun 25-26, 2006	Administrative agencies related with tourism, persons concerned with the model projects, and persons engage in tourism activities	54
60	-	Seminar	4th Joint Seminar on Eco-tourism - Experiences of Velez Region's Progress -	Nov 13-14, 2006	Administrative agencies related with tourism, persons concerned with the model projects, and persons engage in tourism activities	110
61	-	Training/ WS	Working Group Meeting among tourism related administrative agencies	Jun 5, 2008	- Ministry of Foreign Trade and Economic Relations - FBH Ministry for environment and tourism - RS Ministry of Trade and tourism - Tourist Association in BiH - Tourist Community of FBiH - Tourist Organization in RS etc	15
62	-	Training/ WS	Intermediate Evaluation WS	From Nov to Dec 2008	Administrative agencies related with tourism and persons concerned with the model projects	32
63	-	OJT	FAM tour (JICA Alumni FU Program)	Jul 11-17, 2008	Eco-Pilva, Eco-Velez, JICA alumni, model project implementing organizations, and journalist of neighboring countries	-
64	PLI_UMB	OJT	Pilva Beautification Campaign	May 23, 2008	Eco Pilva and residents in the area	-
65	PLI_UMB	Training/ WS	Pilva Promotion WG - Eco Pilva Website update	5/4 ~ 12/8	Eco Pilva Promotion WG	17
66	PLI_UMB	OJT	Eco Pilva promotion of region activity. Official visit to Tourist organization of RS (Banja Luka) and FBiH (Sarajevo)	7/24, 11/18	Eco Pilva and persons concerned with promotion	4
67	PLI_UMB	Training/ WS	Pilva regional development plan WS	7/25, 8/29	Persons concerned with the model projects in Pilva area	11
68	PLI_UMB	OJT	Eco Pilva Tourism Plus Award	Sep 27, 2008	Eco Pilva and persons of tourism promotion organizations of other areas	1
69	PLI_UMB	Training/ WS	Pilva English training	From Sep to Nov, 2008	Persons concerned with the model projects in Pilva area	57
70	PLI_UMB	Training/ WS	Eco Pilva WS Strategic development of Eco-Pilva as regional eco-tourism service provider	Sep. 10, Dec 1, Dec 5 in 2008	Eco Pilva	10
71	PLI_UMB	OJT	Welcome to Pilva Campaign	From Sep to Nov, 2008	Eco Pilva and persons concerned with the model projects in Pilva area	-
72	PLI_UMB	Training/ WS	Pilva Financial Management Training	Nov. 19, 2008	Persons concerned with the model projects in Pilva area	5
73	PLI_UMB	OJT	Eco Pilva School Visit (Promotion)	From Sep to Dec 2008	Eco Pilva	3
74	PLI	Training/ WS	Rafting Skipper Training for Intermediate	Jun 26-28, 2005	Persons concerned with PSA, sport associations, and youth associations	20
75	PLI	OJT	Storage building (recreational equipment)	Dec 1-8, 2008	Persons concerned with PSA and local residents	10
76	PLI	OJT	Pilva Days	Aug 7-10, 2006	Persons concerned with PSA, local residents, sport associations, youth associations and journalists	-

No. of model project	Training No.	Category	Title of training	Order	Target participants	Number of participants
77	PL11	Training/ WS	Fly Tyng WS (Advanced)	Nov 27-30	Persons concerned with PSA and youth associations	15
78	PL11	Training/ WS	Mountaineering training	Dec 4-7, 2008	Persons concerned with PSA and NYI	12
78	PL12	Training/ WS	Jajce Historical & Tourist guide training	Dec 5-9, 2008	NGOs in Jajce, Eco Pilva and persons who want become guide	17
80	PL12	Training/ WS	Awareness training WS for test archaeological survey	Nov 22-23, 2008	NGOs in Jajce, schools in Jajce, Eco Pilva, and local residents	9
81	PL13	Training/ WS	Country Lodging Association WS (Board meeting)	Jun 9, Sep 9, Sep 29 in 2008	Members of the country lodging associations in Pilva	10
82	PL13	Training/ WS	Country Lodging Association Business Training	Oct 18-19, 2008	Members of the country lodging associations in Pilva and Eco Pilva	54
83	PL14	Training/ WS	Trail Master Plan WS	Jun 10, Jul 30, Aug 28 in 2008	Persons of the organization related with tourism promotion in Pilva and parson in charge of the municipalities	15
84	PL15	Training/ WS	Selection and education of families for herb farming	Jul 17, 2008	Farmers who want to produce herb	13
85	PL15	Training/ WS	Buy-off operation (Herb)	From Oct to Dec, 2008	Eco House Jazero and herb collectors	-
86	PL16	Training/ WS	Quality Improvement WS: Beekeepers	Aug 5, Aug 30, Sep 13, Sep 27 in 2008	Beekeepers in the area	43
87	PL16	Training/ WS	Quality Improvement WS: Pasa	Aug 7, 2008	Local residents who want to participate production activity	10
88	PL16	Training/ WS	Quality Improvement WS: Cheese	Aug 27, Aug 29 in 2008	Cheese producers in the area	10
88	PL16	Training/ WS	Participation to Zagreb Eco Ethno Fair	Sep 16-21, 2008	Persons concerned with Eco House (Jajce, Jezero)	2
90	PL16	Training/ WS	Quality Improvement WS: Cabbage	Nov 4, 2008	Local residents who want to participate production activity	14
91	PL16	OJT	Marketing activities in Sanjavo (products of Eco House)	From Nov to Dec in 2008	Persons concerns with Eco House	1
92	PL16	OJT	Eco House Jajce Strategy planning WS	From May to Dec in 2008	Persons concerns with Eco House and legal advisor	2
93	VEL-UMB	Training/ WS	Velez Promotion WS	From Jun to Dec in 2008	Eco Velez Promotion Working Group	7
94	VEL-UMB	Training/ WS	Eco Velez board meeting	Jun 23, Jul 22, Sep 1 in 2008	Persons concerns with Eco Velez	6
95	VEL-UMB	OJT	Promotion activity to the Dubrovnik Tourist Board	Oct. 15, 2008	Eco Velez Promotion Working Group, KPD Blagaj	3
96	VEL-UMB	Training/ WS	Velez English Course	From Nov to Dec in 2008	Persons concerns with the model projects in Velez area	28
97	VEL1*	Training/ WS	Blagaj Fishing Promotion WG	Jun 28, 2008	Fishing Association Blagaj	24
98	VEL1	OJT	Nevesinje Olympic	Aug 14-17, 2008	NYI, Agency KISIT	-
98	VEL1*	OJT	International Fishing Competition	Aug 16, 2008	Fishing Association Nevesinje/Blagaj	-
100	VEL1*	Training/ WS	Fly making training in Blagaj and Nevesinje	Aug 23-24 and Aug 30-31 in 2008	Fishing Association Nevesinje/Blagaj	24
101	VEL1*	Training/ WS	Canoe training in Abagovac lake	Nov 15-16, Nov 23, Dec 7 in 2008	Fishing Association Nevesinje	14
102	VEL2	Training/ WS	Velez Trail marking and guide training	11/1-2, 20, 12/7	Eco Velez Podvelez, Nature Observation group	9
103	VEL3	OJT	Blagaj Football match	From Jun 13 to Aug 1 in 2008	STK Blagaj	-
104	VEL3	Training/ WS	Rafting Skipper Training	Jul 26, 2008	STK Blagaj	5
105	VEL3	OJT	Blagaj Bike Tour	Sep 14, 2008	STK Blagaj	-
106	VEL3	Training/ WS	Blagaj Touristic Trail and Green Market	Nov 10-11, 2008	STK Blagaj, Blagaj Round Table	20
107	VEL4	OJT	International Folklore Festival	Aug 8, 2008	KPD Blagaj	-
108	VEL6	Training/ WS	Eco Historical Trail WS	Jun 19, Nov 19, Dec 4 in 2008	Blagaj Round Table	13
109	VEL7	OJT	Eco Farm Opening	May 31, 2008	Persons concerns with Eco Farm and Eco Velez	-
110	VEL7	Training/ WS	Eco Farm Cooking Service Training	Sep 20-21, 2008	Persons concerns with Eco Farm	4
111	VEL7	Training/ WS	Eco Farm Stone Treatment Training	Sep 23-25, Oct 6-2 in 2008	Persons concerns with Eco Farm	4

No. of model project	Training No.	Category	Title of training	Date	Target participants	Number of participants
112	VEL7	Training/ WS	Podvezec Training for Medical Herb	Nov 22-23, 2008	Persons concerned in Podvezec (local residents) area and Eco Farm	9
113	VEL7	Training/ WS	Podvezec Training for Wood and Wooten products	Wood: Nov 30, Dec 1-5, Dec 8 in 2008 Wood: Dec 2-4, 2008	Local residents in Podvezec and Eco Farm	15
114	VEL7*	Training/ WS	Workshop for making ceramic souvenirs	From Aug 26 to Sep 3, 2008	New members to KRUG Blagaj	5
115	VEL7*	Training/ WS	Workshop for making copper souvenirs	Nov 15-17, Nov 18-22 in 2008	New members to KRUG Blagaj	5
116	PLL_UMB	WS	Eco Pliva Board Meeting	Apr 1, May 11, Jun 4, Jun 16, 2009	Eco Pliva Board Member	9
117	PLL_UMB	WS	Pliva Monitoring Campaign WS	Apr 9, Apr 15, in 2009	Pliva Promotion WS, persons concerned with the model projects in Pliva area	7
118	PLL_UMB	WS	Presentation about Training in Japan on Eco Tourism and Strategic Regional Development	May 17, 2009	Persons concerned with the model projects and candidates	13
119	PLL_2	WS	Jajce Historical Guide Training (Level 2 & 3)	From May to June 2009	AGO of Jajce Municipality, Eco Pliva, and persons who want to become guide	-
120	PLL_3	WS	Pliva Country Lodging Board meeting	Mar 18, 2009	PCL Board member	4
121	VEL_UMB	OJT	Promotion on International Tourism Fair in Biograd	From Feb 26 to Mar 1, 2009	Eco Velez Promotion WG	2
122	VEL_UMB	WS	Promotion WG WS- Creation of Tour Package 1-3	Mar 17, Mar 29, Apr 1, 2009	Eco Velez Promotion WG	7
123	VEL_UMB	WS	Presentation about Training in Japan on Eco Tourism and Strategic Regional Development	May 23, 2009	Persons concerned with the model projects and candidates	27
124	VEL_UMB	WS	Velez Beautification Campaign	From May to June 2009	Eco Velez	140
125	VEL_UMB	WS	Velez Board Meeting	Jun 8, 2009	Eco Velez Board member	5
126	VEL_UMB	WS	Velez English Course	From May to June 2009	Eco Velez	16
127	VEL2	WS	Training for Nature Guide (Flora and Fauna)	May 29, 2009	Velez Nature Observation Group	14
128	VEL3	OJT	Canoe Safari on Bunilca River	Jun 17, 2009	STK Blagaj	50
128	VEL8	WS	Historical Eco Route in Blagaj WS	Mar 31, Apr 11, 2009	Blagaj Round Table	7
130	VEL7	OJT	Name the baby campaign	May 30, 2009	Eco Farm & KPQ Blagaj	-
131	VEL9	WS	Velez Monitoring Campaign WS	Apr 1, Apr 14, Jun 16, 2009	Velez Country Lodging, Eco Velez, Model Project Organizations	7
Total						1,214

Annex 8. Discussions on the regional development held with participation by the umbrella associations and model project implementing organizations

No. of model project	Title of activity	Date	Participants	Number of participants	Main contents
1 PLJ_UMB	WS for EU grant, application and guideline	Feb 28, 2008	Persons concerned with Eco-Pliva	4	Seek possibility to obtain financial resources necessary for the activities of the Eco Pliva through participating a seminar on the EU's grant aid application procedures
2 PLI_UMB	WS for Pliva Regional Plan Development through Eco Tourism	Mar 15, 2008	Persons concerned with Eco-Pliva	8	A workshop for preparation of regional development strategy and action plans for the Pliva area with instruction by the person invited from the Slovenia.
3 VEL6	Blagaj Round Table	Jan 17 and Mar 13, 2008	Persons concerned with the model projects in Velez area and NGOs concerned	16	Discussion on the preparation on regional tourism development strategy for the Velez area Velez, and collaboration and coordination among NGOs in the area. Also discussion on preparation of establishment of an umbrella association for the Velez area.
4 PLI_UMB	Pliva regional development plan WS	7/28, 8/29	Persons concerned with the model projects in Pliva area	11	Discussion on the regional development plan for the Pliva area, promotion activities with collaboration among the model projects, and discussion and coordination on promotion campaign activities.
5 PLI4	Trail Master Plan WS	Jun 10, Jul 30, Aug 28 in 2008	Persons of the organization related with tourism promotion in Pliva and persons in charge of the municipalities	15	Preparation of a trail plan for the Pliva area and discussion on the projects which will be requested to the organizations concerned for financial support. Preparation of a map for tourists
6 VEL6	Eco Historical Trail WS	Jun 19, Nov 19, Dec 4 in 2008	Blagaj Round Table	13	Preparation of a plan for improvement the Blagaj historical area such as planning of tourist route corresponding with the historical and environmental zoning which was proposed by the National Council for Heritage Protection, improvement of parking places, trail network, major tourist facilities such as the information center related facilities, souvenir shops, etc. Discussion on necessary institutional system for tourist promotion and historical heritage/ environmental protection. Preparation of a request document for financial support and discussion with the National Council for Heritage Protection on future plan.

Annex 9 List of the projects that the umbrella associations provided support in preparing financial assistance requesting documents that to be submitted to donor agencies or entity level governments

No	Project Name	Area	Requested to	Situation
1	Equipment for beautification for Pliva Area (Grant Assistance for Grassroots Projects by the Government of Japan)	Pliva	Embassy of Japan in BiH	Implemented
2	Establishing Fishing areas on the Bunica river/ Sports Fishermen Association Blagaj	Velez	UNDP	Implemented
3	Development of and ecological camp "Herzegovina" and promotion of tourism in South East Herzegovina/ Herceg Blagaj	Velez	UNDP	Approved but amount of financial support is not yet decided
4	Poverty reduction through sports tourism products STK Blagaj	Velez	UNDP	Implemented
5	Expanding souvenir production for the benefit of the tourism-offer/ KRUG Blagaj	Velez	UNDP	Implemented
6	Expansion of accommodation capacity of motel Sunce	Velez	UNDP	Approved but amount of financial support is not yet decided
7	Development of local specialty products in Jezero (Eco House Jezero)	Pliva (Jezero)	RS Ministry of Agriculture and Forestry	Implemented
8	Improvement of access road to upstream area of the Pliva river	Pliva (Sipovo)	RS Ministry of Trade and Tourism	Implemented
9	Sewage facility construction in Sipovo area	Pliva (Sipovo)	RS Ministry of Physical Planning and Ecology	Under examination
10	Financial Support for New Candidate of Pliva Country Lodging in Jajce	Pliva (Sipovo)	FBiH Ministry of Environment and Tourism	Under examination
11	Eco Farm	Velez	FBiH Ministry of Environment and Tourism	Under examination
12	KPD Blagaj - International Folklore Festival	Velez	FBiH Ministry of Environment and Tourism	Under examination
13	KRUG Blagaj - souvenir development	Velez	FBiH Ministry of Environment and Tourism	Under examination

In addition, the following 2 requests are under preparation.

(1) Equipment for beautification for Nevesinje area (Grant Assistance for Grassroots Projects by the Government of Japan)

(2) Mines removal in Mostar area (Grant Assistance for Grassroots Projects by the Government of Japan)

Annex 10 Activities related to promotion

No. of model project	Title of activity	Date	Participants	Number of participants	Brief contents of activities
1	International fair in Trebinje visit PLL_UMB VEL_UMB	Oct 27-28, 2007	Candidates who engage in the tourism promotion in both areas (Pliva and Velez)	4	Visit to the international fair that was held at Trebinje which focuses near border on Croatia and is a passage gate of tourists from the coastal areas, and collection of information useful for preparation of eco tourism promotion for the Pliva and Velez areas. And also visit to the country lodgings in Dubrovnik which is major tourist city in Croatia.
2	Eco Pliva Promotion WS and Compiling Necessary Information	Nov 22-23, 2007	Persons concerned with the model projects in Pliva area and candidates who engage in the tourism promotion	22	Preparation of basis for formulating a strategy for regional promotion
3	Eco Pliva: WS for Promotion Activity Plan Preparation and preparation of promotion materials	Jan 17, Jan 22, Jan 25, Jan 30 in 2008 and other	Member of the promotion working group of Eco-Pliva	8	Preparation of action plans for eco tourism promotion in Pliva area, information collection, preparation of documents, and preparation of promotion materials.
4	WS for EU grant, application and guideline	Feb 26, 2008	Persons concerned with Eco-Pliva	4	Seek possibility to obtain financial resources necessary for the activities of the Eco Pliva through participating a seminar on the EU's grant aid application procedures
5	Pliva Beautification Campaign	Apr 4-16, 2008	Persons concerned with youth associations, sport associations, schools in municipalities of Jajce, Jexero, Slpova	-	Implementation of the beautification campaign in the urban areas in the Pliva area (Jajce, Jexero and Slpova municipalities)
6	International fair in Nuvisad, Serbia Visit	Oct 12-13, 2007	Persons concerned with "Pliva Sports Activities"	2	Promotion activities at the international tourism fair at Nuvisad using a booth through distribution of various promotion materials, presentation etc.
7	Velez Promotion WS - Compiling Necessary Information	Nov 19-20, 2007 and Feb 20, 2008	Persons concerned with the model projects in Velez area and candidates who engage in the tourism promotion	12	Basic activities for preparation of regional promotion strategy
8	Promotion WS - Velez Website maintenance	From Oct to Dec in 2007	Person in charge of website operation and maintenance in Velez	7	OJT training on the web site maintenance, update, and open the new web site of Eco Velez.
9	Velez Beautification campaign - Eco Workshop	Feb 19, 21 and 22 in 2008	School students in Velez area	175	Awareness raising activities on environmental protection through conduction of workshops at the school in the Velez area and beautification campaign in urban areas
10	Velez Beautification campaign - Buna river	From Feb 29 to Mar 2, 2008	Persons concerned with STK Blagaj	31	Clean river side and bottom of Buna river before start of tourist season
11	Eco FAM Tour in Velez	Nov 25, 2007	Persons concerned with the model project in Velez area	-	Presentation of model project in Velez area and local special products such as cheese, honey and meat processed products to the persons invited from Sarajevo. This event was cosponsored by the Mostar municipal administration and Italian NGO.
12	FAM tour (JICA Alumni FU Program)	Jul 11-17, 2008	Eco-Pliva, Eco-Velez, JICA alumni, model project implementing organizations, and journalist of neighboring countries	-	With assistance by the JICA alumni association, journalists from the Slovenia, Poland, Slovakia, Czech, and Serbia were invited and a tour in the Pliva and Velez areas was conducted. The model project implementing organizations provided tourist products and accommodations of country lodging in order to promote sales of eco tourism of the Velez area to neighboring countries.

No. of model project	Title of activity	Date	Participants	Number of participants	Brief contents of activities
13	PLI_UMB Pliva Beautification Campaign	May 23, 2008	Eco Pliva and residents in the area	-	Clean activities targeted to the primary school students in Jelice, Jezero and Sipovo of the Pliva area in order to enhance awareness on beautification of the area.
14	PLI_UMB Pliva Promotion WG - Eco Pliva Website update	5月 ~ 12月	Eco Pliva Promotion WG	17	Preparation of strategy on regional promotion, discussion on the regular update of the web site of Eco Pliva, and modification of the web site to more attractive one. Collection of information from the model projects to be included in the web site.
15	PLI_UMB Eco Pliva promotion of region activity. Official visit to Tourist organization of RS (Banja Luka) and FBiH (Sarajevo)	7/24, 11/18	Eco Pliva and persons concerned with promotion	4	Presentation of tourist promotion activities in the Pliva area to tourist organizations of RS and FBiH, and create cooperative relationship with them
16	PLI_UMB Eco Pliva Tourism Plus Award	Sep 27, 2008	Eco Pliva and persons of tourism promotion organizations of other areas	1	Participation in the ceremony on "Tourism Plus", which is a TV program, a tourism patrol team visits tourist places and evaluates places. This TV program sponsored by the Ministries related with tourism in FBiH and RS. This was an opportunity to conduct tourism promotion of the Pliva area and make relationship with the persons concerned with tourism of the other municipal administrations.
17	PLI_UMB Welcome to Pliva Campaign	From Sep to Nov, 2008	Eco Pliva and persons concerned with the model projects in Pliva area	-	Integrated tourist products sales campaign, which are combined several model projects by initiative of the umbrella associations in Pliva and Velez. Discounted rate of accommodation fee (50% discount) at country lodgings in case that booking is made through web site in order to have increased clients.
18	PLI_UMB Eco Pliva School Visit (promotion)	From Sep to Dec, 2008	Eco Pliva	3	Sales promotion of the Pliva area as school excursions targeted to primary and secondary schools. (Distribution of promotion materials to the selected schools and communication to them.)
19	VEL_UMB Velez Promotion WG	From Jun to Dec in 2008	Eco Velez Promotion Working Group	7	Preparation of action plans for tourism promotion for the Velez area, preparation of promotion materials (brochure and leaflets etc.), and information collection for update of web site.
20	VEL_UMB Promotion activity to the Dubrovnik Tourist Board	Oct. 15, 2008	Eco Velez Promotion Working Group, KPD Blagaj	3	Promotion of tourism of the Velez area to the tourist organization in Dubrovnik where many tourists visit in recent years and make cooperation relationship with its.
21	VEL1* Blagaj Fishing Promotion WG	Jun 28, 2008	Fishing Association Blagaj	24	Workshop for preparing event plans for fishing at the Buna river for next summer tourist season. Conduction of school on fishing and competition on fishing with Nevesinje Fishing association.
22	PLI_UMB Pliva Monitoring Campaign WS	Apr 9, Apr 15, in 2009	Pliva Promotion WG, persons concerned with the model projects in Pliva area	7	Discussion on contents of planned promotion campaign and the integrated tourist products for campaign in the Pliva area
23	VEL_UMB Promotion on International Tourism Fair in Belgrade	From Feb 26 to Mar 1, 2009	Eco Velez Promotion WG	2	Promotion activity of tourism of the Velez area at the International Tourism Fair at Belgrade using a booth. Federal Ministry of Tourism and Environment provided assistance in participating this fair. Relation with other tourist organizations, tourist related agencies and media organizations was created and this relationship will be used for further promotion activities.
24	VEL_UMB Promotion WG WS- Creation of Tour Package1-3	Mar 17, Mar 25, Apr 1, 2009	Eco Velez Promotion WG	7	Creation of tour package by integrating various model projects in the Velez area including service fee setting and promotion measures etc.

Annex 11 Data related with the indicator 4-1 of the Output 4
Average participation rates are more than 70% to the persons expected in the training programs

WS: Workshop, OJT: On the Job Training, N.A.: data not available

No. of model project	Training No.	Category	Title of training	Date	Target participants	Number of participants	Planned number of participants	Participation rate (%)
1	3-1	Seminar	3rd Joint Seminar on Eco-tourism - Experience of Pliva Region's Progress	Jun 25-26, 2008	Administrative agencies related with tourism, persons concerned with the model projects, and persons engaged in tourism activities	54	60	90.0%
2	3-2	Seminar	4th Joint Seminar on Eco-tourism - Experience of Veljez Region's Progress	Nov 13-14, 2008	Administrative agencies related with tourism, persons concerned with the model projects, and persons engaged in tourism activities	110	100	110.0%
3	PLI_UMB	Training/ WS	Pliva regional development plan WS	7/26, 8/29	Persons concerned with the model projects in Pliva area	11	11	100.0%
4	PLI_UMB	Training/ WS	Pliva English training	From Sep to Nov, 2008	Persons concerned with the model projects in Pliva area	57	38	158.3%
5	PLI_UMB	Training/ WS	Pliva Financial Management Training	Nov. 16, 2008	Persons concerned with the model projects in Pliva area	5	16	21.3%
6	PLI1	Training/ WS	Rafting Skipper Training for Intermediate	Jun 26-28, 2008	Persons concerned with PSA, sport associations, and youth associations	20	20	100.0%
7	PLI1	OJT	Storage building (recreational equipment)	Dec 1-8, 2008	Persons concerned with PSA and local residents	10	10	100.0%
8	PLI1	Training/ WS	Fly Tying WS (Advanced)	Nov 27-30	Persons concerned with PSA and youth associations	15	15	100.0%
9	PLI1	Training/ WS	Mountaineering training	Dec 4-7, 2008	Persons concerned with PSA and NT1	12	15	80.0%
10	PLI2	Training/ WS	Jajce Historical & Tourist guide making	Dec 5-9, 2008	NGOs in Jajce, Eco Pliva and persons who want become guide	17	25	68.0%
11	PLI3	Training/ WS	Country Lodging Association WS (Board meeting)	Jun 9, Sep 9, Sep 29 in 2008	Members of the country lodging associations in Pliva	16	30	53.3%
12	PLI3	Training/ WS	Country Lodging Association Business Training	Oct 16-19, 2008	Members of the country lodging associations in Pliva and Eco Pliva	54	60	90.0%
13	PLI5	Training/ WS	Selection and education of families for herb farming	Jul 17, 2008	Farmers who want to produce herb	13	15	86.7%
14	PLI6	Training/ WS	Quality improvement WS: Beekeepers	Aug 5, Aug 30, Sep 13, Sep 27 in 2008	Beekeepers in the area	43	40	107.5%
15	PLI6	Training/ WS	Quality improvement WS: Pasta	Aug 7, 2008	Local residents who want to participate production activity	10	10	100.0%
16	PLI6	Training/ WS	Quality improvement WS: Cheese	Aug 27, Aug 29 in 2008	Cheese producers in the area	10	15	66.7%
17	PLI6	OJT	Participation to Zagreb Eco Ethno Fair	Sep 14-21, 2008	Persons concerned with Eco House (Jajce, Jezero)	2	2	100.0%
18	PLI6	Training/ WS	Quality improvement WS: Cabbage	Nov 4, 2008	Local residents who want to participate production activity	14	15	93.3%
19	PLI6	OJT	Marketing activities in Sarajevo (products of Eco House)	From Nov to Dec in 2008	Persons concerned with Eco House	1	1	100.0%
20	PLI6	OJT	Eco House Jajce Strategy planning /r/s	From May to Dec in 2008	Persons concerned with Eco House and legal advisor	2	2	100.0%
21	VEL_UMB	Training/ WS	Veljez English Course	From Nov to Dec in 2008	Persons concerned with the model projects in Veljez area	28	40	70.0%
22	VEL1*	Training/ WS	Fly making training in Blagaj and Nevesice	Aug 23-24 and Aug 30-31 in 2008	Fishing Association Nevesice/Blagaj	24	30	80.0%
23	VEL1*	Training/ WS	Canoes training in Alispovac lake	Nov 15-16, Nov 23, Dec 7 in 2008	Fishing Association Nevesice	14	15	93.3%
24	VEL2	Training/ WS	Veljez Trail marking and guide training	11/1-2, 20, 12/7	Eco Veljez Podvaltz, Nature Observation group	8	20	40.0%

No. of model project	Training No.	Category	Title of training	Date	Target participants	Number of participants	Planned number of participants	Participation rate (%)
25	VEL3	Training/ WS	Rafting Skipper Training	Jul 28, 2008	STK Blagaj	5	5	100.0%
26	VEL3	Training/ WS	Blagaj Touristic Trail and Green Market	Nov 10-11, 2008	STK Blagaj, Blagaj Round Table	20	20	100.0%
27	VEL6	Training/ WS	Eco Historical Trail WS	Jun 19, Nov 19, Dec 4 in 2008	Blagaj Round Table	13	13	100.0%
28	VEL7	Training/ WS	Eco Farm Cooking Service Training	Sep 20-21, 2008	Persons concerned with Eco Farm	4	4	100.0%
28	VEL7	Training/ WS	Eco Farm Stone Treatment Training	Sep 23-25, Oct 6-12 in 2008	Persons concerned with Eco Farm	4	5	80.0%
30	VEL7	Training/ WS	Podvelez Training for Medical Herb	Nov 22-23, 2008	Persons concerned in Podvelez (local residents) area and Eco Farm	8	5	160.0%
31	VEL7	Training/ WS	Podvelez Training for Wood and Woolen products	Wood: Nov 30, Dec 1-5, Dec 8 in 2008	Local residents in Podvelez and Eco Farm	5	8	63.3%
32	VEL7*	Training/ WS	Workshop for making ceramic souvenirs	From Aug 28 to Sep 3, 2008	New members to KRUG Blagaj	5	5	100.0%
33	VEL7*	Training/ WS	Workshop for making copper souvenirs	Nov 15-17, Nov 19-22 in 2008	New members to KRUG Blagaj	5	5	100.0%
34	PLI_UMB	WS	Eco Pliva Board Meeting	Apr 1, May 11, Jun 4, Jun 18, 2009	Eco Pliva Board Member	9	9	100.0%
35	PLI_UMB	WS	Pliva Monitoring Campaign WS	Apr 9, Apr 15, in 2009	Pliva Promotion WG, persons concerned with the model projects in Pliva area	7	10	70.0%
36	PLI_UMB	WS	Presentation about Training in Japan on Eco Tourism and Strategic Regional Development	May 17, 2009	Persons concerned with the model projects and candidates	13	30	43.3%
37	PLI_3	WS	Pliva Country Lodging Board meeting	Mar 18, 2009	PCL Board member	4	6	66.7%
38	VEL_UMB	OUT	Promotion on International Tourism Fair in Belgrade	From Feb 26 to Mar 1, 2009	Eco Velez Promotion WG	2	2	100.0%
39	VEL_UMB	WS	Promotion WG WS- Creation of Tour Package 1-3	Mar 17, Mar 25, Apr 1, 2009	Eco Velez Promotion WG	7	7	100.0%
40	VEL_UMB	WS	Presentation about Training in Japan on Eco Tourism and Strategic Regional Development	May 23, 2009	Persons concerned with the model projects and candidates	27	35	77.1%
41	VEL_UMB	WS	Velez Beautification Campaign	From May to June 2009	Eco Velez	140	150	93.3%
42	VEL_UMB	WS	Velez Board Meeting	Jun 9, 2009	Eco Velez Board member	5	7	71.4%
43	VEL_UMB	WS	Velez English Course	From May to June 2009	Eco Velez	16	15	108.7%
44	VEL2	WS	Training for Nature Guide (Flora and Fauna)	May 29, 2009	Velez Nature Observation Group	14	13	107.7%
45	VEL3	OUT	Canoe Safari on Brijuni River	Jun 17, 2009	STK Blagaj	50	50	100.0%
46	VEL6	WS	Historical Eco Route in Blagaj WS	Mar 31, Apr 11, 2009	Blagaj Round Table	7	13	53.8%
47	VEL9	WS	Velez Monitoring Campaign WS	Apr 1, Apr 14, Jun 16, 2009	Velez Country Lodging, Eco Velez, Model Project Organizations	7	7	100.0%
Total						909	967	93.9%

Annex 12 Data related with the Indicator 4-2 and 4-3 of the Output 4

Indicator 4-2: More than 70% of participants to the training programs satisfy the contents of training.

Indicator 4-3: More than 50% of participants to the training programs use the knowledge for their businesses or activities.

WS: Workshop, OJT: On the Job Training, N.A.: data not available

No. of model project	Training No.	Category	Title of training	Date	Target participants	Number of participants	Rate of satisfaction (%)	Rate of willing to apply (%)
PLI_LUMB	3-12	Training/WS	Eco Pliva WS Strategic development of Eco Pliva as regional eco-tourism service	Sep, 10, Dec 1, Dec 5 in 2008	Eco Pliva	10	86.9%	88.9%
PLI1	3-19	Training/WS	Fly Tying WS (Advanced)	Nov 27-30	Persons concerned with PSA and youth associations	15	100.0%	100.0%
PLI6	3-28	Training/WS	Quality improvement WS: Beekeepers	Aug 5, Aug 30, Sep 13, Sep 27 in 2008	Beekeepers in the area	43	81.3%	87.5%
VEL2	3-44	Training/WS	Velez Trail marking and guide training	11/1-2, 20, 12/7	Eco Velez Podvelez, Nature Observation group	9	75.0%	57.1%
VEL3	3-46	Training/WS	Rafting Skipper Training	Jul 26, 2008	STK Blagaj	5	100.0%	100.0%
VEL3	3-48	Training/WS	Blagaj Touristic Trail and Green Market	Nov 10-11, 2008	STK Blagaj, Blagaj Round Table	20	100.0%	100.0%
VEL7	3-52	Training/WS	Eco Farm Cooking Services Training	Sep 20-21, 2008	Persons concerned with Eco Farm	4	100.0%	100.0%
VEL7	3-53	Training/WS	Eco Farm Stone Treatment Training	Sep 23-25, Oct 6-12 in 2008	Persons concerned with Eco Farm	4	100.0%	100.0%
VEL7	3-54	Training/WS	Podvelez Training for Medical Herb	Nov 22-23, 2008	Persons concerned in Podvelez (local residents) area and Eco Farm	8	100.0%	100.0%
VEL7	3-55	Training/WS	Podvelez Training for Wood and Woolen products	Wood: Nov 30, Dec 1-5, Dec 8 in 2008 Wool: Dec 2-8, 2008	Local residents in Podvelez and Eco Farm	5	100.0%	100.0%
VEL7*	3-56	Training/WS	Workshop for making ceramic souvenirs	From Aug 28 to Sep 3, 2008	New members to KRUG Blagaj	5	100.0%	100.0%
VEL7*	3-57	Training/WS	Workshop for making copper souvenirs	Nov 15-17, Nov 19-22 in 2008	New members to KRUG Blagaj	5	100.0%	100.0%
Total						133	-	-

Annex 13 Evaluation Grid: Terminal Evaluation
The Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism in Bosnia and Herzegovina

Evaluation Grid

Evaluation criterion	Evaluation Question		Information/ data required	Information source	Data collection method
	Main Question	Sub Question			
Relevance	Necessity	Relevant to the needs of the target area and society? (Are needs of regional development through eco-tourism promotion high?)	<ul style="list-style-type: none"> Information about the needs of the target area and society 	<ul style="list-style-type: none"> 1) Related document and information 2) Government agencies concerned 	<ul style="list-style-type: none"> 1) Data review 2) Interview
	Priority	Are the aims of the Project relevant to the Development Plan of Bosnia and Herzegovina? (Importance of regional development through eco-tourism within the policies) Conformity with priority assistance subjects of Japanese Government and JICA.	<ul style="list-style-type: none"> Policy status or importance 	<ul style="list-style-type: none"> Government agencies concerned 	Interview
	Suitability as a means.	Was the project approach adequately for sustainable regional development through eco-tourism? For example, is the framework for collaborative activities among administrative agencies, private organizations and residents functioning effectively? Are there good results of capacity development on organizations concerned and persons concerned as expected? Are there any bottle necks or constraints for such capacity development?	<ul style="list-style-type: none"> Priority assistance subjects of Japanese Government for Bosnia and Herzegovina Opinions of persons concerned 	<ul style="list-style-type: none"> Assistance policy of Japan and JICA country-wise Implementation Plan 	Data review
Others	Have there been any changes in the circumstances of the Project (policies, economy, society, etc.) since the start of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> Information on policies, economy, and society of Bosnia and Herzegovina, and opinions of persons concerned 	<ul style="list-style-type: none"> Annual reports prepared by JICA experts JICA experts & persons concerned with the Project 	<ul style="list-style-type: none"> Annual reports prepared by JICA experts JICA experts & persons concerned with the Project 	<ul style="list-style-type: none"> 1) Data review 2) Interview

Evaluation criterion	Evaluation Question		Information/ data required (Table of achievement)	Information source (Table of achievement)	Data collection method (Table of achievement)
	Main Question	Sub Question			
Effectiveness	Degree of achievement of the Project Purpose The relation of cause and effect between the Outputs and the Project Purpose	Will the Project Purpose be achieved? Were the Outputs enough to achieve the Project Purpose? Were its no wonder in the logic that "the Project Purpose would be achieved if all the Outputs were achieved?"	Opinions of persons concerned	1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
	Influence of Important Assumption	Influence of following aspects for achieving the Project Purpose 1) Systems/ structures of administrative agencies related to eco-tourism promotion do not greatly change. 2) Participants to seminars and workshops continue to promote eco-tourism. 3) Relevant institutions continue to promote eco-tourism. 4) Relevant institutions and residents maintain the cooperation system with administrative agencies. 5) Resources related to eco-tourism are not environmentally changed/ damaged. 6) Counterpart personnel continue to engage in the Project activities.	Opinions of persons concerned	1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
Effectiveness	Factors promoted and hampered to achieve the Project Purpose	Factors promoted to achieve the Project Purpose. Factors hampered to achieve the Project Purpose.	Information of implementation process Opinions of persons concerned	1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
			Opinions of persons concerned	1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview

Evaluation criterion	Evaluation Question		Information/ data required (Table of achievement)	Information source (Table of achievement)	Data collection method
	Main Question	Sub Question			
Efficiency	Achievement of Outputs	Are the Outputs achieved?	(Table of achievement)	(Table of achievement)	(Table of achievement)
	The relation of cause and effect between the project activities and the Outputs	Unnecessary activities Activities that should have been involved in	Opinions of persons concerned Opinions of persons concerned	Japanese experts & C/Ps Japanese experts & C/Ps	Interview Interview
	Quality, quantity and timing of Inputs	Appropriateness about number, specialty, capability, duration, timing of dispatch of Experts.	<ul style="list-style-type: none"> Record of dispatch of Experts Opinions of persons concerned 	1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Questionnaire, Interview
		Appropriateness of trainings in Japan and in other countries (number of persons, training contents, and timing etc.)	<ul style="list-style-type: none"> Record of trainings 	1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
		Appropriateness about number, capability and timing of assignment of C/Ps.	<ul style="list-style-type: none"> Record of assignment of C/Ps Opinions of persons concerned 	1) Record of assignment of C/Ps 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
		Appropriateness about size and convenience of office space and facilities for the Project provided by Bosnia and Herzegovina.	<ul style="list-style-type: none"> Situation of office space etc utilized by the Project. Opinions of persons concerned 	1) Situation of office and equipment 2) JICA experts & persons concerned with the Project s	1) Site observation 2) Interview
		Appropriateness about budget allocated by Bosnia and Herzegovina side	<ul style="list-style-type: none"> Budget allocated by Bosnia and Herzegovina side to the Project. Opinions of persons concerned 	1) Data of budget allocation 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
	Are there factors promoted or hampered that influenced an efficiency of the Project.	Other factors influenced.	<ul style="list-style-type: none"> Opinions of persons concerned 	1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview

Evaluation criterion	Evaluation Question		Information/ data required (Table of achievement)	Information source (Table of achievement)	Data collection method (Table of achievement)
	Main Question	Sub Question			
Impact	Prospect of achievement of Overall Goal	Is there prospect that the overall goal will be achieved as an effect of the Project?	(Table of achievement)	(Table of achievement)	(Table of achievement)
		<p>Is the possibility high that the important assumptions from the Project Purpose to the Overall Goal are correct?</p> <p>1) Negative factors to eco-tourism promotion, such as ethnic conflict and terrorism, do not happen.</p> <p>2) Negative factors to eco-tourism promotion, such as economic crisis, do not get worse.</p> <p>Are the overall goal and the project objective consistent?</p> <p>(Is there no wonder in the logic that "the Overall Goal would be achieved as an effect of the achievement of the Project Purpose?")</p> <p>Are there any positive and negative impacts of the Project?</p>	<ul style="list-style-type: none"> Opinions of persons concerned 	<ul style="list-style-type: none"> JICA experts & persons concerned with the Project 	Interview
	Ripple effect (Impact) (prospect)		<ul style="list-style-type: none"> Opinions of persons concerned 	<ul style="list-style-type: none"> JICA experts & persons concerned with the Project 	Interview
			<ul style="list-style-type: none"> Opinions of persons concerned 	<ul style="list-style-type: none"> 1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project 	<ul style="list-style-type: none"> 1) Data review 2) Interview

Evaluation criterion	Evaluation Question		Informational data required	Information source	Data collection method
	Main Question	Sub Question			
Sustainability	Policy aspect	Will the project components be regarded important by the governmental agencies concerned in Bosnia and Herzegovina? (Will regional development through eco-tourism promotion be regarded important continuously after the project completion?)	<ul style="list-style-type: none"> • Policies of the governmental agencies concerned 	Managerial person of the administrative agencies concerned	Interview
	Institutional and organizational aspects	1) Will the assistance from the local governments to the umbrella associations, such as personnel and financial assistance, be continued? What the effect of the election of local governments which is conducted every two years? 2) Do the umbrella associations have appropriate organizational structure and function for continuing their activities?	<ul style="list-style-type: none"> • Opinions of persons concerned 	JICA experts & persons concerned with the Project	Interview
	Financial aspect	1) Can the umbrella associations secure necessary fund for carrying out continuously? (Can the umbrella associations obtain financial support from the administrative agencies or private organizations concerned?) 2) Can the model project implementing organizations obtain necessary fund for continuing and/or expanding their activities? 3) Can private organizations obtain fund necessary for starting new eco-tourism related project? Can the umbrella associations or administrative agencies provide support to the private organizations for obtaining fund for new projects?	<ul style="list-style-type: none"> • Opinions of persons concerned 	JICA experts & persons concerned with the Project	Interview
	Technical aspect	Have the umbrella associations acquired necessary capacity to conduct its function for eco-tourism promotion as collaborative organization between administrative agencies and private organizations? Have the umbrella associations acquired operation and management capacity in sustainable way? Can the model project implementing organizations operate and manage their model projects smoothly? Have they acquired project management capacity in sustainable way?	<ul style="list-style-type: none"> • Opinions of persons concerned 	JICA experts & persons concerned with the Project	Interview
	Facilitating and hampering factors	What are major factors that facilitated or hampered the sustainability, or could facilitate or hamper in future?	<ul style="list-style-type: none"> • Opinions of persons concerned 	1) Annual reports prepared by JICA experts, etc. 2) JICA experts & persons concerned with the Project 3) Persons concerned with the model project implementing organizations • JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview 3) Interview, questionnaire

2. Implementation Process

Evaluation Question		Sub Question	Information source	Data collection method
Main Question				
Were there any modification of project plan, implementation structure for accomplishing initial target of the Project?	Were there any problems on progress of implementation? How those problems solved?		1) Preparatory study report, annual reports prepared by JICA experts, etc. 2) JICA experts & persons concerned with the Project.	1) Data review 2) Interview
Appropriateness of methodology of technical transfer	Were there any problems on methodology of technical transfer? If available, what kinds of problems. How those problems solved?		JICA experts & persons concerned with the Project	Interview
Ownership of Turkish side	1) Appropriateness of allocation of C/P's 2) Recognition of the Project by the project implementing agencies and persons concerned with the Project		1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
Project management system	Have JCC (Joint Coordinating Committee) meetings been held at appropriate timing with appropriate themes. Have other periodical or regular meetings (technical committee meetings and monthly meetings) functioned well? Appropriateness of project monitoring system		1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project	1) Data review 2) Interview
	Appropriateness of communication between Japanese experts and persons concerned with the Project. Relationship among the Project, JICA Balkan and JICA headquarters		1) Annual reports prepared by JICA experts 2) JICA experts & persons concerned with the Project JICA experts & persons concerned with the Project JICA experts	1) Data review 2) Interview Interview Interview

3. Table of achievement: (Achievement of the Overall Goal, Project Purpose and Outputs at the time of evaluation)

Achievement	Items		Information/ data required (Indicators)	Information source	Data collection method
	Main items	Sub items			
Achievement	Prospect of achievement of the Overall Goal The Institutional Systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.		1. The cooperation system among administrative agencies, relevant organizations and residents continues to function and some activities are actually carried out.	1-1 Mainly records of umbrella associations and records of relevant administrative agencies and model project implementing organizations 1-2 Umbrella associations, relevant administrative agencies and persons concerned with model project implementing organizations 1. example of collaborative activities	Data review Interview Data review, Interview
		Achievement of the Project Purpose Human recourse is developed and institutions/ organizations are strengthened in order to promote regional development through eco-tourism both at administrative and private levels in the target areas.	1. Administrative agencies, umbrella associations and model project implementation organizations are able to take various measures for eco-tourism promotion under their collaboration. 2. More than half of the model project implementation organizations (17) have acquired capacity to operate and manage model projects in sustainable way.	2. Umbrella associations, persons concerned with model project implementing organizations and JICA experts 1. Records of seminars and training programs	Interview Data review
	Are Outputs producing as planned?	1. The purpose of eco-tourism as a measure for regional development, and knowledge and skills on eco-tourism are understood by relevant personnel. 2. Cooperation system is established between administrative agencies and private sector to jointly promote eco-tourism	1. The number of personnel who understood knowledge and skills on regional development through eco-tourism promotion among administrative agencies, relevant organizations and residents. 2-1 Umbrella associations which are composed of administrative agencies and private sector are set up. 2-2 Meetings of umbrella associations are held at least 4 times per year. 2-3 Private organizations involved in the model projects are satisfied with activities of umbrella associations. 2-4 Meetings of relevant administrative agencies such as central, entity and municipal administrations are held regularly. 3-1 Results of the discussions on the regional development by the umbrella associations and number of projects that the umbrella association provided support in preparing financial support requesting document for submitting to donor agencies and entity level governments	2-1 Records of the project team 2-2 Records of meetings 2-3 Persons concerned with model project implementing organizations 2-4 Records of meetings 3-1 Records of discussions and documents on project proposals for financial request	Data review Data review Interview Data review
	3. Organization and personnel capable of formulating development strategies and supporting implementation of projects for eco-tourism promotion are developed.				Data review

Items		Information/ data required (Indicators)	Information source	Data collection method
Main items	Sub items			
		<p>3-2 Results of integrated promotion activities for the eco-tourism promotion for the target areas by the umbrella associations</p> <p>4-1 Average participation rates are more than 70% to the persons expected in the training programs</p> <p>4-2 More than 70% of participants to the training programs are satisfied with the contents of training.</p> <p>4-3 More than 50% of participants to the training programs use the knowledge for their businesses or activities.</p> <p>5. Guideline for regional development through promotion of eco-tourism</p>	<p>3-2 Achievements of promotion activities</p> <p>4-1 Records of the project team</p> <p>4-2 Results of questionnaire at the trainings</p> <p>4-3 Persons concerned with this project</p> <p>5. Guideline for regional development</p>	<p>Data review</p> <p>Data review</p> <p>Data review</p> <p>Interview</p> <p>Data review</p>
	<p>4. Personnel capable of engaging in the main fields of eco-tourism, which include developments of local agricultural products, country lodging, preservation and utilization of historical/cultural heritage, sports activities are developed.</p> <p>5. Regional development models through promotion of eco-tourism are compiled as a guideline.</p>			

Project Name: The Project for Sustainable Regional Development through Eco-Tourism in Bosnia and Herzegovina
Southern and Northern Regions

PDM

Duration: 3 years

Narrative Summary Overall Goal	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>The institutional systems organized by the Project continue to be managed jointly by administrative agencies and the people concerned.</p>	<p>1 The cooperation system among administrative agencies, relevant institutions and residents continues to function and some activities are actually carried out.</p>	<p>1-1 Activity record 1-2 Interview with relevant personnel</p>	
<p>Project Purpose Human resource is developed and institutions/organizations are strengthened in order to promote regional development through eco-tourism both at administrative and private levels in the target areas.</p>	<p>1 The number of personnel who obtain proper knowledge and new skills in terms of eco-tourism promotion increases among administrative agencies, relevant institutions and residents. 2 Administrative agencies are able to take various measures for eco-tourism promotion on their own initiative. 3 The number of opportunities to involve in eco-tourism promotion activities jointly by administrative agencies, relevant institutions and residents increases.</p>	<p>1-1 Interview with relevant personnel 1-2 Record of each workshop and seminar 2 Interviews at administrative agencies 3 Records of workshops and seminars</p>	<p>· Negative factors to eco-tourism promotion, such as ethnic conflict and terrorism, do not happen. · Negative factors to eco-tourism promotion, such as economic crisis, do not get worse.</p>
<p>Outputs 1 The purpose of eco-tourism as well as knowledge and skills on regional development measures are understood by relevant personnel.</p>	<p>1-1 Seminars and workshops are held to spread eco-tourism. 1-2 Participants to the above seminars and workshops understand the purpose of eco-tourism and regional development 1-3 Relevant personnel obtain proper knowledge regarding eco-tourism.</p>	<p>1-1 Records of workshops and seminars 1-2 Interview with participants, questionnaire 1-3 Interview with relevant personnel</p>	<p>1 Systems/structures of administrative agencies related to eco-tourism promotion do not greatly change. 2 Participants to seminars and workshops continue to promote eco-tourism. 3 Relevant institutions continue to promote eco-tourism.</p>

<p>2 Functions/relations of eco-tourism related institutions/organizations as well as problems and potentials of each institution/organization are clarified.</p>	<p>2 Quality of institutional analysis is evaluated fair.</p>	<p>2 Evaluation report on the institutional analysis prepared by relevant personnel</p>	<p>4 Relevant institutions and residents maintain the cooperation system with administrative agencies.</p> <p>5 Resources related to eco-tourism are not environmentally changed/damaged.</p> <p>6 Counterpart personnel continue to engage in the Project activities.</p>
<p>3 Measures for institutional strengthening to promote eco-tourism are clarified.</p>	<p>3 Some specific activities for institutional strengthening are carried out by part of relevant institutions.</p>	<p>3-1 Activity record of relevant institutions 3-2 Interview at relevant institutions</p>	
<p>4 Cooperation system is established between administrative organizations and residents to jointly promote eco-tourism.</p>	<p>4-1 At least 4 regular meetings are held per year between administrative institutions and residents. 4-2 Personnel in charge of supporting private groups and residents are properly allocated at governmental agencies. 4-3 The number of co-operations between administrative agencies and the private sector, such as tourism fairs and web-site operations, reaches at least 3 times per year.</p>	<p>4-1 Records of meetings 4-2 Interview at relevant administrative and private institutions 4-3 Records of tourism fairs, frequency in the use of website</p>	
<p>5 Drafts of action plans are established to promote eco-tourism.</p>	<p>5 Action plans are evaluated fair by relevant personnel.</p>	<p>5-1 Document on the action plans 5-2 Evaluation by relevant personnel</p>	
<p>6 Personnel capable of establishing strategies and specific plans of eco-tourism promotion are developed through Output 5.</p>	<p>6-1 Counterpart personnel are able to moderate participatory workshops by themselves.</p>	<p>6-1 Records of workshops</p>	

<p>7 Personnel capable of engaging in the main fields of eco-tourism, which are developments for local agricultural products, country lodging, preservation of historical/cultural heritage, sports activities, are developed.</p>	<p>6-2 Participants to seminars sufficiently understand the methodologies of economic/social analysis to establish plans.</p> <p>7 Selected pilot projects are well managed.</p>	<p>6-2 Records of seminars, questionnaire</p> <p>7-1 Interview with personnel related to pilot projects</p> <p>7-2 Activity record</p>	
<p>Activities</p> <p>1-1 1-1 Hold seminars and workshops on eco-tourism.</p> <p>1-2 Dispatch relevant personnel to training courses, conferences and seminars held both in BiH and abroad.</p> <p>1-3 Issue pamphlets, prepare and manage the existing websites.</p> <p>2-1 Clarify various factors (laws, regulations, institutions, etc.) on eco-tourism promotion.</p> <p>2-2 Make analysis on institutions related to eco-tourism promotion.</p> <p>3-1 Establish plans for strengthening institutions related to eco-tourism promotion, based on the above institutional analysis.</p> <p>4-1 Clarify specific roles of administrative agencies, relevant institutions and residents, by holding workshops, based on plans for strengthening institutions.</p>	<p>Inputs</p> <p>Japanese side</p> <p>1. Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> - Tourism development planning - Tourism Promotion <p>Marketing</p> <p>Preservation of historical and cultural heritages</p> <p>Preservation of natural environment and eco-tourism activities</p> <p>Finance</p> <p>2. Acceptance of BiH counterpart personnel for training in Japan and other countries</p>	<p>BiH side</p> <p>1. Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> - State and Entity governments - Tourism Communities/Organizations - Municipalities 	<p>1 Systems of administrative agencies related to eco-tourism promotion do not greatly change.</p> <p>2 Participants to seminars and workshops continue to promote eco-tourism.</p> <p>3 Relevant institutions continue to promote eco-tourism.</p> <p>4 Relevant institutions and residents maintain the cooperation system with administrative agencies.</p> <p>5 Resources related to eco-tourism are not environmentally changed/damaged.</p> <p>6 Counterpart personnel continue to engage in the Project activities.</p>
<p>Pre-conditions</p> <p>1 Relevant institutions/organizations agree with their involvements in the Project activities.</p>			

<p>4-2 Hold seminars and workshops in order to explain the roles and to promote specific activities of each institution.</p> <p>4-3 Prepare a common venue to hold eco-tourism network meetings among administrative agencies, relevant institutions and residents.</p> <p>4-4 Hold tourism fairs and establish website jointly by administrative agencies, relevant institutions and residents.</p> <p>5-1 Review the results of the Development Plan Study and establish action plans to carry out specific projects.</p> <p>6-1 Hold participatory workshops to establish action plans.</p> <p>6-2 Hold seminars on the measures for economic/social analysis to establish action plans.</p> <p>7-1 Monitor pilot projects implemented during the Development Study and analyze their problems and potentials.</p> <p>7-2 Transfer technologies for human resource development and institutional/organizational strengthening, based on the above analysis.</p>	<p>Office space</p> <p>Office equipment (desks, chairs, telephones, fax machines, etc.)</p> <p>3. Local cost</p>	<p>2. Sufficient budget and personnel are allocated for the Project implementation by administrative agencies.</p>
<p>3. Equipment and other materials, if necessary</p> <p>4. Local Cost</p>		

ボスニア・ヘルツェゴビナ国 エコツアーリズムを中心とする持続可能な地域振興プロジェクト 終了時評価

1. 評価グリッド

5 項目 その他	評価設問		調査結果
	大項目	小項目	
妥当性	必要性	対象地域・社会のニーズに合致しているか (エコツアーリズムを中心とした地域振興のニーズ)	本プロジェクトの対象地域（ブリバ地域とベレズ地域）では、失業率が高いため、関係市役所は、観光開発を重点分野の一つと考えている。プロジェクト対象地域には、エコツアーリズム開発において豊富な資源がある、その開発ポテンシャルは高い。そのエコツアーリズムのポテンシャルが適切に開発されれば、地域住民に雇用機会創出や追加の収入源となりうる。したがって、本プロジェクトは、対象地域や地域住民のニーズに合致していると言える。
	優先度	被援助国の開発政策との整合性はあるか (エコツアーリズムを中心とした地域振興が優先課題として位置づけられているか)	ボスニア・ヘルツェゴビナ国の新しい開発戦略（2008-2013）は、作成中である。エンテティイ政府レベルでは、最近、ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦が観光開発戦略 2008-2018 を公表している。なお、両エンテティイ政府の関連省庁は、観光開発関連プロジェクトに対する資金支援を行っており、本プロジェクトの複数のモデルプロジェクトが資金支援を受けている。これらの事実や状況を考えると、観光開発を通じた地域開発はより重要視されつつあると見られる。したがって、本プロジェクトは、ボスニア・ヘルツェゴビナ国政府の開発政策の概ね合致していると言える。
		日本の援助政策・JICA 国別事業実施計画との整合性はあるか。	我が国のボスニア・ヘルツェゴビナ国に対する援助重点分野は、①市場経済化支援、②環境分野支援、③へ大和定着支援である。これらの重点分野の中では、地域経済振興、エコツアーリズム振興、経済行政機関のキャパシティ・ビルディングが重要視されている。したがって、本プロジェクトは、我が国の援助政策と整合性がある。
	手段としての適切性	本プロジェクトのアプローチは、エコツアーリズムを中心とする持続可能な地域振興を図る上で、適切なものであったかどうか。具体的には、関連行政機関と住民あるいは住民組織との協働体制を構築し、それら関連組織の組織能力強化と人材育成を図るといったアプローチが当初の想定どおり効果を上げているかどうか。また、ネットワークや課題となる点があったかどうか。	本プロジェクトの重要なアプローチの一つは、行政機関と民間の住民組織が協働で活動する枠組み（組織）を設け、その組織が機能するようにすることである。官民双方のメンバーで構成されるアンブレラ組織がブリバ地域（エコ・ブリバ）とベレズ地域（エコ・ベレズ）それぞれに設立された（実際には、エコ・ブリバは、JICA の開発調査時に作られ、一時休眠化していたものの活性化が図られ、エコ・ベレズは新規の組織化から開始された）。アンブレラ組織の総会や役員会のメンバーは、プロジェクト対象地域の市役所の代表とモデルプロジェクト実施団体の代表等で構成されている。総会と役員会に加えて、2名の常勤職員からなる事務局がある。これらアンブレラ組織による協働体制は、プロジェクト対象地域の市役所間の協力促進や地域住民団体間の連携促進を図る上で一定の機能を果たしている。ただし一方で、市役所の人的状況あるいは財源状況によって、ネガティブな影響を被っており、この協働体制の枠組みを改善する余地があり、協働体制のリスク要因である。
その他		協力開始当初と比べてプロジェクトを取り巻く環境（政策、経済、社会など）に変化はないか	政界の経済危機の影響を受けて、今年は前年に比べて、外国からの観光客数の減少が見られるものの、観光シーズンがスタートしたばかりであり、その影響はまだ明らかになっていない。政治や社会状況等については、特に大きな変化は生じていない。

5 項目 その他	評価設問		調査結果
	大項目	小項目	
有効性	プロジェクト目標の達成度合い	プロジェクト目標の達成状況	本プロジェクトに関連する人材ならびに組織は着実に強化されていると考えられる。さらなる能力強化の余地はあるものの、全般的に言って、プロジェクト目標は満足できる水準で達成されていると見えても差し支えないであろう。
	アウトプット(成果)とプロジェクト目標の因果関係	アウトプット(成果)は、プロジェクト目標を達成するために十分であったか、「アウトプットがすべて達成されればプロジェクト目標は達成される」という論理に矛盾はないか	
	外部条件の影響	以下の外部条件の影響があったかどうか。あったとすれば、どの程度目標達成に影響しているか。 <ul style="list-style-type: none"> ● エコツアーリズム地域振興のための行政の組織体制が大きく変化しない。 ● セミナーやワークショップの参加者が継続的にエコツアーリズム地域振興に関わる。 ● モデルプロジェクト実施団体関係者について述べると、セミナーやワークショップ参加を通じて能力強化が行われ、学んだ知識や技能をエコツアーリズム活動に活用している団体もあれば、あまり活動が活発でない団体もある。 ● エコツアーリズム地域振興にキーポイントでもあり、このようない人材が確保できるかどうか左右される。 ● 「関連団体が継続的にエコツアーリズム地域振興に関わる」についてこれらも上記と同様に、リーダーシップを発揮できる人材が育つかどうかポイントでもあり、このようない人材が確保できるかどうか左右される。 ● 「関連団体、住民が行政との協働体制を維持する」についてプロジェクト期間中は、JICA 専門家の継続的支援があるので、アンブレラ組織は各種の問題点を抱えつつもなんとかその協働体制を維持している。ただし、プロジェクト終了後も現在の協働体制を維持することは困難と思われる。 	

		<ul style="list-style-type: none"> • エコツアーリズム資源の大きな環境変化が発生しない。 • カウンターパートが業務を継続する。 	<p>(5) 「エコツアーリズム資源の大きな環境変化が発生しない」について エコツアーリズム資源（文化歴史的遺産、自然資源等）は、豊富な地域であり、産業発展等によって環境劣化が急速に進むと言った経済状況にはないので、大きな環境変化は生じていない。</p> <p>(6) 「カウンターパートが業務を継続する」について 本プロジェクトでは、カウンターパートが誰であるのか、特定されていない。行政機関側からプロジェクト・ダイレクターやプロジェクト・マネージャーを配置する計画であったが、行政機関側の人員不足等の理由により配置されていない。</p>
阻害・貢献要因	プロジェクト以外に貢献する要因はあるか（政策、政府による事業、経済状況の変化、自然条件等の要因はあったか。その他の要因はあったか。）		特になし。
	プロジェクト目標を阻害する要因はあるか		特になし。

5項目 その他	評価設問		調査結果
	大項目	小項目	
効率性	アウトプット（成果）の達成度	アウトプットは達成されているか	和文報告書本文に記載のとおり。
	活動とアウトプット（成果）の因果関係	不要な活動はなかったか 必要なのに予定していなかった活動はなかったか	特になし。 特になし。
	投入の質・量・タイミング	専門家派遣の人数、専門分野・能力、派遣のタイミング・期間は適切か。	9分野のJICA 専門家と業務調整が派遣されている。分野は、①総括/観光開発計画、②副総括/組織分析・強化、③観光プロモーション、④観光マーケティング戦略、⑤資金計画、⑥歴史文化遺産保全、⑦自然環境保全及びエコツアーリズム活動、⑧人材育成、⑨モデルプロジェクト管理、である。プロジェクト終了時までの予定MMは、計72.33である。 コンサルタント委託型の技術協力案件であるというスキームの性格上致し方ないのかもしれないが、JICA 専門家の派遣は、細切れであり点が気にかかるものの、派遣人数、専門分野、派遣のタイミング等はおおむね適切なものであったと思われる。

<p>供与機材の種類、量、供与時期は適切か。</p>	<p>プリバ (Piva) 地域とベレズ (Velez) 地域のアンブレラ組織用ならびに引述設けた JICA 専門家プロジェクト事務所用にコンピュータ等の事務機器が調達され、また、モデルプロジェクト向けの機材が調達された。機材リストは、ミニッツの Annex4 参照のこと。</p> <p>モデルプロジェクトによっては、UNDP あるいは政府機関からの資金支援を受けて必要な機材・道具を調達しているケースもある。これは、本プロジェクトにおいて、資金支援申請書作成能力向上も含めて支援した結果ではある。技術協力プロジェクトの枠組み内で支援できる量は限られているので、本プロジェクトのように、数多くのモデルプロジェクトを平行して実施し、それぞれのモデルプロジェクトに必要な機材や機器を整備しようとする、適切な時期に適切な質・量の機材・設備を整備できるかどうか、見通しが付けにくいという欠点を持つ。実際、モデルプロジェクトの中には、これから機材が調達される見込みのものもあった。本来民業であるところのモデルプロジェクトに技術協力スキームの予算から多額の資金を無償で投入することは、困難であるということ、そして、約 3 年間という限られたプロジェクト期間にモデルプロジェクトの計画を立てて、必要な機材・設備を調達・整備し、実際に事業を運営し、軌道に乗せるという所まで行うには、技術協力プロジェクトとしては限界があると思われる。本来民業であるべき各モデルプロジェクト向けの機材・設備整備に必要な資金は、無償の形態ではなく、有償の形で投入できることが望ましいと考えられる。一方で、エコソーツム自体は、大きな収益を生む事業に育つかどうか解らないものであり、また、モデルプロジェクト実施団体の多くが、非営利団体としての登録を行っているので、営利事業を行うには矛盾を抱えている状況である。</p>
<p>研修員受け入れの人数、内容、時期などは適切か。</p>	<p>本プロジェクトの枠組み内での研修受入はなかったが、別途、JICA が設けた「エコソーツムと地域開発戦略」と題する本邦研修に、本プロジェクトの関係者 8 名が参加した。詳細はミニッツの Annex 5 を参照のこと。</p>
<p>カウンタートパートの人数、配置のタ イミミング、能力は適切か。</p>	<p>当初の PDM には、カウンタートパート人員として 1) 中央政府及びエンティティ政府、2) 観光関連コミュニティ組織、3) 市役所と記載されている。そして、プロジェクト開始前の両国間の取り決め(R/D)では、関連省庁からプロジェクト・ダイレクターとプロジェクト・マネージャーを出すことになっていったが、関連省庁の職員は人教的に限られており、多忙であることなどの要因のため、カウンタートパートの配置は行われなかった。ただし、本プロジェクトのために設けられた、合同調整員会、技術委員会へは関係省庁から関係者が参加している。市役所からは、技術委員会参加やアンブレラ組織の総会あるいは役員会のメンバーとしての参加があった。観光関連コミュニティ組織については、モデルプロジェクト実施団体として、各種研修への参加、アンブレラ組織の総会あるいは役員会のメンバーとしての参加、技術委員会や合同調整員会の会議への参加などがあった。</p> <p>なお、本プロジェクトにおける能力強化の対象は、実質的には、アンブレラ組織関係者とモデルプロジェクト実施団体関係者であった。具体的にエコソーツム振興を成功に導き、地域振興に寄与するには、モデルプロジェクト実施団体等のコミュニティ組織のキャパシティアップメントに重点を置くと言った方針は十分理解できるものであるが、持続性のあ るエコソーツム振興を目指すには、民間だけでは限界があり、どうしても関連行政機関がエコソーツム振興に関与する必要があると思われる。なお、行政機関の陣容・予算が極めて限定的であり、本プロジェクトの活動に長時間従事できない状況にあるであろうということも理解するもの、もう少し、行政機関側の能力強化やオーナーシップ醸成が図れるような実施体制が構築されることが望ましいと思われる。</p>

<p>ボスニア・ヘルツェゴビナ側提供の事務室・施設等の規模、利便性は適切か。</p>	<p>アンブレラ組織の事務所スペースについては、プリバ地域の場合、JICA の開発調査時にヤイツェ市が所有する土地の上に建設した建物 3 棟のうち 1 棟をエコ・プリバ用事務所として提供を受けて使用している（他の 2 棟はエコハウス用に利用）。ベレズ地域の場合、エコ・ベレズ用の事務所は、モスタル市役所のブラガイ支所内のスペースを事務所として提供を受けている。</p> <p>なお、ボスニア・ヘルツェゴビナ国側から JICA 専門家チーム用の事務室の提供はないもの、プリバ地域では、シポボ市内に、またベレズ地域では、モスタル市内に場所を借りている。JICA 専門家チーム用の事務所は、地域的バランスを考慮して、アンブレラ組織の事務所とことなる市に置いている。（ヤイツェ市とシポボ市間は、車で約 30 分で、モスタル市とブラガイ支所間は車で約 20 分の距離にある）</p>
<p>ボスニア・ヘルツェゴビナ側のプロジェクト向け予算は適切な規模か。適切なタイミミングで支出されたか。</p>	<p>両地域のアンブレラ組織（エコ・プリバとエコ・ベレズ）の事務所運営に要する光熱費、電話代、事務局職員の給与は、関係の市役所が負担している。プリバ地域のエコ・プリバの場合は、Sipovo 市役所、Jezero 市役所、Jajce 市役所、Velez 地域のエコ・ベレズの場合は、Mostar 市役所、Nevesinje 市役所が負担している。なお、最近では、市役所からの上記の負担金（協力金）支出が滞りがちとなっている。</p>

<p>効率性を促進する いは阻害する 要因はあるか</p>	<p>その他の要因はあるか。</p>	<p>効率性を大きく阻害するといった影響は見られないものの、プロジェクト開始当初に実施された、ベースライン調査（現地ローカルコンサル委託）及び関係者分析等については、不十分な結果となっている。</p> <p>(1) ベースライン調査について 第一年度業務計画書 (P.19) では、「表 2.1.4 に示す、成果目標の進捗状況・達成状況のモニタリングを目指し、同表に示された成果目標の現状(業務開始時)をベースライン・データとして把握するため、第一年度の現地調査期間中に、地元コンサルタントに委託して調査することを提案する。」と記載されているが、JICA 専門家チームの話によると、作成されたベースライン調査報告書は使えないものであったとのこと。そのことも影響していると思われるが、本プロジェクトの目指すところの成果目標の設定がなされていない。そのため、プロジェクト活動の進捗が計画どおりであるのか、遅れているのか、目標や指標に基づいての説明が十分でなく、各年度の業務完了報告書と呼んただけでは、あまり明確に進捗状況を理解できない。</p> <p>(2) 関係機関の組織分析と関係者分析 第一年度業務計画書 (P.24) では、「本件業務の関係者は、中央から地方自治体にいたる機構改革中の行政組織、観光関連機関、地域の CBO や NGO 等の民間団体、住民と多岐にわたっている。関係者分析に先立ち、事前に 1) 基礎的資料（制度組織等の文献）の収集と分析、2) ヒアリング（関係機関、南北両モデル地域関係者）を実施し、本業務に関連する各組織の機能、役割、問題点、潜在力を明らかにできるよう支援する。」と記載されている。</p> <p>これについては、第一年度の業務完了報告書で次のように記載されている。「本件業務の関係者は、中央から地方自治体にいたる機構改革中の行政組織、観光関連機関、地域の CBO や NGO 等の民間団体、住民と多岐にわたっている。関係者分析に先立ち、事前に 1) 基礎的資料（制度組織等の文献）の収集と分析、2) ヒアリング（関係機関、南北両モデル地域関係者）を実施し、本業務に関連する各組織の機能、役割、問題点、潜在力を明らかにできるよう支援する」</p> <p>これに関する分析結果は、一年時業務完了報告書 (P.7) に記載があるものの、中央政府、エンティティ政府、市役所の組織分析（陣容、役割、権限、予算など）や本プロジェクトにどの程度参画可能なのかなどについての分析は不足している。技術協力プロジェクトにおいては、相手国政府側のオーナーシップを醸成しつつ、行政機関側への技術移転を日常的に行うことも期待されているので、結果的に、この点については、相手国側行政機関の参加度を高めたり、オーナーシップを醸成したりすることがあまりできなかったと言える。プロジェクト活動の効率性を高める上では、相手国側政府機関の主体的な傘下やオーナーシップを醸成することが必要であると考ええる。</p> <p>また、本件は、キャパシティ・デベロップメントを意図した技術協力であったので、関係者の能力向上についてプロジェクト開始時の状況とプロジェクト終了時の目標設定を行っておくべきであったと考える。</p> <p>(3) 個々のモデルプロジェクトの基本計画と目標設定 個々のモデルプロジェクトについては、参加型での計画・実施を基本方針に進めていることも影響しているが、それぞれのモデルプロジェクトの最終的形が必ずしも明確になっていない。投入できる JICA 側の投入に限られ、UNDP やエンティティ政府等の資金支援に頼らざるを得ないという状況の下では、致し方ない面もあるが、少なくとも、個々のモデルプロジェクトの基本計画とその最終的目標あるいは最終的なプロジェクト内容が設定されていて初めて、個々のモデルプロジェクトのモニタリングが可能となるし、達成度の評価も可能となる。そういった意味で、基本計画が明確に文書化されていないため、個々のモデルプロジェクトの進捗状況や達成状況を計画との比較の上で、判断することが難しかった。この点については、今後、同様の技術協力プロジェクトを実施する際には、改善することが求められる。</p>
---------------------------------------	--------------------	--

		<p>(参考、第一年時業務完了報告書 (P.7) の記載の転記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 両地域にて関係者参加型ワークショップを12回実施し、さらに関係者と面談して関係組織とその連携方法等について情報収集と議論を行った。 ● 関係団体はそれぞれに財源、人材、ノウハウ、管理能力などの問題を抱えている一方で、RS側のシボポに観光協会が設置され、ネベシニエを含む6市をカバーする観光公社が設立され、モスタル橋の世界遺産指定効果でブラガイに入り込み客数が増え、ヤイツェが旧市街の世界遺産指定に応募する等、BIHの観光開発への意欲と期待は確実に高まっている。 ● ところがモデル地域のコミュニティレベルの観光関連活動は、住民や関係者の強い関心と地域の観光ポテンシャルにもかかわらず、一部を除き旧共産主義体制時代の影響・待ち姿勢が残り、起業家意識が依然低調である。本プロジェクト期間中の効率的な支援、官・民・コミュニティの連携作りを支援すると共に、その成功例を示す必要性がある。 ● 現状でいえばモデル地域の関係諸団体の多数は、具体的な観光ビジネスの競争社会に参入する以前の段階にあり、事業を行っていないので、SWOT等の分析や組織間の連携を議論するには時期尚早の感がある。とにかく観光事業の実施を通して組織を伸ばし、組織間協力も積み上げていくことが必要であることで関係者の認識は一致している。
--	--	---

5項目 その他	評価設問		調査結果
	大項目	小項目	
インパクト	上位目標の達成予測	上位目標はプロジェクトの効果として達成が見込めるか	<p>上位目標の達成見通しについては、以下に述べるようないくつかのリスク要因があるため、まだ見通すことが困難である。</p> <p>JICA協力終了後もさらにエコツーリズム振興を継続していくためには、アンブレラ組織が官民間の協働活動を継続させること並びにエコツーリズム振興における主導的役割を担うことが必要である。住民組織が期待するような支援をアンブレラ組織が提供するためには、アンブレラ組織の関係者のさらなる能力強化が必要である。ただし、アンブレラ組織の活動の中心は、事務局スタッフが担う組織体制になっており、事務局の運営においては、関係市役所の人・資金的支援が不可欠な状況にあるため、特に資金的支援が継続するかどうかが面での面でリスクが存在する。具体的に、事務局スタッフの給料は、関係市役所からの資金支援に大きく依存しているのが現状であり、また、市役所によっては、その資金支援が滞っていたり、遅れているが、年度毎の合意であり、年度が変われば再度合意を締結する必要はある。別所とのリスクには、2008年後半に始まった世界的金融危機の影響がある。モデルプロジェクトの実施団体関係者の話では、昨年に比較して訪れる観光客の人数が今年はかなり減少しているようである。主たる観光シーズンは夏期であり、中間評価時は、まだ夏期が始まったばかりであり、本格的な夏休みシーズンにどのくらい観光客が訪れるかまだ見通せないものの、観光客数の減少が顕著となれば、モデルプロジェクトを円滑に進める上で資金的にマイナスイメージとなり得るし(収入の減少)、ひいては、プロジェクト対象地域においてさらにエコツーリズム振興する上でもマイナスの影響を与えかねない。</p>

波及効果 (インパクト) (見込み)	上位目標達成のための外部条件は満たされる見込みか？ - エコツーリズム地域振興の停滞要因となる民族紛争、テロなどの大きな事件が発生しない。 - エコツーリズム地域振興の停滞要因となる経済危機が進行しない。	2008 年末に始まった世界的な金融危機の影響が波及していると推定されるが、プロジェクト関係者の話によると、昨年と比較して観光地を訪れる観光客の人数が減少している模様である。このことは直接、モデルプロジェクトの活動が資金面で円滑に進むかどうかに影響し、プロジェクト対象地域のエコツーリズム振興における停滞要因となりかねない。
	上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか (上位目標はプロジェクト目標の達成の結果もたらされるという論理に矛盾はないか)	特に乖離はしていない。
	以上の他にどのような正・負のインパクトを与えているか	<p>(1) モデルプロジェクト以外にも資金支援を得たプロジェクト 資金要請書作成に関する能力向上活動を実施した結果として、モデルプロジェクトがエンティティ政府、UNDP や日本大使館から資金支援を得られただけでなく、次のプロジェクトも資金支援を得ることができた。</p> <p>1) “Herzegovina” エコキャンプ開発および南東 “Herzegovina/ Herceg Blagaj” 観光振興 (UNDP 資金、承認済み)</p> <p>2) Motel Stuce の宿泊施設拡張 (UNDP 資金、承認済み)</p> <p>(2) 独自に民宿経営開始 プロジェクト関係者の話によると、独自に民宿経営を開始した家がある (プリバ地域)。これは、本プロジェクトで支援している民宿事業が順調に進展している状況を見えて発現したインパクトである。</p> <p>(3) 官民間の協働活動の必要性理解 本プロジェクトに関わっている行政機関ならびに住民団体の関係者は、エコツーリズムを通じた地域振興のためには、官民両セクター間の協働ならびに市役所間の協力が必要でありまた有効でもあるとの認識を持つようになっている。我が国が、両エンティティの境界を挟んだ複数の市を含む地域をプロジェクト対象地域として選定し、官民間の協働活動体制を構築してきた目的の一つには、異なる宗教・民族間の融和を図ろうとすることが含まれており、本プロジェクトは、この目的に沿った一定の効果を発現していると言える。</p>

5 項目 その他	評価設問		調査結果
	大項目	小項目	
自立 発展性 (見込 み)	政策的側面	協力内容が今後ボスニア・ヘルツェゴビナ側の政策として支援されるか(プロジェクト終了後も、エコツリーズを中心とした地域振興に政策的重点が置かれるかどうか)	エコツリーズを通じた地域開発は、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府(エンティティ政府及び市役所レベルの行政を含む)によってさらに重要視されつつあると判断される。したがって、開発政策の観点からは、プロジェクトの成果の政策面での自立発展性はあると見通される。
	制度・組織面	プロジェクト終了後も、エコツリーズを中心とした地域振興が継続・発展するには、以下の点が重要であると考えられるが、これらの条件は整っているかどうか。 ①行政機関からアンブレラ組織への人的支援ならびに資金的支援が継続するか。 ②アンブレラ組織が継続的に活動できるような適切な組織体制や機能を有しているか。	エコツリーズ開発に関わる官民セクター間の調整や協働を促進・振興する機関としてプリバ地域とベレズ地域にアンブレラ組織が設けられ、その組織内に、総会、役員会、事務局ならびにプロモーション作業グループがある。官民間の協働・調整を継続性あるものにするためには、アンブレラ組織に関わる人材の継続的能力強化が重要な点の一つである。もう一つ重要な点は、アンブレラ組織の組織構造をより適切なものにする点である。プロジェクト関係者は、プロモーション作業グループのツアーオペレーション、統合的観光商品の販売、広報宣伝等の機能を強化するには、組織の種類をより適切なものに変える方が良く、アンブレラ組織とは切り離す案を持っている。すなわち、ツアーオペレーション等の活動は、利益追求型の民業であり、非営利団体として登録されているアンブレラ組織で活動するには不都合が生じかねないためである。この点については、関係者間で議論していく必要がある。

<p>財務面</p>	<p>①アンブレラ組織は、活動を継続するために必要な資金を毎年獲得できるかどうか（行政機関からの資金支援と民間団体からの会費収入等でまかなっているかどうかの見直し） ②モデルプロジェクト実施団体は、活動を継続するための資金や活動を拡大するための資金が得られるかどうか。 ③新規プロジェクトの開始に必要な資金を、民間セクターの組織が得られるかどうか。あるいはアンブレラ組織や行政機関が資金獲得に関する支援を民間セクターの組織に対して適切に提供できるかどうか。</p>	<p>アンブレラ組織の事務局運営は、プリバ地域及びベレス地域の関係市役所との合意に基づいて、市役所から資金支援を得つつ行われている（市役所側は、事務局職員の給料を負担している）。この資金協力合意は毎年締結する必要がある。これまで、プロジェクト実施関係者が頻繁に市役所側に合意した資金提供を定期的に実施するようにお願いするという努力を払ってようやく支援を得てきている。しかし現在、市役所の財政難の影響もあって、複数の市役所からの支援金が滞っているほか、一つの市役所（Mostar 市）の場合は、市長が不在という一時的な特殊事情のために市役所自体の予算執行が停止されている影響を受けて、支援金が得られていない。本終了時評価時に関係市役所を訪問し、プロジェクト終了後の市役所側の資金支援の継続について話をしたが、市役所側は継続的支援を表明しつつも、財政状況が厳しい点も表明していることから、アンブレラ組織の財務面での自立発展性が確保されるかどうか見直しは明らかない。</p> <p>モデルプロジェクトの財務面での自立発展性については、モデルプロジェクトの活動進捗状況や観光商品開発状況がプロジェクトによって異なるため、財務面での自立発展性も異なっている。一部の徐々に多くの顧客を得るようになり、活動を継続するために必要な資金を得られているであろうと思われるモデルプロジェクトがある一方で、まだ十分な収入を得るには至っていないと思われるモデルプロジェクトもある。</p>
<p>技術的側面</p>	<p>アンブレラ組織は、エコツアーリズムを振興する官民協働体制の組織として、その機能を今後も適切に実施する能力を身につけているかどうか。</p>	<p>「本プロジェクトで実施された各種の研修、ワークショップ、OJT 等を通じて関係者の能力強化が概ね良好に図られていると考えられる。すでに述べたように、アンブレラ組織が良好な調整・協働機能を果たすためには、アンブレラ組織関係者のさらなる能力強化が重要である。</p> <p><参考： JICA 専門家チームの認識・意向は以下のとおり。></p> <p>大きな課題は、南北 2 つのアンブレラ組織（エコプリバ協会、エコベレス協会）のビジネスモデルの構築であったが、地方自治体を入れたこと（資金的支援と総会や役員会への代表派遣）で不安定な政治的影響をまともに受ける結果となった。そのため、当初期待した地域振興調整機能と統一プロモーション・外国からの観光客受入による観光ツアー運営機能（Inbound Tour Operator 機能）をアンブレラ組織が包括的に担い、持続的に運営することがほぼ困難となっている。今後は、アンブレラ組織には、両エンティティにまたがる各市のコミュニティの地域振興調整機能を残し、プロモーションと Inbound Tour Operator 機能はモデル事業を通じて開発したウェブサイトを活用して担うよう軌道修正を要する意向を持っている。（プロモーションと Inbound Tour Operator 機能をアンブレラ組織の機能から外して、他の団体等に機能を移管すること。なお、このことを行うためには、各アンブレラ組織での協議と合意が必要である。）</p>

<p>モデルプロジェクト実施団体は、モデルプロジェクトを円滑に運営管理できているか。また、今後、自立的に運営管理できる能力を身につけているかどうか。</p>	<p>モデルプロジェクト実施団体の関係者の知識や技能については、いくつかのモデルプロジェクト実施団体には、事業を持続的に継続する必要な知識・技能を十分身につけていると思われる一方で、まだ持続的に事業を実施する能力が十分ではない団体もある。</p> <p>(インタビューを通じてのヒヤリングでは、いくつかのモデル事業がその観光商品について、JICA プロジェクト終了後も自力で継続可能と回答している。(PSA、客の入りやすい民宿、STK プラザ、エコファーム等) 一方で活動が未だ趣味の範囲を抜け出せず観光ビジネスとしての事業確立に至っていない例もある。(ブルバ山岳会のトレッキング、ベレズの Nature Watching 等) 積極的に活動している組織は官民多くの組織との連携関係を構築しており、観光振興を目指す集団は両プロジェクト地域に定着したと考えてよい。また単品でなく地域の観光商品、特産品、宿泊施設を総合的に考え連携するという動きも出ており、いくつかの団体は今後とも商品を充実させつつ成長することが可能だと思われる。</p> <p>観光開発への公的機関からの支援は小規模ながらも徐々に増えつつあり、ドナーからの支援のチャンスは当分継続すると見られる。公的機関やドナーとの関係を構築し、支援を受けるために良いプロポーザルを書くことの出来る能力も徐々に向上している。)</p>
<p>自立発展性に影響を与える貢献・阻害要因は何か</p>	<p>アンブレラ組織の現状の体制では、基本的に関係市役所からの資金的支援が滞れば、事務局の運営が困難となり、実質的に JICA 開発調査実施後に、エコ・プリバ協会が休眠化したように、休眠化する可能性が高い。かといって、モデルプロジェクト実施団体から会費等を徴収して事務局運営費(人件費を含む)等に当てようとしても、まだモデルプロジェクトが受け入れられている顧客数は限定的であり、収入もまだ限定的であると見られており、アンブレラ組織の運営に要する資金を負担している顧客数はまだ無いと見られている。</p> <p>官民協働でエコツアーリズムを振興する機関としての機能は、プロジェクトが実施されている間は、本プロジェクト並びに JICA 専門家チームの支援があるため、ある程度機能してきたと言えが(事務局のスタッフの退職やスタッフの能力がまだ十分でないあるいは役員会が十分その機能を果たしていない時期があったという課題を抱え、必ずしも十分な機能を果たしてきたわけではないが)、プロジェクトが終了してしまえば、アンブレラ組織が官民協働の場として機能するかどうかの見通しは暗い。</p> <p>今後、類似のプロジェクトでこのような組織を考える場合、組織の構造、財源、人材の面からきちんと精査し、このような形の組織が永続的に機能するかどうか、あるいは別の形態が考えられるかどうか、あるいはプロジェクト期間中だけ機能する組織として活用するのは実際的であるのかなど十分検討することが求められる。</p>

2. 実施プロセスの検証

実施プロセス	評価設定		調査結果
	大項目	小項目	
プロセス	当初計画した成果を達成するためにどのような計画・実施体制の変更・軌道修正が行われたか	プロジェクト実施中に把握されていた課題は何か。その課題はどのように解決されたか	本プロジェクトでは、特に大きな計画変更はなかった。
	技術移転の方法に問題はなかったか。	問題がある場合、どの分野にどのような技術移転方法に問題があったか。どのように解決されたか。	
	相手国のオーナーシップ	①C/P 配置の適正さ ②実施機関・プロジェクト関係者のプロジェクトに対する認識が高いか	<p>何度も述べたように、関連行政機関は、合同調整委員会と技術委員会の会議への参加、市役所の場合は、これらの会議への参加に加えて、アンブレラ組織の総会や役員会への代表派遣といった形での参加があったが、プロジェクト・ダイレクターやプロジェクト・マネージャーの配置はなかった。</p> <p>会議等の参加や、JICA 専門家からの報告、関係者からの報告取り付けを通じて、中央政府やエンテティティ政府は、プロジェクト活動の状況について一定の認識を有しているが、今回の終了時評価での表敬やミーティングを通じて、プロジェクトの実施機関の一つであり、プロジェクト実施の当事者であることの意識に欠けていることが鮮明になった。また、JICA の技術協力プロジェクトの特徴と制約を十分に理解しているとは思えなかった。</p> <p>JICA 専門家チームというよりは、JICA 全体として、JICA の技術協力プロジェクトの特徴と制約を相手国側実施機関に十分理解してもらうような努力をすることが必要と考えられる。相手国のオーナーシップを高めるためには、カウンタート配置についてプロジェクト実施直後にきちんと確認することならびに、プロジェクト実施期間中は、プロジェクト現場を定期的に視察してもらい、プロジェクト活動の公正かつ包括的な理解を促進することが重要かと思われる。</p>

<p>プロジェクトの問題 マネジメント体制に問題 はなかったか。</p>	<p>JCC は必要な時期に実施さ れ、必要なテーマが話し合わ れていたか</p>	<p>JCC は、終了時評価時までの5回開催されている。プロジェクト開始から2年5ヶ月の間で5回であるの で開催頻度としては適切な頻度である。なお、JCC は首都サラエボで開催されているが、スルプスカ共和国 エンティテイ政府の関連省庁の出席率が低いことが課題である。(スルプスカ共和国のエンティテイ政府は、 サラエボから車で約5時間かかるパニャルカ市にあり、その地理的距離と Federation のエンティテイ政府と 同席することについて好ましく考えない事情があり、出席率が低くなっている。)</p> <p>JCC では主として、当該年度の実績と次年度の活動予定について説明し、協議が行われている。</p>
<p>その他の定例会議(技術委員 会と観光関連省庁を集めた ワーキンググループの会議) は、十分機能しているか。</p>	<p>技術委員会は、終了時評価時までに、プリハ地域とベレズ地域でそれぞれ7回ずつ開催されている。プロ ジェクト開始から2年5ヶ月の間で7回であるので開催頻度としては適切な頻度である。技術委員会では、 活動予定内容、予算概要、アンブレラ組織の体制、活動スケジュール等についての説明と、協議が行われて いる。</p>	<p>技術委員会は、終了時評価時までに、プリハ地域とベレズ地域でそれぞれ7回ずつ開催されている。プロ ジェクト開始から2年5ヶ月の間で7回であるので開催頻度としては適切な頻度である。技術委員会では、 活動予定内容、予算概要、アンブレラ組織の体制、活動スケジュール等についての説明と、協議が行われて いる。</p>
<p>その他の会議 一時期、「観光関連省ワーキンググループ」と称するミーティングが開催された。</p> <p>会議の目的と内容観光関連省ワーキンググループの設置</p> <p>(1) 目的と内容：</p> <p>ボスニア・ヘルツェゴビナ国は、観光関連行政組織も各エンティテイ政府と中央政府に分かれており、統 一した法制度や施行体制が整っていない。本件業務を実施するにあたって、健全な観光産業育成のための 行政能力の改善・向上は必須であり、中央政府とエンティテイ政府の観光関係組織を集めた月例調整会議を 実施し、以下のような内容を含む協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国家観光開発方針の策定 (Strategy Plan) ● 観光関連法制度の統一と EU 基準の導入 ● 施行体制と透明性の確保 ● 観光産業の育成と助成 ● 小規模観光インフラの整備 ● 国家・観光イメージの広報、宣伝と役割分担 ● 観光税の徴収と活用 <p>(2) 開催日： 2007年10月17日、2007年11月22日、2008年1月28日、2008年6月5日の計4回</p>	<p>その他の会議 一時期、「観光関連省ワーキンググループ」と称するミーティングが開催された。</p> <p>会議の目的と内容観光関連省ワーキンググループの設置</p> <p>(1) 目的と内容：</p> <p>ボスニア・ヘルツェゴビナ国は、観光関連行政組織も各エンティテイ政府と中央政府に分かれており、統 一した法制度や施行体制が整っていない。本件業務を実施するにあたって、健全な観光産業育成のための 行政能力の改善・向上は必須であり、中央政府とエンティテイ政府の観光関係組織を集めた月例調整会議を 実施し、以下のような内容を含む協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国家観光開発方針の策定 (Strategy Plan) ● 観光関連法制度の統一と EU 基準の導入 ● 施行体制と透明性の確保 ● 観光産業の育成と助成 ● 小規模観光インフラの整備 ● 国家・観光イメージの広報、宣伝と役割分担 ● 観光税の徴収と活用 <p>(2) 開催日： 2007年10月17日、2007年11月22日、2008年1月28日、2008年6月5日の計4回</p>	<p>その他の会議 一時期、「観光関連省ワーキンググループ」と称するミーティングが開催された。</p> <p>会議の目的と内容観光関連省ワーキンググループの設置</p> <p>(1) 目的と内容：</p> <p>ボスニア・ヘルツェゴビナ国は、観光関連行政組織も各エンティテイ政府と中央政府に分かれており、統 一した法制度や施行体制が整っていない。本件業務を実施するにあたって、健全な観光産業育成のための 行政能力の改善・向上は必須であり、中央政府とエンティテイ政府の観光関係組織を集めた月例調整会議を 実施し、以下のような内容を含む協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国家観光開発方針の策定 (Strategy Plan) ● 観光関連法制度の統一と EU 基準の導入 ● 施行体制と透明性の確保 ● 観光産業の育成と助成 ● 小規模観光インフラの整備 ● 国家・観光イメージの広報、宣伝と役割分担 ● 観光税の徴収と活用 <p>(2) 開催日： 2007年10月17日、2007年11月22日、2008年1月28日、2008年6月5日の計4回</p>

	<p>プロジェクトの進捗状況はどのようにモニタリングされてきたか。</p>	<p>和文の報告書については、年次毎に業務計画書が作成され、また業務完了報告書が作成されている。(ちなみに、本プロジェクトは、4年次に分かれて実施されている。かならずしも予算年度とは一致しない。)</p> <p>英文版については、インセンションレポート、プログレスレポート、インデリムレポートの3種類が作成されている。</p> <p>これらの報告書で、プロジェクトの進捗について記載されているが、3年次までの業務完了報告書の記載方法は、PDMの活動項目や、設定されたアウトプット、プロジェクト目標に沿った記載方法ではなかった。また、どの時期に、どのプロジェクト活動を実施するのかを示す、運営計画(Plan of Operation)に沿った形でなかった。そのため、個々の活動項目に遅れがあるのか、どのような問題が生じているのか、どのように改善していくのか、理解しにくい様式の報告書となっている。プロジェクトの進捗状況を把握する上では、必ずしも使いやすい報告書の形態とはなっていないかった。</p> <p>JICAは、業務指示書を作成する際に、できるだけPDMの活動項目に沿った活動項目を提示すべきであるし、報告書の目次立ても、PDMの活動項目、アウトプット、プロジェクト目標といった点の進捗状況が解りやすいようなものにするよう、指示すべきである。</p> <p>関係行政機関ならびにモデルプロジェクト実施団体関係者とのインタビュー結果からは、JICA専門家とプロジェクト関係者間のコミュニケーションは円滑なものであったと思われる。</p> <p>JICAバルカン事務所及びJICA本部との連絡・協力は、円滑に実施されていると思われる。</p>
<p>専門家とプロジェクト関係者間のコミュニケーションは、円滑に行われているか。</p> <p>JICAバルカン事務所及びJICA本部との連絡・協力が円滑に実施されたか。</p>		

4. モデルプロジェクト実施団体に対する質問票回答集計（英語）

モデルプロジェクト実施団体向け質問票回答集計（両地域で計 14 の回答）

(1) プリバ地域の回答（回答数 6）

回答者リスト：（注：団体によっては、複数の回答がある。また、モデルプロジェクト全部から回答が得られているわけではない。これは、ベレズ地域の回答についても同様。）

No	団体名	モデルプロジェクト名	団体メンバー数
P-1	Public Institution for cultural, historical and natural heritage and development of tourist potentials of Jajce town”	Protection/practical usage of Jajce fortress and improving the inhabitants’ awareness about cultural and natural heritage	1
P-2	Pliva sport activities	Pliva sport activities	102
P-3	Pliva Country lodging	Sustainable regional development through eco tourism	30
P-4	Association Eco Pliva	Promotion and marketing of eco tourism in Pliva region	17
P-5	Pliva Country lodging	Sustainable regional development through eco tourism	30
P-6	Association Eco Pliva	Promotion and marketing of eco tourism in Pliva region	17

Q1. What kinds of knowledge and skills learned at the seminars, workshops and training programs are you or your organization utilizing for implementing your project? Please describe below.

< Knowledge and skills >

P-1: 1) importance of eco tourism for the area development, 2) partnership and importance of work through partnership and cooperation, 3) promotion, branding, souvenirs, web site, 4) importance of developing the human potentials in eco tourism

P-2: Rafting guide training, Fly-fishing guide training; Mountaineering guide training; Mountain rescue service; Fly tying;

P-3: Partial knowledge in providing country lodging services.

P-4: How to promote region; Preparation of texts for promotion materials; promotion of Eco Pliva

P-5: Partial knowledge in providing country lodging services.

P-6: Planning and organization inside association; Preparation activities for promotion material; coordination in project implementation; Making of tourism packages;

Q2. What kinds of knowledge and skills do you and member of your organization want to learn further? Please describe below.

< Knowledge and skills >

P-1: 1) Destination management, 2) making and improving promotion material, 3) preserving the cultural-historical and natural heritage

P-2: To achieve professional level for the standards which will satisfied the foreign and domestic tourists

P-3: 1) Knowledge about providing services in country lodging, 2) Guide services, 3) Knowledge of foreign language, 4) Promotion and marketing

P-4: Updating of WEB SITE, Financial management; Quality service providing to tourist; Providing information about ECO Pliva to institutions

P-5: 1) Knowledge about providing services in country lodging, 2) Guide services, 3) Knowledge of foreign language, 4) Promotion and marketing

P-6: Project making; Association management; Improve knowledge about Public relations and

Financial management; Upgrading the level of English language;

Q3. Are you or your organization satisfied with activities of the umbrella associations such as Eco-Pliva and Eco-Velez? Please select one from the following choice. (括弧内数値は回答数)

[0] Satisfied very much

[3] Satisfied to some extent

[3] Not satisfied so much

If you are not satisfied so much, please describe reasons.

Because:

P-2: There is no coordination, sharing information, and well educated staff on the field;

P-3: Eco Pliva, actually, is not umbrella association, they are doing their own business; It does not have enough educated capacities for the purpose of establishment;

P-4: Members of Assembly and Managing board were not fully engaged. They have to many personal interest

P-5: Very bad construction of umbrella association, which should be a tour operator, and it is not yet. For that purpose, they established Eco house d.o.o., and the property was transferred to that company, and according to that, blocked their own operation.

P-6: Members of Assembly and Managing board were not fully engaged. In certain moments, operation of association were blocked because of miscommunication between Managing board and executive part of the association;

Q4. Is your project receiving tourists or visitors as expected? Please select one from the following choice.

[0] Yes, many tourists or visitors as expected

[6] Yes, but no so much as expected

[0] No, very few

If number of tourists or visitors is not as expected, please describe measures for increasing tourists or visitors.

Measures:

P-1: Better availability of the information about Jajce and Pliva region via internet; connections and coordinated work to improve the offers, more significant financial investments in order to develop a strategic approach to tourism by the local communities.

P-2: Improvement of offer quality, promotion and marketing activities;

P-3: Improvement of accommodation capacities, setting up of tourism signalization and promotion activities

P-4: Organization inside association; it is necessary to do more on promotion of the region during whole year to achieve expected number of the guests;

P-5: making WEB site for Pliva country lodging, improvement of accommodation capacities, setting up of tourism signalization, registration of families;

P-6: To do promotion activities on scheduled time; Strengthen organization inside association; To analyze information from the field got from the tourists; To create better image about Eco Pliva

Q5. Is your project can get appropriate income and profit in order to continue your project in sustainable way? Please select one from the following choice.

[0] Yes, very much

[6] Yes, but not enough

[0] No, not at all

If income and profit are not enough, please describe measures for increasing income and profit.

Measures:

P-2: Same like Q4

P-3: Same like Q4

P-4: We really need INFO center, Sending application to tourism grants; support of Ministries and local communities; increase income from our own activities;

P-5: Same like Q4

P-6: INFO center, Sending application to tourism grants for regional projects; Membership fees, Selling brochures about Pliva region, Accumulation of money during season, receptive tourism, visits to fairs, Regional movie;

Q6. Has your organization acquired sufficient capacity to operate and manage your project in sustainable way on the whole? Please select one from the following choice.

[0] Yes, very sufficient

[6] Yes, appropriate, but not sufficient enough

[0] No, not at all

Q7. If your have any comment or opinion to this JICA cooperated technical cooperation project, please describe below.

Comment or opinion:

P-1: This project is very important for the entire area, as well as all organizations involved in these activities, considering the facts that they are directed to eco-tourism's development, and development of local communities also, employment of population, etc. With serious work and cooperation of all partners in this project, with loyalty to this idea and responsible approach to work and related activities, it is very possible to achieve the aim of this cooperation and development of region and eco tourism.

P-2: Too slow implementation of agreed activities.

P-3: Invested funds and conducted activities should give better results.

P-4: I think that Pliva region project is not totally successful:

P-5: Insufficient investments in our association compared with other association and activities which did not give expected results;

P-6: Project was not implemented the way it was planned to be and presented on JCC and TC,

モデルプロジェクト実施団体向け質問票回答集計

(2) ベレズ地域の回答 (回答数 8)

回答者リスト

No	団体名	モデルプロジェクト名	団体メンバー数
V-1	P.Z."Bioproduct"	Eko-Farma	135
V-2	Fishing associations Zalomka Nevesinje and USR Blagaj	Recreational tourism / diversification of recreational activities	120
V-3	Hunting association "Golub" Blagaj	Observation of nature and wild animals	150
V-4	Association "Krug" Blagaj	Souvenirs	5
V-5	EKO "VELEZ" PODVELEZ	Trail network	18
V-6	Nevesinje Country Lodging	Development of accommodation capacities	5 households in Nevesinje
V-7	Nevesinje Country Lodging	Development of accommodation capacities	5 households in Nevesinje
V-8	Sport tourist club "Blagaj-city" Blagaj	Generation of additional income for youth through sport-tourist products	50

Q1. What kinds of knowledge and skills learned at the seminars, workshops and training programs are you or your organization utilizing for implementing your project? Please describe below.

< Knowledge and skills >

V-1: The only useful knowledge is the one we acquired on our seminar in Japan where we went through systematically development of eco tourism for organizations that have tourism as their primary activity. It is assumed that these kind of organization have developed human resources for these activities. As our organization has just introduced tourism, we think that a more thorough training for human resource development with a special care for agro-tourism. Besides the knowledge from Japan we think that also other held educations and workshops have certain significance although we think that for more concrete knowledge and skills are needed more complex types of training.

V-2: Until now we participated in several different and very useful trainings organized from the side of JICA Project Team. One of the very important training we organized was fly tying. This was very useful to us as our members learned how to make fly ties which we now sell and earn certain income for our association.

V-3: We use our knowledge from the lectures on flora and fauna (special species / communities in eco system of the mountain) from Velez region and knowledge on photo safari that we acquired from our study trip to Slovenia.

V-4: We learned basics of computer skills, souvenirs development, ceramic souvenir making, and beginner's level of copper souvenir making.

V-5: We learnt how to mark trails and then we implemented it.

V-6: During the Project we participated to a number of educational seminars and courses of foreign languages (English, Italian), seminar for catering, tourism promotion and management, as well as to other seminars relating to tourism development.

V-7: Foreign language courses and other educational courses

V-8: 1) Computer skills, 2) English language, 3) Management of national monuments, 4) Marking of trails according to standards, 5) Organizing promotions for tourism, 6) Training for organizing rafting (certificates), 7) Lectures on ecology and environmental protection, 8) Organizing of eco tours (certificates)

Q2. What kinds of knowledge and skills do you and member of your organization want to learn further? Please describe below.

< Knowledge and skills >

V-1: Many times until now we emphasized insufficient human resources in our organization, especially when it comes to tourism development. Training in Japan was planned for organizations that have tourism as their primary activity and have sufficiently developed human resources. As our organization is quite new in tourism business, in future period the priority is human resources development. Also, we need additional knowledge on promotion and marketing.

V-2: We want to improve knowledge and skills through fishing guide training, as well as upgrade-broaden our knowledge in making fly and streamers so we could create a qualitative offer for tourist interesting in fishing.

V-3: We would like to improve knowledge and skills of nature interpretation and wild animals' observation in Velez region. For that purpose we will organize a workshop with this subject and the lecturer would be a nature interpreter from the region and surrounding.

V-4: Design and souvenir making by laser graver and digital printer. We intend to expand our production and offer, therewith to expand the sale.

V-5: Nothing special

V-6: It is necessary to conduct additional English language courses, so we could improve and upgrade things already learnt on previous ones. However, without tourists arrivals we will have no chance to practice and use our skills and knowledge and we will forgot what we already know.

V-7: Continuation of English language course

V-8: Our priority is to improve knowledge of English language as it is a basis for communication with foreign tourists. We would like if someone from our organization educates for improvement of business marketing in tourism.

Q3. Are you or your organization satisfied with activities of the umbrella associations such as Eco-Pliva and Eco-Velez? Please select one from the following choice.

[0] Satisfied very much

[5] Satisfied to some extent

[3] Not satisfied so much

If you are not satisfied so much, please describe reasons.

Because:

V-1: We all know that Eco Velez has done NOTHING for contribution in development of eco-tourism in the region. Besides the responsibility of establisher of the umbrella association, we consider that part of responsibility lays also in JICA Project Team. Although not able to decide on the organization management, the Team tacitly approves of the passivity of the management.

V-2: What we would like to stress as a problem is that we don't still have cooperation, agreements, actual information, plans that we were suppose to do with an umbrella association. It means there are no tourists brought by Eco Velez, as they don't work. There is a continuous problem with financing of the organization, it is not sustainable and it doesn't bear expected

results. Another problem is in insufficient communication among its members and lack of support from the municipal governments. The umbrella association is suppose to become a tourist agency that will organize, promote and sell products and services that we offer in Velez region.

V-3: There is continuous problem of financing the association and it is not sustainable nor does it bring expected results. Problem is in insufficient coordination of its members and lack of support from local governments.

V-4: We think it could be done more on tourism development in this region.

V-5: Poor communication among associations

Q4. Is your project receiving tourists or visitors as expected? Please select one from the following choice.

[0] Yes, many tourists or visitors as expected

[4] Yes, but no so much as expected

[4] No, very few

If number of tourists or visitors is not as expected, please describe measures for increasing tourists or visitors.

Measures:

V-1: As the project of Eco farm started as a completely new project, without needed infrastructure, we are not able to receive larger group of tourists nor tourists for period longer then few hours. This is due to absence of toilet and well water needed for drinking and also the water for hygiene.

V-2: It is necessary to organize the monitoring campaign with all local service providers in Velez region, to qualitatively conduct promotion and selling of services and products that we have. In order to achieve it is needed that Eco Velez starts functioning. Also, for now it is planned a training for fisher guide and training for fly tying and streamer making to be organized that will help us to have more people capable for development and selling flies, as well as to have guides for Alagovac Lake and Zalomka River. Also, it is important for us to establish a camp beside the lake and to build fishers' lodge.

V-3: Project has not yet started functioning in its full capacity; firstly some things have not yet been done in the implementation process. It is needed to publish a manual for route interpretation, which would contain also a map of nature observation area, then CDs, fliers, brochures, etc.

V-4: The global crisis made its impact on number of tourists in the region. It is hard to say what should be done as the season already started, as it was suppose to be done a lot more on tourism promotion abroad, and in the country (schools, faculties, associations, organizations).

V-5: More marketing and promotion

V-6: We need more involvement from the side of Eco Velez relating to the promotion and raise of attractiveness to the visitors.

V-7: Stronger engagement of Eco Velez

V-8: It is needed that someone from our organization or from Eco Velez receives training on business marketing in tourism.

Q5. Is your project can get appropriate income and profit in order to continue your project in sustainable way? Please select one from the following choice.

[1] Yes, very much

[7] Yes, but not enough

[0] No, not at all

If income and profit are not enough, please describe measures for increasing income and profit.

Measures:

V-1: As the project is new and we don't still have indicators for its success, it is hard to give answer to this question. However, based on contacts on the field and showed interest from the side of domestic tourists, we can surely say that the project would be sustainable if needed preconditions are met, which are primarily construction of toilet and water well. These are crucial preconditions to get seriously involved in tourism and without this infrastructure we cannot receive tourists.

V-2: After implementation of the above mentioned trainings we will be able to meet tourists demands and also to generate significant income for sustainability of our organization. Also, we need support from the side of local government so we could build necessary infrastructure beside the lake. What is the most important is that Eco Velez promotes our offer and attracts as many tourists in our region.

V-3: 1) Workshop on nature interpretation, 2) CDs, fliers, make an offer on WEB page, 3) Create an image brochure for Nature observation (format A4, educational content, with a combined text of flora and fauna, with detailed explanations for some species, with a map of the region. Some of the titles in brochure would be: from Velez's karsts, What grows in Velez, Endemic species, Wolves, Secret life of plants, endangered species, etc.) the brochure would have 30 – 40 pages. Minimum 1000 copies.

V-4: Development-expanding the production, which is planned within the process of implementation supported by UNDP. We judge that it would enable our successful sustainability, as we will expand our sale to a broader region.

V-6: Increase of tourist number leads to increase of income and revenue, and to achieve that we need much more engagement from the side of Eco Velez as an umbrella association.

V-7: Increase of tourists will generate income, so we need stronger engagement of the umbrella association.

Q6. Has your organization acquired sufficient capacity to operate and manage your project in sustainable way on the whole? Please select one from the following choice.

[0] Yes, very sufficient

[8] Yes, appropriate, but not sufficient enough

[0] No, not at all

Q7. If your have any comment or opinion to this JICA cooperated technical cooperation project, please describe below.

Comment or opinion:

V-1: Earlier is mentioned that we don't have sufficiently developed capacities for the project

management. Primary activity of our organization is agriculture and we have sufficient knowledge in that field. However, since eco-tourism doesn't relate much with agriculture, from all opportunities to acquire new knowledge and skills we can say that the most useful one was the training our representative had in Japan. All other types of education that lasted day or two are insufficient and did not give any results.

V-2: We would like to emphasize that this Project has helped us a lot in creating and organizing our tourist offer. However, it didn't meet our needs for construction of facilities that are necessary for a qualitative offer for tourists. Therefore, we are asking local ministries and local governments to support us so we could improve our capacities and finalize what we have already started. Herewith, we would like to express our thanks to JICA Project Team that has directed and showed us possibilities, organized important trainings through which we acquired enormous knowledge and skills. Thanks again to JICA Project that gave us the knowledge and showed us possibilities of such organizing and making tourist offer in Nevesinje.

V-3: It happened that agreed amount of funds for project implementation was not respected from JICA side. For example event "Pomegranate festival" (last year) and lectures for flora and fauna in Podvelezje that was conducted recently. This was the reason why Pomegranate festival was not held, and lectures for flora and fauna, held in Podvelezje, was conducted and financially covered but "with lots of problems".

V-5: More things could have been done on the field with more products

V-6: We praise their engagement and willingness to develop tourism in our region. However, there are still many things to be done in order to reach higher results.

V-7: I think they had good ideas and wishes, and that more should be done to achieve better results.

V-8: JICA's technical assistance is a ray of light in our dark present times of Velez region and it would be good if the Project continues so that more qualitative tourism development could be achieved. THANK YOU.

以上

5. 関係機関の合同調整委員会（JCC）及び技術委員会への出席状況

(1) 合同調整委員会（JCC）

	組織名	Date	1st	2nd	3rd	4th	5th
			6-Mar-07	25-Nov-07	29-May-08	3-Dec-08	6-Mar-09
中央	対外経済貿易関係省	出欠	○	○	○	○	○
		出席者数	2	1	1	2	2
中央	外務省	出欠	○	○	○	○	×
		出席者数	1	1	1	1	
FBiH	環境観光省	出欠	○	×	○	○	○
		出席者数	2		1	1	1
RS	国土計画建設省	出欠	○	×	×	×	×
		出席者数	1				
RS	貿易観光省	出欠	×	○	×	×	×
		出席者数	0	1			
FBiH	ヤイツェ市役所	出欠	○	○	○	×	×
		出席者数	4	1	1		
RS	イエゼロ市役所	出欠	○	×	○	×	×
		出席者数	1		1		
RS	シポボ市役所	出欠	○	○	○	×	×
		出席者数	1	2	2		
FBiH	モスタル市役所	出欠	○	○	○	○	○
		出席者数	1	2	1	2	2
RS	ネベシニエ市役所	出欠	○	○	×	×	×
		出席者数	1	1			
---	エコ・プリバ	出欠	○	○	○	○	○
		出席者数	1	1	3	1	1
---	エコ・ベレズ	出欠	n.a.	n.a.	○	○	×
		出席者数	0	0	1	1	
	コミュニティー団体代表	出欠	○	×	○	○	○
		出席者数	1	0	2	9	9
	その他	出欠	×	○	○	×	×
		出席者数		1	1		
---	日本大使館	出欠	○	○	○	○	○
		出席者数	1	2	2	2	2
---	JICA バルカン事務所 / サラエボコンタクトポイント	出欠	○	○	○	○	○
		出席者数	2	1	1	2	3
---	JICA 専門家チーム	出欠	○	○	○	○	○
		出席者数	6	9	8	9	7

(2) プリバ地域での技術委員会

	組織名	Date	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th
			26-Mar-07	1-Aug-07	11-Nov-07	12-Mar-08	1-Jun-08	1-Dec-08	25-Mar-09
RS	国土計画建設省	出欠	○	○	○	×	×	×	○
		出席者数							
RS	貿易観光省	出欠	○	○	○	×	×	×	○
		出席者数							
RS	観光協会	出欠	○	○	○	○	×	○	○
		出席者数							

FBIH	ヤイツェ市役所	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数							
RS	イエゼロ市役所	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数							
RS	シポボ市役所	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数							
---	エコ・プリバ	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数							
---	コミュニティー団体代表	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数	12 団体	12 団体					
	その他関連団体	出欠							○
		出席者数							
---	JICA 専門家チーム	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数	3	2	4	3	4	4	

(3) ベレズ地域での技術委員会

	組織名	Date	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th
			29-Mar-07	3-Aug-07	2-Nov-07	14-Mar-08	5-Jun-08	24-Nov-08	19-Mar-09
FBIH	環境観光省	出欠	○	○	○	○	○	×	○
		出席者数							
FBIH	観光協会	出欠	○	×	○	×	○	×	○
		出席者数							
FBIH	モスタル市役所	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数							
FBIH	モスタル市ブラガイ支所	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数							
RS	ネベシニエ市役所	出欠	○	○	○	○	○	×	○
		出席者数							
---	エコ・ベレズ	出欠	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	×	○	○
		出席者数	0	0	0	0			
---	コミュニティー団体代表	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数	13 団体	13 団体					
---	JICA 専門家チーム	出欠	○	○	○	○	○	○	○
		出席者数	4	4	4	2	4	4	

6. 日程表

日時		総括・協力計画	評価分析	宿泊地	
6月19日	金		道順団員 東京→サラエボ	サラエボ	
6月20日	土		現地プロジェクトチーム打合せ	サラエボ	
6月21日	日		現地プロジェクトチーム打合せ	サラエボ	
6月22日	月		外務省/対外経済貿易関係省/環境観光省訪問 サラエボコンタクトポイント打合せ	サラエボ	
6月23日	火		サラエボ→バニャルカ 国土計画建設省訪問 バニャルカ→プリバ	プリバ	
6月24日	水		Eco Pliva/Pliva Sport Association/ Pliva Country Lodging インタビュー調査	プリバ	
6月25日	木		ヤイツェ市役所 ヤイツェ城址保護 シポボ市役所 インタビュー調査	プリバ	
6月26日	金		イエゼロ市役所	ベレズ	
6月27日	土		資料整理	ベレズ	
6月28日	日		資料整理	ベレズ	
6月29日	月		KDUG Blagai/STK Blagai インタビュー調査	ベレズ	
6月30日	火		ネベシニエ市役所 Fishing Association Nevesinje/Eco Farm/Eco Velez インタビュー調査	ベレズ	
7月1日	水		モスタル市役所 Eco Velez インタビュー調査	サラエボ	
7月2日	木		東京→サラエボ	資料整理	サラエボ
7月3日	金		AM: JICA サラエボコンタクトポイント 日本大使館表敬 対外経済貿易関係省 (BiH) 表敬 PM: 外務省 (BiH) 表敬		サラエボ
7月4日	土	サラエボ→ベレズ EcoVelez と会議、SKT/Klug/EcoFirm (モデルプロジェクト) 訪問		ベレズ	
7月5日	日	ベレズ→プリバ EcoPliva と会議、PSA Jajce Fortress (モデルプロジェクト) 訪問		プリバ	
7月6日	月	プリバ→バニャルカ 国土計画建設省、貿易観光省表敬 バニャルカ→サラエボ		サラエボ	

7月7日	火	M/M 協議		サラエボ
7月8日	水	M/M 署名式 在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館報告		サラエボ
7月9日	木	サラエボ→ベオ グラード JICA バルカン事 務所報告	サラエボ→ミュンヘン	ベオグラ ード
7月10日	金	ベオグラード→ ミュンヘン	東京	
7月11日	土	東京		

